

機器分析分野

Division of Instrumental Analysis

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

E-mail: kiki@gifu-u.ac.jp

TEL: 058-293-2035

FAX: 058-293-2036

目 次

\	着任の挨拶	
1	組織	110
	1. 沿革	110
	2. 教職員	110
	3. 協力員および協力補助員	110
		トる申し合わせ110
2	機器紹介	114
		114
	柳戸地区	
	2. 機器配置図	116
	柳戸地区	
	3. 機器紹介	118
	柳戸地区	医学地区
3	利用の手引き	144
		頁 ······144
		3申し合わせ144
	別表 1 利用者資格	146
	柳戸地区	医学地区
	別表 2 機器分析分野利用	月申請書149
	柳戸地区	医学地区
	別表 3 時間外利用届 …	151
	3. 岐阜大学研究推進·社会連携機構	科学研究基盤センター受託試験、測定及び検査等取扱要領 …153
	別表 試験等の基本利用料	斗金 ·······154
	4. 受託試験等の手続き …	157
	別紙様式第1号 岐阜大学研	究推進・社会連携機構科学研究基盤センター受託試験依頼書…158
		究推進・社会連携機構科学研究基盤センター機器等使用申請書・・・159
4	活動報告	160
		160
	柳戸地区	医学地区
		一·
		179
		ガス取扱講習会181
		生のための大型機器高度利用公開セミナー …183
		舌動等 ·······188

◆着任の挨拶

機器分析分野長 木内 一壽

この度、平成30年3月1日付で、生命科学総合研究支援センター機器分析分野の分野長として着任しました。本センターは、平成30年4月1日に改組により、センターの名称は「研究推進・社会連携機構科学研究基盤センター」となりましたが、大学での科学研究の基盤を支えるセンターの一分野として、引き続き、電顕、NMRなどの大型機器をはじめとする各種測定機器の利用を支援していきます。

当分野は、昭和55年の「情報・計測センター」として、測定機器の共同利用を開始し、平成9年、機器分析センターに改組された後、平成15年からは、生命科学総合実験センターの一分野として統合され、平成16年の「生命科学総合研究支援センター」への改称を経て発展してきました。平成15年、分野に設置してある共同利用機器は50台ほどでしたが、平成30年4月1日の時点では76台まで増設され、いくつかの機器は更新されています。これも、ひとえに、40年近い歴史を有する学内機器共用施設として、惜しみなく献身された諸先生・諸先輩の努力の賜物と思います。

大学の第三期中期計画により、全学での機器共用化が進められており、今年度、大学として「先端研究基盤共用促進事業」が採択されました。当分野も、この新たな共用システム導入支援プログラムに参加し、医学部生命科学棟1階に設置してある2台のNMR装置を共用機器リストに加えました。また、新たにX線回折装置が工学部から共用機器として移設されます。現在運行されているオンラインの機器予約ページは、上記プログラムのもと、さらに安全で便利な予約システムとして改良される予定です。

これからも、本施設の利用者に対し、共用機器の利便性を提供するとともに、協力員の先生方のご支援を賜り、当分野を運営していく所存です。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

1 組織

1. 沿革

昭和55年度 岐阜大学統合移転に伴い、学内共同岐阜大学情報・計測センターを設置。

昭和58年度 岐阜大学計測センター及び岐阜大学情報処理センターに改組。

平成9年度 省令化に伴い、岐阜大学機器分析センターとして新たに発足。

平成15年度 センター統合により生命科学総合実験センター機器分析分野に改名。

平成16年度 大型精密機器高度利用公開セミナー開始。学外向けの受託試験制度を整備。

平成17年度 生命科学総合研究支援センターへ名称変更。

平成23年度 人獣感染防御センターから機器移管により、医学施設を設置。

平成26年度 医学施設を統合。

平成30年度 研究推進・社会連携機構の傘下に入り科学研究基盤センターへ名称変更。

2. 教職員 () 内は内線番号

(1) 専任教員

特任教授(分野長) 木内 一壽(2037) 助教 鎌足 雄司(3900)

(2) 職員

技術職員 沢田 義治 (2035) 技術補佐員 杉山 知美 (2035)

3. 協力員・協力補助員

機器分析分野協力員に関する申し合わせ

(趣旨)

第1条 この申し合わせは、岐阜大学研究推進・社会連携機構科学研究基盤センター(以下「センター」 という。) に置く機器分析分野協力員(以下「協力員」という。) に関し、必要な事項を定める。

(定義)

第2条 協力員は、センターの機器分析分野が所有する機器及び設備(以下「機器等」という。)を、 責任をもって取扱うことができる者とする。

(組織)

第3条 協力員は、機器ごとに置き、センター長が推薦する岐阜大学の専任の教員をもって充て、学長が委嘱する。

(責任者)

第4条 協力員の互選により担当する機器ごとの責任者(以下「責任者」という。)を選出する。

(任務)

第5条 協力員は、センターの教職員と協力して次の内容を協議し、業務を行う。

- ① 機器等の原理・使用法に関する講習会等に関すること。
- ② 機器等の維持管理に関すること。
- ③ 機器等の使用法等相談に関すること。
- ④ その他、機器等の円滑な運用に関すること。

(任期)

第6条 協力員の任期は二年とし、再任を妨げない。

(補助員)

第7条 協力員の業務を補助するために、協力員補助員(以下「補助員」という。)を置くことができる。

- 2 補助員は、協力員の業務への補助が必要な機器ごとに置き、機器分析分野長が推薦する者をもって充て、センター長が委嘱する。
- 3 補助員の任期は二年とし、再任を妨げない。

H30.4.1 ◎:機器取扱責任者、*****補助員

機器名	氏	名	電話番号	部局
【柳戸地区】 大型電子顕微鏡 (透過型 H-7000 形・TEM・日立) (透過型 JEM-2100 形・TEM・日本電子、EDX)				
走査型電子顕微鏡 (S-3000N・SEM)	◎杉浦	降	2590	工学部
電界放出型走查型電子顕微鏡	大矢	豊	2589	//
(S-4300 · SEM, EDX)	櫻田	修	2574	"
高分解能電界放出型走査電子顕微鏡	宮本	学	2588	"
(S-4800・SEM、EDX) デジタルマイクロスコープ	三輪	洋平	2565	"
(77π) (77π) (77π) (77π) (77π) (77π) (77π)	吉田	道之	2566	"
真空蒸着装置	池田	将	2639	"
イオンスパッタ・エアポレーションユニット	内藤	圭史	2957	"
(カーボン専用)	西津	貴久	2888	応用生物科学部
ディンプルグラインダー ガラスナイフ作成器	酒井	洋樹	2514	"
超ミクロ切片作製システム				
ネオオスミウムコーター				
イオンミリング				
精密イオンポリッシング装置				
	◎武野	明義	2629	工学部
【柳戸地区】	大矢	豊	2589	"
走査型プローブ顕微鏡システム (A.P.) (5000P) A.P.) (5000P)	大和	英弘	2682	"
(AFM5300E、AFM5400L)	西田	哲	2538	"
	内藤	圭史	2514	"
	◎高橋	紳矢	2631	工学部
【柳戸地区】	櫻田	修	2574	"
走查型 X 線光電子分光分析装置	大橋	史隆	2686	"
(Quantera SXM-GS)	上坂	裕之	2511	"
	西田	哲	2538	"
	◎吉松	三博	2251	教育学部
	村井	利昭	2614	工学部
【柳戸地区】	纐纈	守	2619	"
【柳戸地区】 高分解能質量分析装置	池田	将	2639	"
(GCmate II、JMS-700、AMSUN200、JMS-T100LP、AXIMA)	大野	敏	2645	"
液体クロマトグラフ	窪田	裕大	2596	クロトを対ける
(Agilent1100-MS-52011LC, nano LC)	光永柳瀬	徹 笑子	2920	応用生物科学部 /
		天士 那嘉子	2914 2869	"
		ル新丁 俊康	3901	科学研究基盤センター
	八场	仅尽	2901	竹丁明九巫童モングー

	◎満倉 浩一	2649	工学部
	吉松 三博	2251	教育学部
*** · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	類纈 守	2619	工学部
【柳戸地区】		2616	工于品
フーリエ変換核磁気共鳴装置			
(JNM-ECA500、NM-93030CPM、JNM-ECX400P、	小村 賢一	2600	"
JNM-ECA600)	窪田 裕大	2596	"
医学地区	光永 徹	2920	応用生物科学部
フーリエ変換核磁気共鳴装置	寺本 好邦	2917	"
(AVANCE600, AVANCE800)	柳瀬 笑子	2914	"
	桑田 一夫	6143	連合創薬
	犬塚 俊康	3901	科学研究基盤センター
【柳戸地区】			
電子スピン共鳴装置	◎三輪 洋平	2565	工学部
(JES-FA100)			
【医学地区】	大橋 史隆	2686	"
電子スピン共鳴装置	山家 光男*	3902	特別協力研究員
(EMX Micro-6 / 1)			
	◎櫻田 修	9F74	工 為 如
		2574	工学部
	吉松 三博	2251	教育学部
	勝田 長貴	2256	"
【柳戸地区】	萩原 宏明	2253	"
誘導結合プラズマ発光分析装置	海老原昌弘	2572	工学部
(ULTIMA 2 堀場)	大谷 具幸	3080	工于的
蛍光 X 線分析装置			
(S8-TIGER)	宮本 学	2588	"
有機微量元素分析装置	早川 幸男	2802	"
(JM-10、JHA102、JMSU10)	小島 悠揮	2418	"
(J-12 - 0 + J-12 - 0 - 0 + 0 + 0 + 0 + 0 + 0 + 0 + 0 + 0	リムリーワ	2815	"
	山本 朱美	2871	応用生物科学部
	古川 真一*	5531	// I = 10/11 =
	□川 呉	5551	<i>"</i>
【柳戸地区】	◎高橋 周平	2539	工学部
超高速度現象解析システム	宮坂 武志	2523	"
超高速度撮影装置(NAC FS501、HyperVision HPV-2 A)	菊地 聡	2520	"
汎用高速度撮影装置(NAC MEMECAM)	朝原誠	2525	"
高速度赤外線カメラ(FLIR SC7500TEC)			
汎用赤外線カメラ(LAIRD 3 ASH)	小林 芳成	2533	"
パルスジェネレータ (DG-535)	古木 辰也	2543	"
	◎沓水 祥一	2573	工学部
	吉松 三博	2251	教育学部
[#m 三 4p 区]	萩原 宏明	2253	//
【柳戸地区】 小型機器	大矢 豊	2589	工学部
	武野 明義	2629	"
(UV-Vis・FT-IR・顕微 FT-IR・ReactIR-IlluminatIR・CD・旋光度計) 蛍光分光光度計(λ950)	久米 徹二	2681	"
蛍光寿命測定装置(Quantaurus-Tau)	吉田 弘樹	2706	"
	芝原 文利	2616	"
絶対 PL 量子収率測定装置(Quantaurus-QY)			
分光蛍光光度計 (FP-8600)		2588	"
フェムト秒ファイバーレーザー (BS-60-YS)	石黒 亮	2607	"
テラヘルツ分光走査型顕微鏡(THz-TDS)	窪田 裕大	2596	"
顕微レーザーラマン分光システム (NPC 1999)	大橋 史隆	2686	"
(NRS-1000)	岩本 悟志	2924	応用生物科学部
熱分析システム	西津 貴久	2888	// // // // // // // // // // // // //
(DSC · TMA · TG-DTA)	光永 徹	2920	,,
(EXSTAR-6000)			
	寺本 好邦	2917	"
	柳瀬 笑子	2914	"
	山家 光男*	3902	特別協力研究員
【柳三花区】	◎岩本 悟志	2924	応用生物科学部
【柳戸地区】	櫻田 修	2574	工学部
粒子径·粒子形状測定装置			
(FPIA-3000)	武野 明義	2629	"
(Zetasizer Nano ZS)	三輪 洋平	2565	"
レオメーター(AR-G I KG)	西津 貴久	2888	応用生物科学部
動的粘弾性測定装置(DMA Q800KG)	寺本 好邦	2917	"
	1		

【柳戸地区】	◎西津 貴久	2888	応用生物科学部
X線マイクロCTスキャン (Skyscan1172)	海老原昌弘	2572	工学部
【医学地区】	新川 真人	2517	"
超高輝度X線回折装置	岩本 悟志	2924	応用生物科学部
(FR-E Super Bright)	海老原章郎	2907	"

2 機器紹介

1. 機器一覧

【柳戸地区】 H30. 4 現在

品名	納入年度	規格
1. 大型電子顕微鏡・デジタル顕微鏡 大型電子顕微鏡(TEM) 大型電子顕微鏡(TEM)STEM, EDX 付	H21年度 ″	日立製作所 H-7000 日本電子 JEM-2100, 堀場 EX-220
ガラスナイフ作製器 〃 超ミクロトーム 真空蒸着装置	S60年度 H9年度 ″ S59年度	三慶科学 メッサー C ライカ ガラスナイフメーカー EM KMR ライカ ULTRACUT-UCT 日立製作所 HUS-5 GB
イオンスパッタ、カーボンコーター ネオオスミウムコーター ディンプルグラインダー イオンミリング装置	H8年度 H17年度 H5年度	日立製作所 E-102, E-201 盟和商事 NE-01044 ガタン MODEL656N 日立製作所 E-3500形
精密イオンポリッシング装置 超音波ディスクカッター ダイヤモンドワイヤーソー	H19年度 H21年度 H22年度	ガタン MODEL691 ガタン MODEL601 メイワフォーシス DWS3242
スパッタコーター カーボンコーター 電界放出型走査型電子顕微鏡(FE-SEM)EDX 付	// // // // // // // H14年度	メイワフォーシス SC200 メイワフォーシス CADE-EHS 日立製作所 S-4300, 堀場製作所 EX-220
走査型電子顕微鏡(N-SEM) 高分解能電界放出型走査電子顕微鏡(FE-SEM) エネルギー分散型 X 線分析装置	H15年度 H19年度 H26年度	日立製作所 S-3000N 日立製作所 S-4800 堀場製作所 EMAX EX-250X-act
デジタルマイクロスコープ	H22年度	ライカマイクロシステムズ DVM5000
2. 走査型プローブ顕微鏡システム(SPM)	H25年度	日立ハイテクサイエンス 大型ユニット AFM5400L 環境制御ユニット AFM5300E
3. 走查型 X 線光電子分光分析装置(XPS/ESCA)	H19年度	アルバック・ファイ Quantera SXM-GS
4. 高分解能質量分析装置 (MS) // // // // // // // // // // // // //	H13年度 H15年度	日本電子 GCmate II 日本電子 JMS-700 日本電子 AMSUN200 (K9)
// // 液体クロマトグラフ(HPLC) // (nanoLC)	H23年度 H26年度 H15年度 H26年度	日本電子 JMS-T100LP 島津製作所 AXIMA-Resonance アジレント 1100MS-52011LC 島津製作所 LC-20ADnano
5. フーリエ変換核磁気共鳴装置 (FT-NMR) 内訳:500 MHz 固体測定補助装置		日本電子 JNM ECA500 日本電子 NM-93030CPM
400 MHz 600 MHz	// //	日本電子 JNM ECX400P 日本電子 JNM ECA600
6. 電子スピン共鳴装置 (ESR)	H14年度	日本電子 JES FA100
7. 誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)	H20年度	ジョバンイボン ULTIMA 2 (堀場製作所)
8. 波長分散型蛍光 X 線分析装置(XRF)	H23年度	Bruker AXSS8TIGER1kW
9. 有機微量元素分析システム (OEA) 有機微量元素分析装置 オートサンプラー 硫黄分析ユニット	H23年度 〃 〃	J·Science·Lab JM10 J·Science·Lab JMA102 J·Science·Lab JMSU10

10. 超高速度現象解析システム		
内訳:超高速度撮影装置	H10年度	NAC FS501
"	H23年度	島津製作所 HyperVision HPV-2 A
汎用高速度撮影装置	H23年度	NAC MEMECAM GX-8
高速度赤外線カメラ	H10年度	セキテクノトロン SC7500TEC
汎用赤外線カメラ	"	ニコン LAIRD 3 ASH
パルスジェネレータ	H23年度	NAC DG-535
11. 紫外可視分光光度計(UV-Vis)	H22年度	パーキンエルマー λ950
フーリエ変換型赤外分光光度計 (FT-IR)	H22年度	パーキンエルマー Spectrum100
顕微·反射型赤外分光光度計(顕微 IR)	H14年度	日本分光 460Plus
In Situ フーリエ変換赤外分光光度計(FT-IR)	H15年度	メトラー・トレド ReactIR4000
顕微・接触型赤外分光光度計	"	SensIR Technologies IlluminatIR
旋光計	H22年度	日本分光 P-2300
12. 円二色性分散計 (CD)	H13年度	日本分光 J-820P
13. フォトルミネッセンス分析システム		
蛍光寿命測定装置(Tau)	H23年度	浜松ホトニクス Quantaurus-Tau
絶対 PL 量子収率測定装置(QY)	"	浜松ホトニクス Quantaurus-QY
分光蛍光光度計(FL)	"	日本分光 FP-8600
14. テラヘルツイメージングシステム		
フェムト秒ファイバーレーザー	H17年度	アイシン精機 フェムトライト BS-60-YS
テラヘルツ分光走査型顕微鏡	H19年度	オザワ THz-TDS
15. 顕微レーザーラマン分光システム	H14年度	日本分光 NRS-1000
16. 熱分析システム		エスアイアイ EXSTAR-6000Series
示差熱量計(DSC)	H15年度	DSC6200, DSC6100,
熱重量・示差熱同時測定装置(TG/DTA)	"	TG/DTA6300
熱機械分析装置(TMA)	"	TMA/SS6100, TMA/SS6300
17. 粒子解析システム		11111/ 000100, 11111/ 000000
フロー式粒子像分解析装置	H22年度	マルバーン FPIA-3000
粒子径・ゼータ電位・分子量測定装置	Π22平及 //	マルバーン FFIA-3000 マルバーン Zetasizer Nano ZS
		Zetasizei Ivano Zo
18. 粘弾性解析システム	******	m
レオメーター	H22年度	TA・インスツルメント AR-G II KG
動的粘弾性測定装置	"	TA・インスツルメント DMA Q800KG
19. 物質微細構造解析システム		
X 線マイクロ CT スキャン	H22年度	東洋テクニカ SKYSCAN1172-GU
X 線回折装置*	H26年度	リガク SmartLab (9kW)
20. その他		
超音波洗浄器	H7年度	マルバーン 220
ミクロ天秤	H19年度	ザルトリウス MC5
** ***	1110 1/2	7

^{*}本年度中に、新たな全学の機器共用システムの分析装置として、機器分析室7に設置し、共用化。

【医学地区】 H30. 4 現在

品 名	納入年度	規格
1. 核磁気共鳴分光装置(NMR)		
内訳: 800 MHz	H21年度	Bruker Biospin AVANCE III 800
600 MHz	"	Bruker Biospin AVANCE III 600
2. 超高輝度 X 線回折装置	H17年度	Rigaku FR-E SuperBright
3. 電子スピン共鳴装置 (ESR)	H21年度	Bruker Biospin EMXmicro

2. 機器配置図

【柳戸地区】

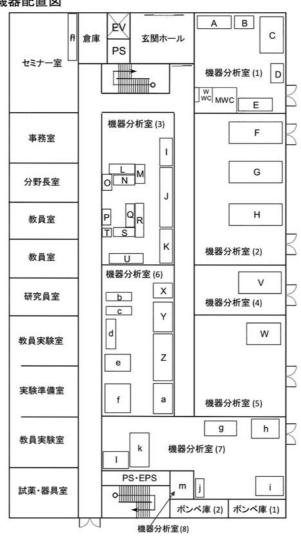
機器名	メーカー・型番	室 名	場所
	島津 AXIMA Resonance		А
	日本電子 JMS-T100LP (AccuTOF LC-plus)		В
質量分析装置 (MS)	日本電子 JMS-700		С
	日本電子 GCmate II	1	D
	日本電子 JMS-AMSUN200 (K9)		Е
Well. 2	島津 nanoLC		А
液体クロマトグラフ	アジレント MS-52011LC		В
	日本電子 JMN ECX-400p		F
フーリエ変換核磁気共鳴装置 (FT-NMR)	日本電子 JMN ECA-500·NM-93030CPM	2	G
	日本電子 JMN ECA-600		Н
レオメーター	TA・インスツルメント AR-G2 KG		_
動的粘弹性測定装置	TA・インスツルメント DMA Q800 KG		I
顕微フーリエ変換赤外分光光度計 (顕微 IR)	日本分光 460Plus、IRT-30		
フーリエ変換赤外分光光度計 (FT-IR)	パーキンエルマー Spectrum100		J
	エスアイアイ EXSTAR-6000 Series: DSC、		
熱分析システム	TG/DTA,TMA		K
円二色性分散計 (CD)	日本分光 J-820P	1	L
顕微・接触型分光計	センサーテクノロジーズ Illuminat IR	1	
In Situ フーリエ変換赤外分光光度計(FT-IR)	メトラートレド ReactIR 4000	1	M
紫外可視分光光度計 (UV-Vis)	パーキンエルマー LAMBDA950	3	N
分光蛍光光度計(FL)	日本分光 FP-8600		0
絶対 PL 量子収率測定装置(QY)	浜松ホトニクス Quantaurus-QY	-	P
蛍光寿命測定装置(Tau)	浜松ホトニクス Quantaurus-Tau		Q
フロー式粒子像分析装置	マルバーン FPIA-3000		
精密天秤	ザルトリウス MC 5		R
粒子径・ゼータ電位・分子量測定装置	マルバーン Zetasizer Nano ZS		
旋光計	日本分光 P-2300		S
顕微レーザーラマン分光システム	日本分光 NRS-1000		Т
有機微量元素分析装置(OEA)	J-Science Lab JM10/JAM102/JMSU10/JMR10	<u>.</u>	U
有成网里几朵分析农臣(ODA)	日本電子 JEM-2100	4	V
透過型電子顕微鏡 (TEM)	日立製作所 H-7000	5	W
	ライカマイクロシステムズ DVM-5000	J	VV
	三慶科学 メッサー C		
ガラスナイフ作製器			X
超ミクロトーム	ライカ ガラスナイフメーカー EM ライカ ULTRACUT-UCT	-	
			17
走査型電子顕微鏡(N-SEM)	日立製作所 S-3000N		Y
走査型電子顕微鏡 (FE-SEM)	日立製作所 S-4300		Z
エネルギー分散型X線分析装置	堀場製作所 EX-220		
高分解能電界放出型走査電子顕微鏡	日立製作所 S-4800	-	a
エネルギー分散型X線分析装置	堀場製作所 EX-220		
ネオオスミウムコーター	メイワフォーシス NE-01044	6	b
ダイヤモンドワイヤーソー	メイワフォーシス DWS3242		
イオンスパッタ	日立製作所 E-102、E-201		С
スパッタコーター	POLARON SC7640		
イオンミリング装置	日立製作所 E-3500		
ディンプルグラインダー	ガタン MODEL 656N		
精密イオンポリッシング装置	ガタン MODEL 691		d
超音波ディスクカッター	JEAN MODEL COL		
	ガタン MODEL 601	1	
真空蒸着装置	日立製作所 HUS-5 GB		
真空蒸着装置 スパッタコーター			e

走査型プローブ顕微鏡システム (SPM/AFM)	日立ハイテクサイエンス AFM5400L、AFM5300E	6	f
誘導結合プラズマ発光分析装置 (ICP-AES)	ジョバンイボン ULTIMA 2 (堀場製作所)		<i>a</i>
マイクロ波加熱試料分解システム	CEM MDS-200		g
X 線回折装置*	リガク SmartLab (9 kW)		h
電子スピン共鳴装置(ESR)	日本電子 JES-FA100		i
波長分散型蛍光 X 線分析装置(XRF)	Bruker AXS S8 TIGER-MA 1 kW	7	
ビード作成装置	Katanax K1 Prime Electric Fluxer		j
粉砕機	伊藤製作所 MC-4 A		
走查型 X 線光電子分光分析装置(XPS/ESCA)	アルバック・ファイ Quantera SXM-GS		k
X 線マイクロ CT スキャン	SKYSCAN1172-GU		1
テラヘルツ分光走査型顕微鏡	オザワ THz-TDS	8	***
フェムト秒ファイバーレーザー	アイシン精機 フェムトライト BS-60-YS	0	m
超高速度撮影装置	NAC FS501		
熱画像解析装置	セキテクノトロン SC7500STEC		
超高速度撮影装置	島津製作所 HyperVision HPV-2A		
	NAC HS-4540- 2	セミナー室	n
超高速度撮影装置	NAC MEMRCAM GX-8		
熱画像解析装置	ニコンサーマルビジョン LAIRD 3 ASH		
パルスジェネレータ	NAC DG-535		

その他: 実体顕微鏡、レーザー照明装置、錠剤成型機、油圧プレス

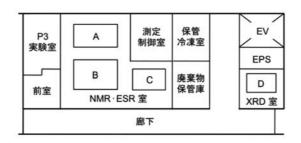
* 本年度中に、新たな全学の機器共用システムの分析装置として、機器分析室7に設置し、共用化。

機器配置図



機器配置図 (医学地区)

機器名	メーカー・型番	場所
核磁気共鳴分光装置(NMR)	Bruker Biospin AVANCE III 600	A
核做风光特力儿表直(NMK)	Bruker Biospin AVANCE III 800	
電子スピン共鳴装置(ESR)	Bruker Biospin EMXmicro	С
超高輝度 X 線回折装置	Rigaku FR-E SuperBright	D



3. 機器紹介

1. 大型電子顕微鏡・デジタル顕微鏡

電子顕微鏡における電子線の波長は可視光線のものよりもかなり短く、透過型電子顕微鏡の場合、理論的には1Å程度の分解能がある。当分野には、2台の透過型電子顕微鏡、および、3台の走査型電子顕微鏡が設置されている。

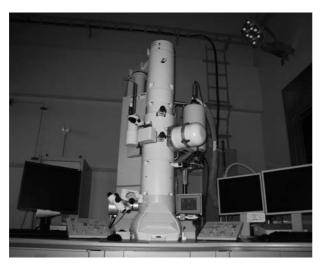
(I) 透過型電子顕微鏡(TEM)

TEM (Transmission Electron Microscope) で観察可能な画像には、通常の明視野像や、試料によって散乱された電子線のみを結像させる暗視野像がある。さらに、走査型透過電子顕微鏡(Scanning TEM, STEM)として、電子線を絞って試料に走査することにより3次元画像を得ることも可能である。当分野に設置されている日本電子JEM-2100と日立H-7000は、高分解能観察が可能で、画像をCCDカメラに保存することができる。JEM-2100では、医学・生物科学や材料科学における試料の総合的な解析が可能である。

1)日本電子 JEM-2100、日立 H-7000 (機器分析室 4.5)

JEM-2100 は高出力で高精度の LaB 6 電子銃を搭載しており、加速電圧は 200 kV (5 段階) まで上げることができる。一方、W 電子銃を搭載する H-7000 は 125 kV まで 6 段階の加速電圧により低倍率から画像を観察することができる。生物材料および非生物材料の超薄切片を、JEM-2100 では 2,000倍から 150 万倍に、H-7000 では 50 倍から 60 万倍に拡大し、内部の微細構造の観察が可能である。格子像の分解能は、JEM-2100 が 1.4 Å、H-7000 が 2.04 Å である。いずれも、得られた画像を CCDカメラに取り込み解析することが可能である。

日本電子 JEM-2100 には STEM 機能があり、対象を 3 次元で観察した 3 D トモグラフを得ることもできる。加えて、接続した X 線分析装置 (EDX) によるホウ素より重い元素の分布解析も可能である。







日立 H-7000

透過型電子顕微鏡は試料に電子線を透過して観察する装置であるから、電子が透過できる厚さまで試料を薄くすることが前処理として必要である。切片作製のための超ミクロトームおよび真空蒸着装置は機器分析室6に設置してある。試料の観察は蛍光板上に投影された像を見て行い、解析したい画像を CCD カメラに取り込む。生物材料の場合には、通常、切片を種々の金属で染色して観察するが、染色操作を避けたい場合は、STEM 機能により、無染色の切片を明視野像として観察することもできる。また、傾斜角度を変えることにより、準超薄切片からステレオ電子顕微鏡写真を作製することも可能である。さらに、細胞の内部構造を調べるためのフリーズエッチング法や生体膜の内部構造を調べるためのフリーズフラクチャー法による凍結断片レプリカを作製できる機器も備えている。

試料が結晶質であれば、結晶からのブラッグ反射を結像させると電子線回折像が得られ、これは結晶相の同定や結晶方位の決定などに用いられる。JEM-2100では、実像と回折像がよく調和するようにコンピュータで制御されている。

2) 堀場製作所 EX-220 (X線分析装置 (EDX)) (機器分析室 4, 6)

JEM-2100 と S-4300 に設置してあり、試料に含まれる元素の分析を行う。電子線を照射すると、試料に含まれる元素から特性 X 線が放出されるので、そのエネルギーをシリコン検出器で分光してスペクトルを得ることにより、元素が特定できる。JEM-2100 では、TEM 像を観察しながら希望の部位に電子線を絞り照射して STEM 像を得、その部位の点分析を行ったり、絞った電子線で試料を走査して面分析を行ったりすることができる。また、コンピュータの画面上で、STEM 像と元素分布を重ね合わせるなど様々な解析が可能である。

3) Gatan Model656 (ディンプルグラインダー) (機器分析室 6)

セラミックス、半導体などの透過電子顕微鏡観察用の薄片試料作製のために用いる。試料表面をダイアモンドペーストあるいはアルミナペーストで研磨し、球面状の窪みを作ることができる。主として、イオンミリング処理の前処理に用いる。通常、最小厚さ部分が $20\sim50~\mu m$ まで研磨が可能であるが、注意深い操作により $5~\mu m$ まで薄くすることが可能である。

4) Gatan PIPS-691 (精密イオンポリッシング装置) (機器分析室 6)

主としてセラミックス、半導体などの透過電子顕微鏡観察用試料の作製の最終処理に用いられる。あらかじめ数十 μ m以下の厚さにした試料表面に、高真空中で加速されたアルゴンイオンを照射し、試料に穴を開ける。この時、イオンビームをある角度で照射すると、穴のエッジ部分が数十~数百 μ mの厚さとなり、透過電子顕微鏡観察が可能となる。当分野に設置されている Gatan PIPS-691 は一度に加工できる試料数は μ 1個であるが、加工スピードが著しく向上した。酸化物の試料でも数時間で

TEM による観察が可能な状態である。

(II) 走査型電子顕微鏡 (SEM)

当分野に設置してある SEM(Scanning Electron Microscope)は、日立製作所製 S-4800、S-4300 および S-3000N である。S-4800 と S-4300 は、電界放出型電子銃(field-emission electron gun, FEG)を備えた装置であり、高輝度・高分解能観察が可能で、EDX による元素分析も可能な機種である。S-3000N は、二次電子検出器や反射電子検出器を備えており、270 Pa の低真空度での観察や無蒸着観察ができる機種である。

1) 日立 S-4300 (電界放出型電子顕微鏡) (機器分析室 6)

この電子顕微鏡は FEG を備えた装置で、加速電圧は 0.5 ~30 kV の範囲で可変することが可能であり、倍率は 20 ~500,000 倍、分解能 は 1.5 nm(15 kV)および 5.0 nm(1 kV)である。高輝度な電子銃により、低加速電圧、例えば 1 kV でも高分解像を得ることが可能である。また、低加速電圧にて、無蒸着観察できる試料もある。この SEM はすべてパソコンで制御できるタイプであり、撮影した像もデジタル情報として得られる。さらに、装備された EDX は炭素からの分析が可能なタイプであり、定性・

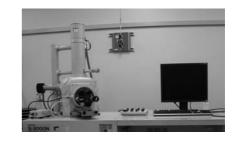


定量分析はもちろん、画像をパソコンに取り込んで組成像との合成も可能である。

操作上注意すべき点は、EDXのX線取り込み窓が非常に薄く、微粒子でさえ容易に破損の原因となることがあり、試料を本体に挿入する前にはエアーブローワーで微粒子を取り除くことを励行する。また、電子銃近傍は非常に高い真空度に保つ必要があり、試料も前もって十分脱気する必要がある。

2) 日立 S-3000N (熱電子放出型電子顕微鏡) (機器分析室 6)

この電子顕微鏡は通常のタングステンへアピン型(熱電子放出型)電子銃を備えた装置であり、加速電圧が 0.3~30 kV の範囲で使用する。倍率は 5~300,000 倍で、二次電子像分解能は 3.0 nm(高真空モード、加速電圧 25 kV)、反射電子像分解能は 4.0 nm(低真空モード、加速電圧 25 kV)である。二次電子信号は発生領域が浅いので、表面の微細構造を強く反映した像が得られる。一方、反射電子信号は強度が原子番号に依存する性質を有しており、試料表面の組成差を強く反映した像を得ることができる。



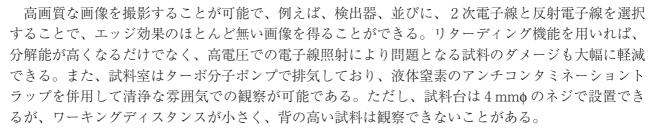
この SEM の特徴は、低真空 270 Pa(約 2 torr)で試料の観察が可能なことである。含水量が少ない試料では、そのまま試料室に入れて無蒸着での観察が可能である。試料の解析には "環境二次電子検出器 (ESED)"、または、反射電子検出器を用いる。生体試料はもちろん、ポリマーや通常の状態ではチャージアップが甚だしいものの分析を得意としている。また、試料室も大きく、観察範囲は 4×6 cm と広い。さらにパソコンによる自動化が進んでおり、初心者でも容易に鮮明な画像を得ることが可能である。また、S-3000N は高真空では通常のタングステンへアピン型電子顕微鏡としても十分な能力がある。通常のタングステンへアピンフィラメントに必要な飽和点の検出やバイアスなどもすべて自動化されている。非常に使い勝手の良い装置であり、電子の加速電圧は $1\,\mathrm{kV}$ 以下から $30\,\mathrm{kV}$ まで広い範囲で使用可能である。

3) 日立 S-4800(電界放出型電子顕微鏡)(機器分析室 6)

この電子顕微鏡は FEG を備えた装置で、S-4300 より性能と使い勝手が向上している。X 線分析装置 EX-250X-act が接続されており、SEM 像に合わせて元素分析が可能である。以下にこの装置の特

徴を示す。

- 1. $15 \, \text{kV} \, \text{で} \, 1.0 \, \text{nm}$ 、 $1 \, \text{kV} \, \text{で} \, 6.2 \, \text{nm} \, \text{の高分解能}$ 。試料ステージ にマイナスの電圧をかけ、入射電子を減速するリターディング 機能を用いると $1 \, \text{kV} \, \text{で} \, 1.4 \, \text{nm} \, \text{の分解能を有する}$ 。
- 2. 電子検出器が対物レンズの上下に各一個有り、2次電子線や反射電子線を同時検出し、信号の組合せが可能。
- 3. 試料の出し入れがボタンスイッチにてできる(レバーを操作する必要がない)。
- 4. 試料の X-Y 移動および回転の3軸が電動で調整できる。
- 5. S-4300より EDX 用有効素子面積が大きい。



4) 日立 E-3500 (イオンミリング装置) (機器分析室 6)

このイオンミリング装置は、イオンガン中でアルゴンガスを放電・イオン化し、高電圧を印加してイオンを引き出して試料に衝突させ、研磨する装置である。試料の一部は遮蔽板で保護し、この遮蔽板によってきれいな断面の形成が可能になる。また、研磨速度も、ガラスやシリコンなどでは1時間に100 μm、イオンシニング装置より格段に大きいミリングレートが得られる。また、研磨された面は非常に平滑である。

(Ⅲ) ライカ DVM5000 (デジタルマイクロスコープ) (機器分析室 6)

本装置は高解像モニターが搭載され、高画質ライブ表示で観察ができるデジタルマイクロスコープである。最適な観察倍率に可変できるズーム機構で、従来の顕微鏡では難しかった、大きな対象物の非破壊検査、表面観察も容易に行える。ライカ伝統と実績の高い光学機能に、多機能な計測・解析モジュールを標準搭載したオールインワンシステムにより、2D解析はもちろん、高度な3D解析も可能である。



2. 走査型プローブ顕微鏡システム (SPM) (機器分析室 6)

走査型プローブ顕微鏡(SPM)は、測定試料と探針間に働く原子間力またはトンネル電流を検出することにより、試料の表面のミクロな部分の形状、摩擦などの情報を得る装置である。当分野の走査型プローブ顕微鏡は日立ハイテクサイエンスの AFM5400L および AFM5300E で、試料の大きさはそれぞれ、8 インチ(20.32 cm) $\phi \times 22$ mm(厚さ)程度、20 mm $\phi \times 10$ mm(厚さ)まで対応可能である。ユニットの交換により、原子間力顕微鏡(AFM)、走査型トンネル顕微鏡(STM)、摩擦力顕微鏡、電気化学 AFM・STM、マイクロ粘弾性 AFM(VE-AFM)などの測定が可能であり、温度可変($-120\sim300$ ℃)および真空下で測定できる設備を備えている。

1) 日立ハイテクサイエンス AFM5400L、AFM5300E(走査型プローブ顕微鏡)(機器分析室 6)

本システムは装置制御とデータ処理を行うプローブステーション、並びに、2台の測定ユニット、高精度大型プローブ顕微鏡ユニット AFM5400L と環境制御型ユニット AFM5300E で構成されている。AFM 測定など多くは両方のユニットで測定可能だが、電気化学 AFM·STM、真空中および温度制御分析には AFM5300E を用いる必要がある。それぞれ、光学顕微鏡を備え、装置の調整、試料の位置合わせが容易にできる。データ処理部は高速フーリエ変換(FFT)を始めとする各種のフィルターおよび画



像解析プログラムをもち、視覚に訴える3次元画像を作成することができる。

【測定モード】

コンタクト AFM、液中コンタクト AFM、電流同時測定 AFM、表面電位顕微鏡、DFM(ダイナミックフォースモード、サイクリックコンタクトまたはノンコンタクトモード AFM 測定)、液中 DFM、STM、電気化学 AFM、電気化学 STM、VE-AFM (マイクロ粘弾性測定モード)、FFM (摩擦力顕微鏡)、LM-FFM (横振動摩擦力顕微鏡)



3. X線光電子分光分析装置(XPS, ESCA)

X線光電子分光分析(X-Ray Photoelectron Spectroscopy, XPS)は、ESCA(Electron Spectroscopy for Chemical Analysis)とも呼ばれ、物質表面の元素分析として最も広く使用されている。超高真空中で、励起源として $AlK\alpha$ 、 $MgK\alpha$ などの軟 X 線を試料に照射し、極表面にある元素(Li~U)のイオン化に伴い放出される光電子を補足して、エネルギー・アナライザーで測定する。元素由来の光電子スペクトルで示される電子の原子核に対する結合エネルギーと放出された光電子の強度から、元素の同定、定量分析の他、光電子ピークの微妙な化学シフトにより目的とする元素の化学結合状態も求めることができる。

1)アルバック・ファイ Quantera-SXM-GS(走査型 X 線光電子分光分析装置)(機器分析室 7)

当分野には、走査型 X 線光電子分光分析装置として、Quantera-SXM-GS が設置されている。この装置では、固体の極表面の数原子層についての化学組成分析が可能である。Quantera で分析できる試料表面からの深さは $0.5\sim5$ nm ほどであることから、走査電子顕微鏡に取り付けられたエネルギー分散型 X 線分析装置 (SEM-EDX) やフーリエ変換赤外分光分析装置 (FT-IR) と比べて、物質の極表面における化学組成を分析するのに適してい



る。また、測定ごとにArイオン照射による表面のエッチングを繰り返すことにより、深さ方向について化学結合状態がどの様に変化しているのかを追跡することもできる。XPSの応用範囲は、高分子、触媒、半導体、電子材料といった様々な工業製品など多岐にわたる。

【仕様】

X 線源:分光された Al-Kα 線

測定モード:微小領域、線分析、面分析

X線の照射径: 9~100 μm で可変し、走査して試料表面に照射することが可能

標準試料台:75×75 mm (試料厚さ<20 mm)、 加熱・冷却測定

4. 高分解能質量分析システム

質量分析(Mass Spectrometry)では、目的に応じたイオン化法により試料分子をイオン化させ、 生じた分子イオンやフラグメントイオンは、分析部の様々な仕組みにより質量が決定される。分析部 としては、二重収束型(Double-focusing)、四重極型(Quadrupole, Q)、飛行時間型(Time-of-Flight, TOF)などがある。例えば、飛行時間型質量分析(TOF MS)では、イオン化された試料は装置内を印加電圧により、生じた各々のイオンは質量数に応じた速度で飛行する。これらのイオンを飛行時間により分離することで、質量電荷比(m/z)に応じたマススペクトル(横軸:m/z、縦軸:検出強度)が得られる。MS は有機化合物など様々な物質の質量同定に不可欠な分析法である。

(I) 高分解能質量分析装置 (MS)

当分野に設置されている MS 装置による分析では、必要なサンプル量は数ナノグラムである。試料は装置に直接導入するか、ガスクロマトグラフ(GC)、液体クロマトグラフ(LC)等を直結して導入する。試料が気体または揮発性物質であるか、あるいは液体、固体もしくは非揮発性物質であるかにより導入法は異なる。装置内では、主に、電子イオン化(electron ionization, EI)法、化学イオン化(chemical ionization, CI)法、高速原子衝突(fast atom bombardment, FAB)法、エレクトロスプレーイオン(electro-spray ionization, ESI)法、リアルタイム直接分析(direct analysis in real time, DART)法、マトリックス支援レーザー脱離イオン化(matrix assisted laser desorption/ionization, MALDI)法等で試料がイオン化される。

5種類の装置が設置されており、化合物の種類や測定の目的別に機種を選択することができる。

機種名	通称	仕様	イオン化法	検出法	測定可能範囲	分解能
JMS-MSation700	700	MS GC/MS (LC/MS)	EI/CI FAB ESI	二重収束	$1 \sim 2,400$	60, 000
JMS-AMSUN200/GI	К 9	GC/MS	EI/CI	四重極	1~1,000	>2,000
GC-Mate II	GC-Mate	GC/MS	EI/CI&FAB	二重収束	1~1,000	5,000、3,000 1,000、500
JMS-T100LP	AccuTOF	MS LC/MS	ESI DART	TOF	$1 \sim 1,200$	6, 000
AXIMA-Resonance	AXIMA	MS MS/MS	MALDI	TOF	$100 \sim 12,000$ $100 \sim 5,000$	>8,000

1)日本電子 JMS-MStation700(二重収束型)(機器分析室 1)

全てコンピュータ制御されており、イオン源などの各種パラメータのオートチューニング機能がある。検出器は磁場セクターと電場セクターを配置した二重収束型である。高加速イオン源と高電圧印加コンバージョンダイノード型イオン検出器により、正負イオンの高感度測定が可能で、高質量領域においても正確に質量を決定できる。

【仕様】

測定質量範囲: 1~2,400 ダルトン (加速電圧 1kV で 24,000)

分解能:60,000

試料導入:直接、GC(Agilent6980N)/イオン源:EI、CI、FAB

測定モード:低分解能測定、高分解能測定/正・負イオン

その他:リンクトスキャン



本装置は、ガスクロマトグラフ(GC)が試料導入部として直結された、四重極型の卓上 GCQMS 装置である。四重極型の分析部は4本の電極ロッドからなり、直流電圧と交流電圧をかけることにより、特定のm/z 値のイオンだけを通過させる電場を形成する。測定可能な質量範囲は交流電圧で決



まるので、直流電圧と交流電圧の比を一定に保ち、交流電圧を直線的に変化させることにより、特定のイオンを通過させ分離する。

【仕様】

測定質量範囲: 1~1.000 ダルトン

分解能:>2,000

試料導入:GC/イオン源:EI、CI

測定モード: 低分解能測定/正、負イオン検出可

3) 日本電子 GC Mate II (GCMS システム) (機器分析室 1)

本装置は、析部に二重収東光学系をもつ、全自動制御のルーティン分析を対象とした卓上型のGC/MS装置である。定量分析・定性分析のみならず、精密質量測定を行える性能を備えている。

【仕様】

測定質量範囲: 1~1.000 ダルトン (加速電圧 2.5 kV)

1~2,000 ダルトン (加速電圧 1.25 kV)

分解能:500,1000,3000,5000 (PC コントロール4段切り替え)

試料導入:GC/イオン源:EI、CI、FAB

測定モード: 低分解能測定/正、負イオン検出可

4) 日本電子 JMS-T100LP (AccuTOF LC-plus) (機器分析室 1)

この装置ではESI法により高分子をフラグメント化することなくイオン化し分析できる。一方、DART法を用いると、低極性から高極性までの幅広い試料を前処理することなしに分析が可能である。DARTによるイオン化は励起状態のヘリウムが大気ガスおよび試料と相互作用することに基づいており、通常の分析機器では扱うことのできない、不定形の試料や汚れた試料もそのまま分析できることが特徴である。

【仕様】

測定質量範囲: 1~2,000 ダルトン (加速電圧 2.5 kV)

分解能:6,000

試料導入;直接、LC (Agilent1100) /イオン源: ESI、DART 測定モード: 低分解能測定、高分解能測定正/・負イオン検出可

5) 島津 AXIMA-Resonance (MALDI-TOF/MS) (機器分析室1)

この装置で用いる MALDI 法は代表的なソフトイオン化法で、従来のイオン化法では壊れやすい生体高分子(タンパク質・ペプチドや糖質)の質量分析ができる。マトリックスと均一に混合された試料は、波長 337 nm の窒素レーザー光により、混合物の最表面(~100 nm)が数 nsec で急速加熱され、気化される。本装置は四重極イオントラップ(QIT)を使用しており、イオン化時での初期エネルギーのばらつきによる精度の低下を防いでいる。また、QIT により試料の連続的な開裂が可能となり、糖質などの構造解析に必要な多段階 MS スペクトルが得られる。

【仕様】

分解能: >8,000

試料導入:直接、LC (LC-20ADnano) /イオン源: MALDI

測定モード: MS 測定、MS/MS 測定

MS 測定: 質量範囲 m/z100-12,000、感度 500 amol、

質量精度 5 ppm 外部標準

MS/MS 測定: 質量範囲 m/z100-5,000、感度 500 amol、







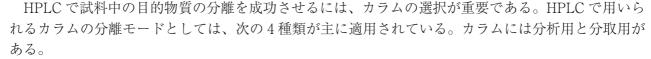
(II) 高速液体クロマトグラフ (HPLC)

1) アジレント 1100series MS-52011LC

Agilent1100series の MS-52011LC は、検出器として、紫外可視光分光検出器(190~600 nm)、蛍 光検出器 (280~900 nm)、示差屈折率検出器 (屈折率1.00~1.75;室温+5~55℃以上の範囲で一 定に設定可能)を備えている。これらの検出器を用いれば、ほとんどの有機化合物は高感度で検出で きる。また、AccuTOFに接続しLC/MSとして、質量分析のための目的物質の分離が可能である。

HPLC 本体は、次のような部分から成り立っている。

- ・コントロールモジュール、制御 PC 及びソフト
- ・ミクロデガッサ(溶媒中のガスを取り除き泡が出ないようにす る)
- ・バイナリーポンプ (高圧2液混合によってグラジエントを作り 0.001~5 ml/min の流量を調節できる)
- ・カラム恒温槽(カラム温度を室温、-10~80℃以上の範囲で一 定に保つ)
- ・フラクションコレクター (サンプルを分取する)



- (1) 順相クロマトグラフィー
- (2) 逆相クロマトグラフィー
- (3) サイズ排除クロマトグラフィー
- (4) イオンクロマトグラフィー

この中で、特に頻繁に使われるのは逆相クロマトグラフィーである。

2) 島津 LC-20ADnano (nanoLC)

島津 AXIMA-Resonance とペアで使用するため、nanoLC 自体 は検出器を持たない。AXIMA-nanoLC の分析対象となるタンパ ク質やペプチド検体は、極めて微量なことが多く、MSでの感度 向上のため、微量流量が精密に制御されたハイエンドHPLCで ある。

【仕様】

流量範囲(flow): 0~5,000 nL/min(1 nL step)、初期值 0

圧力上限値(P.max):1.0~22.0 MPa(0.1 MPa step)、初期値 10MPa

圧力下限値(P.min): 0.0~22.0 MPa(0.1 MPa step)、初期値 高圧グラジエントモード有(ステップ、リニアが多段で設定可)

補助機能により各種パラメータの設定が可能。

5. フーリエ変換核磁気共鳴装置(FT-NMR)

核磁気共鳴 (nuclear magnetic resonance, NMR) は分子の構造や物性を知る最も重要な分析法の 一つで、超電導磁石による高磁場が実現され、フーリエ変換法およびコンピュータなどの進歩により、 種々の分子を容易にかつ高精度に分析することが可能になった。現在、物理化学、有機化学、天然物 化学のみならず、農学や医学などの生命科学の研究にも幅広く利用されている。さらに、医療分野で の磁気共鳴画像法(magnetic resonance imaging, MRI)なども話題となっている。



 1 H、 12 C、 19 F、 31 P などの核スピン量子数 1/2 の原子核は、コマのように回転して小さな磁石の性質を有しており、その核スピンの向きはランダムである。物質を磁場の中に置くと、スピン状態によりいくつかのエネルギー準位に分裂する。例えば、 1 H や 12 C の原子核は外部磁場により二つのスピン状態、安定な α スピンと不安定な β スピンに分かれる。二つのスピン状態のエネルギー差はラジオ波の周波数に相当しており、原子核がラジオ波のエネルギーを吸収すると励起され、 α スピン状態から β スピン状態に遷移する。その遷移エネルギー(ラジオ波の共鳴周波数)は原子核の核スピンにより微妙に異なっている(これを化学シフトという)。励起された原子核は同じ周波数のラジオ波を放出して α スピン状態に戻る。このようにして、磁場中の原子核は、照射された特定のラジオ波に応答して、 α スピン状態と β スピン状態を行き来する。このような状況を「共鳴している」という。一方、分子中の原子核を取り囲む電子雲は、かけた外部磁場に応答して局所磁場を生じる。原子核が受ける有効磁場は、装置由来の外部磁場とこれにより誘起された局所磁場の差になる。局所磁場は分子の電子雲の状態に依存するので、原子核の環境を反映している。さらに、近傍の原子核の核スピンからの影響も受けるので、分子中の各々の原子の状態、あるいは、その原子を含む原子団(置換基)の化学的性質を知ることができ、目的とする有機分子の構造情報が得られる。例えば、 1 H NMR では、有機分子に含まれる H の種類と数、並びに、それらの位置関係を求めることができる。

当分野、柳戸地区には次の3種のFT-NMRが設置されている。いずれの機種もオートチューンユニットをデフォルトとして設定しており、核種の切替え、並びに、温度や溶媒の違いにより必要となるプローブのチューニングやマッチングの操作がコンピュータにより自動的に実行される。また、ECA-500はオートチュンプローブだけではなくインバースプローブと固体プローブを装備しているため、それぞれ'Hを高感度で測定可能であり、また、固体サンプルの測定が可能であるといった特徴がある。

1)日本電子 ECA-600(600MHz)(機器分析室2)

通常測定(¹H、¹³C、DEPT、COSY)のみならず、パルス磁場勾配法(Pulsed Field Gradient, PFG)を用いて、効率的な2次元NMR測定、並びに、HMBC、HMQC、TOCSY、DOSYを含む様々な測定手法を実施することができる。柳戸地区では最高の機種であり、高い分解能を有している。

【仕様】

超伝導マグネット基準磁場:14.09 T/ボア径:54 mm プローブ:オートチューン 5 mm FG/TH チューナブルプローブ

観測核(プローブ):¹H、¹ºF、¹⁵N~³¹P 温度可変範囲(プローブ):−100~+150℃



超伝導マグネットの基準磁場や磁場の調整精度が異なるが、上述の ECA-600と同様に、様々な測定手法を実施することができる。

【仕様】

超伝導マグネット基準磁場:9.39 T/ボア径:54 mm

プローブ:オートチューン 5 mm FG/TH チューナブルプローブ

観測核(プローブ): ¹H、¹ºF、¹⁵N~³¹P

温度可変範囲(プローブ): -100~+150℃





3) 日本電子 ECA-500 (500 MHz) (機器分析室 2)

通常測定(1 H、 13 C、DEPT、COSY)のみならず、パルス磁場勾配法(Pulsed Field Gradient, PFG)を用いて、効率的な 2 次元 NMR測定、並びに、HMBC、HMQC、TOCSY、DOSY を含む様々な測定手法を実施することができる。また、本装置はインバースプローブを装備しているためプロトンに特化した感度の高い測定も可能である。さらに、固体 NMR 測定ユニットが装備され、固体化学、生体高分子分野にも応用可能である。



【仕様】

超伝導マグネット基準磁場:11.74 T/ボア径:54 mm

固体 NMR 測定ユニット(NM-93030CPM)

プローブ: 4 mm 径、CP/MAS プローブ

観測核(プローブ): ¹H、¹5N、29Si~31P

6. 電子スピン共鳴装置 (ESR)

電子スピン共鳴(Electron Spin Resonance; ESR)装置は、試料の形状(液体、気体、固体)に影響されることなく、非破壊で、選択的にフリーラジカルを測定できる唯一の手段である。ESRの測定対象は、不対電子(unpaired electron)であるため、不対電子を持つ物質はすべて測定可能である。鉄や銅などの金属イオンは、古くからそれらを含む錯体の構造解析が行われてきたが、これらの金属イオンを含むタンパク質も測定可能であり、酵素などの生体試料の構造機能解析に係る研究にも広く用いられるようになった。特に、これらの酵素の一部が生体内で作り出す活性酸素の研究も近年盛んに行われている。この分野で確立されたフリーラジカル測定の技術は、光触媒効果の評価、ソノケミストリー、ダイオキシン分解などの環境関連分野でも利用されるようになっている。また、忘れてはならないのが格子欠陥というタイプの不対電子で、半導体ウェハやガラスファイバーなどの性能に大きく寄与することから、半導体材料の開発にも応用されている。

1) 日本電子 JES FA100(機器分析室 7)

当分野の JES-FA100 は、フルコンピュータコントロール/Windows オペレーションの最新の ESR 装置である。従来の ESR 装置では、共振周波数を探し、フェーズとカップリングアイリスをマイクロ波のパワーを変えながら調整しなければならなく、ある程度の慣れが必要でしたが、JES-FA100では、ジャストカップリングのためのマイクロ波調整は "AUTOTUNE" ボタンひとつで完了できる。また、Windows オペレーションの画面は、スペクトル取りこみ画面とデータ処理画面の 2 つで、シンプルに構成されている。取りこみ画面では、ESR 測定条件のほか、連続測定 – 自動保存、測定温度設定(温度可変ユニットはオプション)、積算その他の取り込み条件を各ウィンドウから設定できる。

【仕様】

・感度: 7×10⁹ spins/0.1 mT (100 kHz 磁場変調にて最大 出力 200 mW)

・分解能: $2.35\,\mu\text{T}$ 以上($100\,\text{kHz}$ 磁場変調にて空洞共振器内 $4\times43.5\,\text{mm}$)

・磁場安定度:短期 1×10^{-6} または $0.3\,\mu\mathrm{T}$ 以上、 長期 5×10^{-6} または $1.5\,\mu\mathrm{T}$ 以上



7. 誘導結合プラズマ発光分析装置 (ICP-AES)

電子材料、セラミックス、超伝導材料等の先端材料や生体試料中に存在する微量元素、水、土壌、 大気など環境中に存在する元素を解明することが、物質の諸性質を研究する上でしばしば必要とな る。誘導結合プラズマ発光分析(Inductively Coupled Plasma-Atomic Emission Spectrometry, ICP- AES)は、このような目的に対して有用であり、多元素(ほとんどの金属元素およびホウ素、炭素、ケイ素、リン、硫黄などのいくつかの非金属元素を含めた70以上の元素)を同時に極微量から高濃度までの広い濃度範囲にわたって定性的ならびに定量的に分析することができる。誘導結合プラズマ(ICP)とは、アルゴンガス(Ar)などの希ガスに高電圧をかけてプラズマ化し、高周波数の変動磁場によりプラズマ内部に過電流を生じさせて得られる高温プラズマのことである。6,000~10,000°Kまで上昇したICPは、試料中のほとんどすべての化合物をその構成元素に分解して、各々の元素を熱励起し、これが基底状態に戻る際の発光スペクトルから個々の元素が同定できる。分析対象の元素から放出された光の波長から定性分析が、発光強度から定量分析を行うことができる。この分析法では、測定条件を変更することなしに、1 ppb 以下の極微量から1,000 ppm またはそれ以上の濃度範囲にある元素を検出可能である。また、高温の励起源を用いることで、他の原子スペクトル法で問題となっていた共存物質の影響や、分子種由来のバックグランドの影響を大幅に低減することができる。

ジョバンイボン ULTIMA 2 (機器分析室 7)

当分野の ULTIMA 2 は、Ar の高周波誘導結合プラズマを励起源としており、無機物および有機物中の75元素を同時に測定できる超高感度元素分析装置である。自己吸収がほとんどなく、ダイナミックレンジは106 と広いので、試料中の主成分から極微量成分まで分析することができる。使用する試料量も少なくてすみ、1分間当たり1 ml の注入量にて、2分程度で含まれる元素の種類と各々の含有量が分析できる。本装置には、試料の調製に必要な超純水の製造装置(東洋製作所、Advantec RFD250NB)、および、試料を分解して液体試料にするためのマイクロ波加熱試料分解装置(CEM, type MDS-2000)が設置されている。

【仕様】

高周波電源部:周波数 40.68 MHz, 出力 0.8~1.55 kW

測定波長範囲: 20~800 nm

付属装置:ネブライザー、水素化物発生装置、

フッ化水素酸試料用トーチ、

機溶媒導入用トーチ、高塩濃度用トーチ



8. 波長分散型蛍光 X 線分析装置(XRF)

試料にX線を照射すると、その物質を構成する元素の内殻の電子は一定以上のエネルギーをもつ X線により励起され、軌道に空孔が生じる。蛍光 X線(X-ray Fluorescence, XRF)とは、その軌道 へ外殻の電子が遷移する際に放出される特性 X線のことをいう。その波長は元素特有の内殻と外殻のエネルギー差に対応している。波長分散型 XRF 装置では、複数の分光結晶を切り替えられる検出器を用いて、特定波長の蛍光を分析する。通常、測定可能元素はBからV0 であり、V10 eV 程度のエネルギー分解能を有する。

1) ブルカー・AXSS8TIGER(1kW)(機器分析室7)

S8TIGER は、粉末、薄膜、機能材料など様々な物質に X 線を照射して、物質から放出される蛍光 X 線を測定し、含まれる元素について定性・定量を行う装置である。また、軽元素から重元素まで、固体・液体・粉体の状態で、ppb レベルまで測定が可能である。本装置は、ゴニオメータの角度再現性($\pm 0.0001^\circ$)が良く、かつ高速であり(スキャンスピードは $1,2000^\circ/分$)、優れた分析精度を有する。検量線が引けない未知試料の分析にはファンダメンタルパラメーターソフトウエアによる最速 2 分のデジタルスキャンスクリーニング分析が可能である。

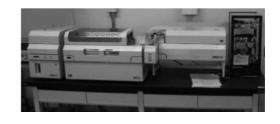


9. 有機微量元素分析システム (OEA)

有機物は完全に燃焼分解して還元銅を通過すると、 H_2O 、 CO_2 、 N_2 ガスとなる。有機微量元素分析装置(Organic Element Analyzer, OEA)は、完全燃焼により生成した H_2O 、 CO_2 、 N_2 ガスをそれぞれ熱伝導度検出器で定量して、試料の構成元素 C·H·N 量を測定する装置である。その分析結果から化合物の純度や組成などを求め、化合物の同定を行う。微量元素分析は化学、医学、薬学及び農学などで広く利用されている。

1) ジェイサイエンスラボ JM-10(機器分析室3)

当分野には、J-Science Lab の有機微量元素分析装置 JM-10 と、オートサンプラー JMA102、硫黄分析ユニット JMSU10 からなるシステムがある。硫黄は専用の燃焼管と還元管を用いて測定する。装置の制御及びデータ処理はコンピュータにより行われ、分析データは Word や Excel などへの貼り付けが可能である。



【仕様】

測定元素:炭素、水素、窒素または硫黄(硫黄分析キット装備)

測定範囲:炭素: 3~2,600 μg、水素:0.5~400 μg、窒素: 1~1,000 μg、硫黄:50~1,000 μg

測定精度:絕対誤差 $\pm 0.3\%$ 以内 (CHN 分析)、 $\pm 0.5\%$ 以内 (S 分析)

試料量:通常2mg前後、微量はかりにて秤量

分析能力:5~10回/時、オートサンプラーにより20検体の連続分析が可能

安定時間:スイッチオンから約90分で分析可能

10. 超高速度現象解析システム

本システムでは、ナノ秒(ns)オーダーまでの自然界の様々な超高速度現象、たとえば稲妻の伝播 過程、材料の破壊過程、乱流の発生過程、さらにはミクロなレベルでの半導体中の電子 – 正孔反応な どを、光もしくは熱によって、あるいはフォトルミネセンス現象を通してリアルタイムで追跡し、解析することができる。大きく分けて高速度撮影カメラ・ビデオシステムと時間分解フォトルミネセンス・蛍光分光光度計の2つのシステムから構成されている。

(1) 高速度撮影カメラ・ビデオシステム (セミナー室、持出可)

1) NAC ウルトラナック標準セット、島津製作所 HyperVision HPV-2A (超高速度撮影装置) 最大撮影速度 100 万コマ/秒の時間分解能を持ち、最大 100 枚の画像を記録することができる。解像度は 312×260 の 8.1 万画素。モノクロ 10 bit。撮像データは USB を通して、BMP、AVI、JPEG、TIFF format で出力できる。任意のフレームにトリガー信号を入れることができ、超高速の現象の撮像に適している。

2)NAC MEMECAM GX-8(汎用高速度撮影装置)

 1280×1024 の解像度で 2916 コマ/秒の撮影が可能。 1024×768 の解像度で 4628 コマ/秒、最大で 60 万コマ/秒まで撮影可能(16×4 ピクセル)。モノクロで感度は ISO 200000。フルフレームでの最大撮像コマ数は約 5000 枚。F マウントおよび C マウントのレンズが装着可能。トリガーモードを適切に設定することで、ビデオカメラ感覚で簡単に高速現象を捉えることができる。PC なしでのリモコン操作も可能で、外部トリガーと連動させて、超高速度現象の撮影もできる。

3) セキテクノトロン FLIR SC7500TEC(高速度赤外線カメラ)

 $1.5 \, \mu \text{m} \sim 5.1 \, \mu \text{m}$ の中赤外域を検出する InSb 素子を搭載した超速度赤外線カメラ。 $3.5 \, \mu \text{m} \sim 5.0 \, \mu \text{m}$ を透過する赤外線レンズを標準装備。 $320 \times 256 \, \text{o}$ 解像度で $380 \, \text{コマ/秒}$ の撮影が可能。最大撮像速度は $20000 \, \text{コマ/秒}$ ($64 \times 4 \, \text{ピクセル}$)。外部トリガーと連動させて、高速度現象を中赤外波長で

捉えることができる。ふく射率が既知であれば、物体表面の温度分布の計測が可能。

4) ニコン サーマルビジョン LAIRD 3 ASH (汎用赤外線カメラ)

撮影速度は 60 fps、検出波長は $3 \sim 5$ μ m (PtSi ショットキー型 IR-CCD)。解像度は H768×V494。ふく射率を設定して、リモコン操作で、物体表面温度を簡便に計測することが可能。 3 種類のフィルターを内部に有し、 $-20\sim2000$ でまでの温度が計測できる $(-20\sim190$ 、 $150\sim500$ 、 $400\sim2000$ の中から選択)。NTSC信号で赤外線画像を動画として出力可能。



5) Stanford Research Systems DG-535 (パルスジェネレータ)

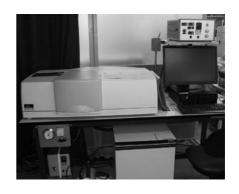
4 チャンネル遅延出力、2 系統パルス出力を備えた遅延パルス発生器。時間分解能 5 ps、トリガー出力のジッターは 50 ps 以下。複数の測定機器および実験装置の同期を必要とする際に有用である。

これらの装置はすべて可搬型となっており、想定を機器分析分野で行うのではなく、これらを借り出して各自の実験室で測定することが可能である.

11. 分光光度計 (紫外可視・赤外)・旋光計

(I) 紫外可視分光光度計(UV-Vis)

物質による紫外及び可視領域(約 $200\sim700~\text{nm}$)の光の吸収はその分子内の電子構造に依存しており、電子が基底状態における軌道から高いエネルギーの軌道へ遷移することによりおこる。例として、遷移金属化合物における d-d 遷移や二重結合を有する有機化合物の $\pi-\pi^*$ があげられる。そのため、紫外可視吸収スペクトルからそのような化合物の同定や定量が、さらには未知化合物の電子状態の検討が可能である。



パーキンエルマー LAMBDA950(機器分析室3)

当分野にはパーキンエルマーのLAMBDA950型自記分光光度計が設置されている。この装置は通常の吸収スペクトルの測定以外に反射スペクトルの測定もできるように設計されている。

(II) フーリエ変換型赤外分光光度計(FT-IR)

赤外分光法(Infrared spectroscopy, IR)では、物質による赤外線(約 5,000~300 cm $^{-1}$)の吸収はその分子の振動構造に依存しているが、1個の振動エネルギーの変化に伴って多数の回転エネルギー変化が起こるので、振動スペクトルは振動吸収 "帯"として現れる。吸収の振動数あるいは波長は、振動部分の換算質量、化学結合の力の定数および原子の幾何学的配置に依存するので、赤外スペクトルから分子構造を解析することができる。フーリエ変換型 IR(FT-IR)では赤外光をビームスプリッター 2 つの光路に分け、固定鏡と移動鏡で反射された光の光路差により干渉波ができる。試料を透過した干渉波から、検出器でフーリエ変換により波数成分に分離された IR スペクトルが得られる。FT-IR では、分散型に比べ、SN 比が高く、波数精度が優れているので、広い波長範囲に渡り、高波数分解測定ができる。当分野には、以下に示す、4種類の FT-IR が設置されている。

1)パーキンエルマー Spectrum100(フーリエ変換型赤外分光光度計)(機器分析室3)

本機器は、マイケルソン型干渉計を用いたフーリエ変換型である。このタイプの装置は、干渉計の制御にレーザー光を、またフーリエ変換という数学的操作を用いることにより高分解能、高い波数精度、高感度が実現でき、スペクトルの積算測定や高速測定が可能となり、また、スペクトルの数学的な処理(加減乗除、微分積分など)が容易に行える。また HATR(水平型内部多重反射測定装置)の使用により、従来の赤外分光光度計では測定の難しかった水溶液、ペースト等についてもスペクトルを得ることができる。



2)日本分光 FT-IR-460Plus/IRT-30-16(顕微·反射型赤外分光光度計)(機器分析室 3)

ナノ材料科学の目覚しい進歩とともに、極微小領域における新 しい表面分析技術はますます重要となっている。材料解析のため の分光分析法として理想的なものは、材料の化学組成、その三次 元的分布状態及び動的過程の三種の情報である。フーリエ変換顕 微赤外分光法は、振動分光法が持つ高い分子識別能と空間分解能 を合わせ持つ分析方法であり、材料の構造、分子間の相互作用、 化学組成などの情報を得ることができる。



FT-IR-460Plus/IRT-30-16 フーリエ変換型顕微赤外分光システムは、微小、微量サンプルだけでなく、従来マクロ分析されていたサンプルも顕微鏡を使用することによってさらに容易に測定できる。そのことによって測定の応用範囲を広げている。例えば、数十 μm 程度の微小・微量サンプル、あるいは不均一試料中の特定部位の非破壊測定が可能であるので、新素材、新しい微細デバイスの表面分析に威力を発揮できる。さらに、本システムは電場 ATR(全反射)ユニットを備えることにより、微小反応場におけるリアルタイムでの計測が可能である。それにより導電性ポリマーの重合過程、タンパク質結晶の成長メカニズム及び微小電極上での電気化学反応などの動的な解析が可能になる。このシステムはコンピュータの CRT 上でサンプルの測定部位を確認できる CCD カメラシステムが内蔵され、マウス操作によりアパーチャの開口面積や角度を自由に制御できるなどの特徴を有しており、初心者でも容易に測定を行える。赤外顕微鏡ユニット IRT-30 は透過、反射の測定モードでの測定が可能で、特に透過性の低い金属や無機焼結体などの試料あるいは微量成分の検出に適している。また、試料ステージを 1 次元あるいは 2 次元的に駆動させ、多点のスペクトルを測定することによって、特定官能基の分布を捕らえることができる。

本システムの OS は、Windows 7 を採用しており、優れた操作性を示すとともに、測定及び解析用ソフトウェアも既にセンターに導入した他の機種との互換性があるので、ユーザーにとって違和感なく使用できると思われる。

3) メトラー・トレド ReactIR4000 (In Situ フーリエ変換赤外分光光度計) (機器分析室3)

当分野にはが設置されている。このシステムは棒状のプローブ (ф6 mm)を溶液中に直接差込んで赤外吸収スペクトルを測定することが可能であり、連続的な測定により実際の反応条件における分子のリアルタイムな動的化学変化を定量的に可視化してくれる。例えば、化学反応中にのみ存在する微量の反応中間体の同定ができ、原料の消失速度、生成物の生成速度をピーク強度の変化から定量的に観察することができるため、化学反応機構、次数の解析に多いに役立つ。プローブ部の材質は化学的に極めて安定なダイヤモンド結晶と耐腐食性のハステロイであるため、ダイヤ



モンドの赤外吸収帯 2,200~1,900 cm⁻¹付近の測定は原理的に制限されてしまうが、温度範囲 -80~ 120 $\mathbb C$ 、圧力範囲 0 ~ 7 気圧、pH 範囲 1 ~ 14 と極めて幅広い範囲の条件で測定できる。

4) SensIR Technologies IlluminatIR(顕微·接触型赤外分光光度計)(機器分析室3)

IlluminatIR は顕微 FT-IR の一種であり、12~100 μm の微小・ 微量サンプルや不均一試料中の特定部位の非破壊測定が可能である。この装置はオリンパス社製の一般的な光学顕微鏡に IR 測定ユニットと CCD カメラを追加しただけであり、操作方法が理解しやすいのが特徴です。この装置も接触式のダイヤモンド ATR センサーで測定するため、赤外反射板などの特殊なステージは必要ない(通常の反射測定モードもある)。また、測定部はダイヤモンドを通して直接目視することができるため正確な位置情報が得られ、またその映像は CCD カメラによりデジタルデータとして保存もできる。WindowsXP上で動作する簡単なオペレーティングソフトウェアで操作できるので、初心者でもすぐに使いこなすことができる。

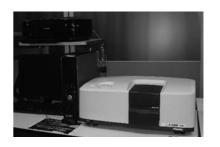


III) 旋光計 (Polarimeter)

旋光(optical rotation)とは、直線偏光が糖などの光学活性を有する物質中を通過した際に回転する現象である。デキストロース(dextrose:右旋糖、ブドウ糖)の名称は直線偏光を右(dexter)側に、レブロース(levulose:左旋糖、フルクトース)は左(levo)側に回転させる現象から命名された。純物質の溶液の場合、色と経路長が一定で比旋光度が分かれば、観測された旋光度から濃度を求めることができる。また、不斉合成により得られた生成物の光学純度を決定するためにも用いられる。

1) 日本分光 P-2300(旋光計)(機器分析室3)

P-2300 はナトリウム - 水銀ランプをもつデュアル光源の旋光計で、グランテイラーを偏光子として持ち、測定波長は589、578、546、436、365 nm(オプション波長対応)である。測定方式として、対称角振動方式光学零位法を用いている。



12. 円二色性分散計(CD spectrometer)

有機分子が鏡に映った鏡像(対掌体)と重ね合わすことができない立体配置をもつとき、その性質をキラリティーといい、その分子をキラルな分子という。キラルな分子は、左回り円偏光と右回り円偏光を異なった強度で吸収する。この性質を円偏光二色性(Circular Dichroism, CD)という。一般的に、有機分子とその対掌体は光学異性体対をなし、一方の立体配置がR配置ならば、もう一方の配置はS配置と呼ばれる。生体では、光学異性体対の一方のみが存在しており、これらから構成される高分子が立体的にうまく折り畳まれた状態(高次構造)で、その独自の機能は発現するようになる。代表的な例として、ホルモンや酵素などのタンパク質、並びに、核酸、糖類などがある。生体分子の高次構造の解明においては、これら対掌体のうちのいずれが存在するかを決定すること(絶対構造の決定)は重要である。左回り円偏光と右回り円偏光に対する吸光度の差を波長に対してプロットしたものがCDスペクトルであるが、これはその分子の絶対配置に固有のパターンを示す。従って、得られたCDスペクトルを絶対構造既知のスペクトルと比較検討することにより、未知物質の絶対配置の決定が可能となる。

1) 日本分光 J-820P (機器分析室3)

本装置は、光学活性な物質の円偏光を測定するものであり、タンパク質の2次構造含量など、光学活性な物質を含む 生体高分子の構造解析に用いられる。

J-820 の主な仕様は次の通りである。

【仕様】

光 源:450W Xe ランプ (水冷方式)

波長測定範囲:163~1,100 nm

波 長 精 度:163~180 nm: ±0.2 nm;180~250 nm: ±0.1 nm;250~500 nm: ±0.3 nm;

 $500 \sim 800 \,\text{nm}$: $\pm 0.8 \,\text{nm}$; $800 \sim 1,100 \,\text{nm}$: $\pm 2 \,\text{nm}$

波 長 走 査: 1~10,000 nm/min

CD $\land f - \nu$: $\pm 10 \text{ mdeg}$; $\pm 200 \text{ mdeg}$; $\pm 200 \text{ mdeg}$

入力チャンネル:内部入力チャンネル数:2;外部入力チャンネル数:2

データ処理:スペクトル表示、重ね書き、四則演算、差スペクトル、ベースライン補正、

微分、ピーク高さ・面積・半値幅算出、スムージング、拡大縮小、

ピーク検出、データ変換(JCAMP-DX, テキスト形式)、

印刷レイアウト機能(JASCO Canvas)等。

そ の 他:CD, UV スペクトルの同時測定可能;ペルチェ式温度コントローラ装備

13. フォトルミネッセンス分析システム

フォトルミネッセンス(Photoluminescence, PL)分析では、物質に電磁波を照射し、励起された電子が基底状態に戻る際に放出する蛍光(fluorescence)やりん光(phosphorescence)を測定して、発光スペクトルを解析する。発光スペクトルは物質中の不純物や結晶中の欠陥により影響を受けるので、これらの情報が得られる。例えば、半導体材料における不純物種や結晶性、混晶組成比などの分析に用いられる。機種により、蛍光材料や発光デバイスの評価ができる。

1) 浜松ホトニクス Quantaurus-Tau C11367-01(小型蛍光寿命測定装置)(機器分析室3)

本装置は、サブナノ秒~ミリ秒の蛍光寿命を測定する装置である。試料をサンプル室にセットし、計測ソフトウェアに数項目の指示を入れるだけの簡単操作で、高精度な蛍光寿命・PLスペクトルを短時間で測定することができる。基本的な測定ならば、わずか60秒ほどで解析結果まで導き出すことが可能である。蛍光寿命の応用は多岐に渡るが、代表的なものとして、有機金属錯体の分子内、分子間電子移動やエネルギー移動反応、有機EL素子の開発に欠かせない材料の蛍光やりん光寿命計測、蛍光蛋白質のFRET(エネルギー移動)、太陽電池やLED用の化合物半導体の良否判定等がある。同じ波長でも蛍光寿命の異なる物が複数存在し、存在比率がどれほどであるかなど、より多くの情報を得ることが可能である。

本装置の特徴と仕様は次の通りである。

【特徴】

- ・フォトンカウンティング法による高感度計測
- ・100 ps~の時間分解能(デコンボリューションによる)
- ・極低温(-196℃)での測定が可能(対象:溶液)
- ・りん光計測が可能
- ・ 蛍光異方性の時間分解測定 (オプション)
- ・蛍光スペクトル測定
- ・省スペース、コンパクトな設計

【仕様】

蛍光測定波長範囲:300~800 nm

励起光源:LED 光源 7 種類(280, 340, 365, 405, 470, 590, 630 nm)



サンプルホルダ:溶液用 (標準:10 mm 角セル対応)

測定時間レンジ: 2.5 ns~50 µs/full scale

りん光計測:50 µs~50 ms/full scale

りん光励起波長:特定波長から選択(280,340,365,405,470,590,630 nm)

時間軸チャネル: 512, 1024, 2048, 4069 ch

総合時間分解能: <1ns (IRFのFWHMにおいて)

解析機能:最大5成分までの指数関数 Fitting による蛍光寿命解析、スペクトル解析

2) <u>浜松ホトニクス Quantaurus-QY C11347-01/C11347-02 (絶対 PL 量子収率測定装置)</u>(機器 分析室 3)

本装置は、フォトルミネッセンス法により、発光量子収率の絶対値を瞬時に測定する装置である。サンプルホルダをセットし、計測ソフトウェアに数項目の指示を入れるだけで、発光量子収率や励起波長依存性、PL励起スペクトルなどを短時間で測定できる。基本的な測定ならば、わずか1分ほどで解析結果までを導き出すことが可能である。量子収率測定装置は、開発から研究分野における様々な分野で行われている。代表的な物に有機 EL 材料、白色 LED や FPD 用蛍光体など各種発光材料の品質向上、有機金属錯体の研究、色素増感太陽電池用色素の基礎特性の評価、生物分野における蛍光プローブの効率測定などがある。サンプルは、溶液、粉末、固体、薄膜に対応が可能で、溶液試料を液体窒素温度に冷却する事もできる。

本装置の特徴と仕様は次の通りである。

【特徴】

- ・発光材料の絶対量子収率を測定(PL計測)
- ・積分球の採用により全光束を測定
- ・裏面入射型冷却 CCD センサーの採用により、超高感度、高 S/N 測定
- ・極低温(-196℃)での測定が可能(対象:溶液)
- ・励起波長の自動制御
- ・省スペース、コンパクトな設計
- ・豊富な解析機能:発光量子収率測定・励起波長依存性
- ・発光スペクトル・PL 励起スペクトル

【仕様】

P L 計測波長範囲: 300 nm~950 nm (C11347-01)

: 400 nm~1100 nm (C11347-02)

励起光源:150 W Xe ランプ

励起波長: 250 nm~850 nm (C11347-01)

: 375 nm~850 nm (C11347-02)

バンド波長:FWHM 10 nm 以下

励起波長制御:自動

波長分解能: < 2 nm (C11347-01)

<2.5 nm (C11347-02)

AD 分解能:16 bit

ソフトウェア:発光量子収率の測定、蛍光体発光効率測定(量子収率×吸収率)、量子収率の励起波 長依存性、発光スペクトル(ピーク波長、FWHM)、PL励起スペクトル、色計測(色度、色温度、 演色性など)再吸収補正

3) 日本分光 FP-8600(分光蛍光光度計)(機器分析室3)

本装置は、光を試料に照射しエネルギーを吸収し、発光するフォトルミネッセンス(蛍光・燐光)を測定する装置である。また、検出感度を自動的に調整するオートゲイン、オート SCS 機能、自動高次光カットフィルターを装備し、従来の燐光寿命測定と燐光スペクトル測定に加え、燐光による固



定波長測定、定量測定、時間変化測定を行うことができる。溶液、粉末、固体、薄膜に対応が可能で、溶液試料を液体窒素温度に冷却する事もできる。

【仕様】

光源:150 W Xe ランプ

波長範囲:励起側200-850 nm (励起) および 0 次光

蛍光側200-1010 nm (蛍光) および 0 次光

バンド幅:1, 2. 5, 5, 10, 20, L5, L10 nm(励起)

2, 5, 10, 20, 40, L10, L20 nm (蛍光)

波長分解能:1.0 nm (励起)、2.0 nm (蛍光) (546.1 nm において)

波長正確さ: ±1.0 nm (励起)、±2.0 nm (蛍光)

ソフトウェア:励起・蛍光スペクトル測定、定量測定、固定波長測定、時間変化測定、3Dスペクトル測定

14. テラヘルツイメージングシステム

テラヘルツ(THz)領域には、軽い分子の回転運動や分子振動の低周波数成分、水素結合のような分子間振動、分子内の内部回転運動の周波数などがある。近年、フェムト秒レーザーの普及にともない、THz 時間領域分光法を用いた解析が急速に発展し、分子の構造や運動状態についての多くの情報が得られるようになった。

当分野には、フェムト秒ファイバーレーザーとテラヘルツ分光走査型顕微鏡が設置されている。

1) アイシン精機 フェムトライト BS-60-YS (フェムト秒ファイバーレーザー) (機器分析室 8)

本装置は、クラス 3 B のフェムト秒ファイバーレーザーであり、波長 780 nm、1,560 nm の 2 波長同時出力ができる。パルス状レーザーは、ともに、パルス幅<100 fs、平均出力>20 mW、繰り返し周波数 50 ± 2 MHz である。ビームの出力形式はTEM₀₀、縦偏光で、ビーム径はそれぞれ 2.5 ± 0.5 mm (780nm)、 4.0 ± 1.0 mm (1,560 nm) である。電源は商用 AC 100 V のみ、



冷却水等は不要で、レーザーヘッドと制御装置のみで動作する。基本的に、調整箇所と消耗品がなく、メンテナンス・フリーである。寸法はレーザーヘッドが 145×98×40 mm、制御装置が 200×215×89 mm で、重量は合計約 3 kg と小型で可搬である。同期信号出力端子(SMA)より、レーザー繰り返し周波数に同期した電気パルス信号が出力される。リモートコントロールコネクタを介して、レーザー出停止、インタロック、レーザー出射状態のモニターができる。

2) オザワ THz-TDS(テラヘルツ分光走査型顕微鏡)(機器分析室8)

本装置で発生・検出する電磁波(直線偏光)の周波数帯域は THzである。テラヘルツ光は遠赤外光とも呼ばれ、その波長は 電波と赤外線との中間であるため、双方の特徴を持ち合わせてい る。すなわち、マイクロ波のように紙やプラスチックなどを透過 し、可視光のように鏡やレンズで取り扱うことができる。マイク 口波より波長が短い分、イメージングにおける空間分解能を期待



できる。さらに、材料や試薬などのテラヘルツ帯における吸収スペクトルを計測に用いることができる。

オザワ THz-TDS の特徴を以下に記す。

光学系の配置と制御ソフトウェアにより、空間分解の要・不要、および、透過型・反射型の計測ができる。具体的には、試料により、空間分解しない 2 次元走査/3 次元走査と透過/反射の選択ができる。光学系の配置を変更する際には、レーザーのアライメントモジュールが用意されており、精密な調整($<10\,\mu m$)ができる。クラス $3\,B$ のレーザーを用いているため、安全面には十分注意する必

要がある。また、光学部品を汚損しない様にしなければならないが、それらにさえ留意すれば、容易に THz 波を扱うことの出来る装置である。

15. レーザーラマン分光システム(LRS)

レーザーラマン分光法(Laser Raman Spectroscopy, LRS)は最も汎用性のある分光分析法の一つとして利用されている。この分光法では、照射されたレーザー光と物質との相互作用により散乱されるラマン光を測定することにより、化合物の分子種、原子団の種類、結合結晶構造、分子の配向特性などの情報が得られる。ラマン分光法は、赤外など他の分光法に比べてサンプリングが容易で、固体、液体、気体などを問わずに非破壊分析が可能で、さらに、in-situ分析ができるなどの特長を有する。それ故、半導体、ナノ材料、機能性有機高分子の構造解析に不可欠な手段となっている。特に、金属、半導体ナノ粒子の表面プラズモン現象を利用した表面増感ラマンでは、DNA鎖1本の検出が可能となり、最近では、タンパク質などの生体高分子の機能発現メカニズムに関する研究に威力を発揮している。従って、レーザーラマン分光技術は、ナノ材料科学と遺伝子工学の双方にとって有用である。

1)日本分光 NRS-1000 (顕微レーザーラマン分光装置) (機器分析室3)

当分野は、日本分光 NRS-1000 シリーズの、高感度で小型の顕微レーザーラマン分光装置を所有している。装置の特徴として以下の5つを挙げることができる。

- ① 励起レーザー波長は532 nm で、安定的に使用できるように空冷、100 V の電源を使用されている。
- ② レーザー光に対する安全対策としてクラス I (JIS 規格) 相当でインターロックシステムに対応している。
- ③ 高感度冷却型 CCD 検出器が搭載されており、532 nm 励起でラマンシフト値は 100~8,000 cm⁻¹の範囲で測定可能である。
- ④ 試料室は、マイクロ(後方散乱)とマクロ(擬似後方散乱)の測定に対応でき、サンプルを設置した後に、切替で両方の測定ができる。
- ⑤ 内蔵 CCD とビデオキャプチャーにより試料の観察、レーザース

ポット、アパーチャ像を CRT モニター上に表示することができ、共焦点光学系により最小 $1\,\mu m$ までの試料を測定することができる。

本システムは、コンピュータは Windows OS で制御され、また、真空、高圧などを必要とせず、ミクロ分析からマクロ分析まで対応できるなどの特徴がある。この装置を用いれば、今日最も必要とされる有機機能性材料、医薬、生体試料、半導体、環境試料などの分析や構造解析が可能で、これらに関わる教育・研究を支援することができる。



16. 熱分析システム(EXSTAR-6000 Series)

熱分析は、温度変化にともなう物質・材料の構造変化を調べる方法である。化合物や材料のさまざまな熱現象(融解、ガラス転移、結晶化、硬化や重合等の反応、昇華・蒸発、熱分解・脱水、熱膨張・熱収縮、熱履歴など)の解明という基礎研究や、新規開発材料の熱特性の評価、生産部門での品質管理などの応用研究まで幅広く利用されている。測定対象としては、有機物か無機物であるかを問わず、低分子化合物から高分子材料まで、あらゆる分野の化合物・材料をカバーしている。

当分野には、①試料の状態変化による吸熱反応や発熱反応を測定する示差走査熱量計(differential scanning calorimetry, DSC)②試料の加熱に伴う重量変化を検出し、基準物質との温度差を温度関数として測定する熱重量・示差熱同時測定装置(thermo-gravimetry/differential thermo-analysis, TG/DTA)③試料を加熱、冷却した際の膨張、収縮などの試料変形を測定する熱機械分析装置(thermome-chanical analyzer, TMA)からなる熱分析システム EXSTAR-6000 Series(エスアイアイ・ナノテクノロジー製)が設置されている。

1) エスアイアイ・ナノテクノロジー DSC6200(機器分析室3)

温度範囲: $-150\sim725$ ℃, 感度: $1.6\,\mu$ W。500℃までの通常測定では、アルミニウム製試料容器を使用。固体以外に液体も測定可能で、試料量は $5\sim10\,\mathrm{mg}$ 。試料容器をクリンプあるいはシールするのは、ボタン操作だけで可能な電動サンプルシーラで行う。温度変化は全自動ガス冷却ユニットによりコンピュータ制御。

2) エスアイアイ・ナノテクノロジー DSC6100 (機器分析室3)

温度範囲: $-150\sim500$ C, 感度: 0.2μ W。生体分野におけるタンパク質溶液等の高感度測定用。 冷却は液体窒素溜めクーリングカンを使用。DSC6200と DSC6100は共通のベースユニット(コントロールユニット)を使用。炉体とセンサーのみが別使用。

3) エスアイアイ・ナノテクノロジー TG/DTA6300(機器分析室3)

測定範囲:室温から 1500℃, 感度:0.2 µg。試料量は 10 mg 程度。実際の測定温度範囲に応じて、アルミニウム製、白金製、アルミナ製試料容器を使用。水平差動方式。

4) エスアイアイ・ナノテクノロジー TMA/SS6100 (機器分析室3)

温度範囲: -150~600℃

5) エスアイアイ・ナノテクノロジー TMA/SS6300 (機器分析室3)

温度範囲:室温~1500℃

TMA/SS6100と TMA/SS6300は共通の測定ユニットを使用。炉体とプローブのみが別。石英製 (1,000 でまで)およびアルミナ製膨張圧縮、針入、及び引っ張り用プローブを常備。最大試料形状は $10\,\phi \times 25\,\text{mm}$ 、TMA 範囲は $\pm 5\,\text{mm}$ 。



17. 粒子解析システム

当分野には、粒子の形状や特性を解析するための装置として、マルバーンのフロー式粒子解析装置と粒子径・ゼータ電位・分子量測定装置が設置してある。

1) マルバーン FPIA-3000 (フロー式粒子解析装置) (機器分析室3)

画像式で粒度分布を測定するこの装置は、これまで利用されてきた粒度分布測定装置とは異なり、粒子画像から粒子形状や径に関する情報を出す装置である。大きさと形の情報を二次元で解析することにより、これまでにない粒子の解析が可能となる。また、個々の粒子の情報を計測するのみならず、多量の粒子を一度に測定することができるので、統計的信頼性を確保できる。測定範囲



は $0.5 \, \mu m \sim 160 \, \mu m$ で、レンズの交換により $0.25 \, \mu m \sim 300 \, \mu m$ の範囲の粒子を測定が可能である。また、暗視野コンデンサーを使用することで輪郭が不明確な画像へ対応出来る。 1 回の測定で、最大約 36 万個の粒子を短時間(約 2 分)で測定し、連続測定や結果の合算も可能である。

2) マルバーン Zetasizer Nano ZS(粒子径・ゼータ電位・分子量測定装置)(機器分析室3)

レーザー散乱光を用いて粒子径を測定するこの装置は、非接触後方散乱(non-invasive backscatter, NIBS)光学系を利用した高性能な2角度検出系の分析装置である。1台でナノサイズ粒子の粒子径、分子量、拡散係数、ゼータ電位、粘弾性などが測定可能である。例えば、ゼータ電位により、コロイド粒子の分散・凝集性や相互作用など、界面の性質を評価することができる。各測定を組み合わせることにより、粒子の構造や分子レベルでの修飾について解析することもできる。



【仕様】

粒子径と分子サイズ測定

測定範囲: $0.3 \text{ nm} \sim 10.0 \mu \text{m}$ (直径) 測定原理:動的光散乱法(DLS)

最小試料量:12 µL

精度: NIST 標準粒子で±2%以内

ゼータ電位

測定範囲: 3.8 nm~100 μm (直径)

測定原理:電気泳動光散乱

最小試料量:150 μL(拡散隔壁法を使用した場合、20 μL)

精度: 0.12 µm.cm/V.s (NIST SRM1980 標準参照材料を使用した水性システムの場合)

分子量

測定範囲:980 Da~20 MDa

測定原理: Debye プロットを使用した静的光散乱法 最小試料量: 12 μL (3~5点の試料濃度が必要)

精度: ±10%

18. 粘弾性測定システム

当分野には、粘弾性を測定するためのレオメーター(Rheometrics)と動的粘弾性測定装置(Dynamic viscoelasticity Measuring Apparatus, DMA) が設置されており、多種多様な粘弾性測定に対応できる。

1) TA·インスツルメント AR-G2KG(レオメーター)(機器分析室3)

レオメーターは応力(ストレス)を制御して、主に液体サンプルの粘弾性特性を測定する装置である。TA・インスツルメントのAR-G2KGは、超低ナノトルクコントロールを可能にする、磁気浮上方式ベアリングテクノロジーを世界で初めて採用したレオメーターである。幅広いトルク範囲、優れた歪分解能、広範囲な周波数などの特徴を持ち、低粘度溶液、溶融ポリマー、固体、反応物質など、その応用範囲は広い。

改良された AR-G 2 KG の性能は突出しており、ドラッグカップモーター、スマートスワップジオメトリ、イーサネットコミュニケーションなどの様々な特徴を持ち、最も先端を行くレオメーターといえる。



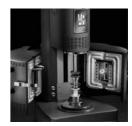
ペルチェプレート

最も一般的な温度コントロールオプションで、測定温度範囲が-40^{\mathbb{C}} \sim 200^{\mathbb{C}}、昇温速度は最速 20^{\mathbb{C}}/min、温度正確性は ± 0.1 \mathbb{C} 。PRT(白金抵抗体サーモメーター)がプレートの中央に設置されているため、正確な温度測定とコントロールを可能にする。



環境テストチャンバー (ETC)

加熱方法としてコンベクション(対流)/ラジアントヒーティング(放射加熱)方式を採用している。これは特にポリマー評価に適し、パラレルプレート、コーンプレート、ディスポーザブルプレート、と共に使用される。ETC 使用時の測定温度範囲は $-160\sim600$ °Cで、昇温速度は最大で60°C/min。また、液体窒素タンクを接続して低温測定も可能になる。



界面レオロジー測定用ダブルウォールリングシステム

界面とはある均一な気体、液体や固体の相が他の均一な相と混ざり合わずに接している境界のことであり、コロイド系で重要な特徴の一つとなる。従来、レオメーターは物質のバルク特性を解析するために使用されてきた。医薬品、食品、パーソナルケア製品、コーティングなどの多くの物質には、明らかにレオロジー的な性質を持つ2次元的液/液、あるいは気/液相がある。ナノトルク感度を有するAR-G2KGとダブルウォールリング(DWR)システムとを組み合わせることで、より高精度な界面の粘弾性測定が可能となった。



共軸円筒

非常に低粘度な溶液、安定性のない分散系測定には共軸円筒を使用する。スマートスワップ共軸円筒は、最速昇温速度 15 \mathbb{C}/\min で、 $-20\sim150$ \mathbb{C} の測定温度範囲を可能にするペルチェで温度コントロールを行う。



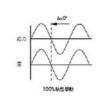
2) TA・インスツルメント DMA Q800KG (動的粘弾性測定装置) (機器分析室3)

本装置は、TA・インスツルメントのQ800シリーズは世界中で販売されている感度の優れた動的粘弾性測定装置(Dynamic viscoelasticity Measuring Apparatus, DMA)で、固体材料の粘弾性特性を測定することができる。非接触式で、応力を正確にコントロールするリニアドライブテクノロジーや低摩擦であるエアベアリング等の最先端技術を搭載している。材料の弾性と粘性の両方の性質は、2つの正弦波(入力と出力)間の位相差で、正弦波の歪(応力)と正弦波の応力(歪)を課して調べることが可能である。歪は感度と分解能の高いオプティカルエンコーダテクノロジーを使って測定する。位相角は純粋な粘性材料では0°、純粋な弾性材料は90°。動的粘弾性材料では変形の割合に応じて0~90°の間の位相角を示す。Q800 KG は一段と高い性能を有し、特に複合材料のような固い材料に最適である。

右に得られたレオロジーパラメータの種類と正弦波の応答を示す。粘弾性パラメータは変形の振幅、周波数、時間、温度の関数として測定され、各々の重要な測定例が示される。

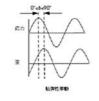


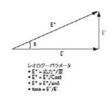
統結件業動と節弾性業動





粘弾性挙動とパラメータ





ガスクーリングアクセサリ

ガスクーリングアクセサリ(GCA)を使用することにより −150~600℃ の全温度範囲にわたる測定ができる。GCA は液体窒素冷却方式で正確な 温度コントロールを可能にする。GCA はタンク内の液体窒素量が減少すると、測定完了後に自動的に液体窒素を補充するので、液体窒素切れのために測定が途中で停止することはない。



クランプシステ/パラレルプレートコンプレッション

サンプルを水平な台に置き、上部から別のプレートで圧縮して測定する。

低~中弾性率の物質(発泡剤やエラストマー等)に適している。膨張また は収縮の測定や接着剤のタックテストも可能である。



フィルム/ファイバー引張クランプ

サンプルは固定され、移動可能なクランプとの間で引っ張られる。オシレーション測定中は、わずかな静的応力がサンプルに加えられ、サンプルの弛みがない様に制御される。フィルムやファイバーの測定に適している。



19. 物質微細構造解析システム

当分野には、物質の微細構造を詳細に解析する X 線マイクロ CT スキャンと X 線回折装置が設置されている。以下に、各々の装置の特性を説明する。

1) 東陽テクニカ SKYSCAN1172-GU(X線マイクロCTスキャン)(機器分析室7)

本装置は、工業材料・食品・生体試料・有機材料・軽金属等のサンプルの三次元内部構造を非破壊・高分解能で観察できるマイクロCTスキャナである。SKYSCAN1172-GUは撮像の拡大プロセスにおいてサンプルステージとX線カメラが同時に移動する最新の設計アーキテクチャを採用したシス



テムであり、従来の X 線 CT と比較して、数倍の速さでスキャンを実行でき、最高空間分解能は 1 μ m 以下である。測定手順は非常に簡潔で、サンプルを試料台にセットし、倍率を決め、その透過像が 180 度または 360 度回転した時に測定範囲からはみ出ないことを確認すれば、あとは測定開始のコマンドをクリックするのみである。得られたデータの再構成は、標準装備の NRecon ソフトウェアか高速再構成ソフトウェアの Instarecon により短時間で行うことができる。Instarecon ソフトウェアを使用すると 1 k× 1 k のデータが約 25 秒で再構成可能であり、再構成されたスライスデータは BMP、TIF、JPG 等のフォーマット及び数値データフォーマットで保存できる。定量解析ソフトウェアも充実しており、CT-Analyzer を用いると、空隙、パーティクルの分布、体積や表面積計算を行うことができる。また、3 つの直交象限を同時に表示する Data Viewer では、任意の断面情報を観察でき距離を測定できる。さらに、三次元表示ソフトウェアの CT-Volume、CT-Vox により、測定結果の三次元イメージやビデオイメージを作成することも可能である。SKYSCAN1172-GU には標準ステージの他に、冷却ステージ、加圧・引っ張り試験が可能な各種ステージも用意されている。

2) リガク SmartLab (9kW) (X線回折装置) (機器分析室7)

本装置は、優れたエネルギー分解能を有し、バックグラウンドノイズを大きく抑制した検出器である。薄膜評価アプリケーションを用いて、試料の組成分析、方位・配向分析、結晶性評価、格子緩和評価、格子歪・残留応力評価、膜厚分析、界面ラフネス分析、密度分析、面内均一性評価などができる。また、各種小角散乱アプリケーションを用いて、液体分散ナノ粒子の粒径分布解析、バルク中ナノ粒子/空孔のサイズ分布解析、ナノ粒子/空孔の形状評価、不規則な電子密度分布の相関関数解析などが、各種粉末アプリケーションを用いて、定性分析、定量分析、結晶化度評価、結晶子サイズ/格子歪評価、格子定数の精密化、Rietveld解析などが可能である。



【医学地区】

1. 核磁気共鳴分光装置(NMR)

外部静磁場に置かれた原子核が固有の周波数の電磁波と相互作用する現象(核磁気共鳴)を用い物質を分析する装置。溶液状態で測定が出来、原子レベルの分解能を持つ。医学地区には、下記の2台の NMR が設置されている。

1) Bruker Biospin AVANCE III800+クライオプローブ(医学生命科学棟110)

- ・主にタンパク質をはじめとする生体高分子の立体構造解析・運動性の解析、相互作用部位の同定等に使用可能。
- ・磁場強度は 18.8 T (水素の共鳴周波数 800 MHz)。
- · ¹H、¹³C、¹⁵N、²H 核を照射し¹H で高感度の測定を行う多重共鳴 測定が可能。
- ・クライオプローブによる測定感度の飛躍的な向上により、少し 前では測定が難しいと考えられていたサンプル量でも測定可能 となり、測定にかかる時間を飛躍的に短縮、16倍のサンプル スループットを実現している。
- ・検出器の自動最適化が可能。
- ・5~45℃の温度範囲で±0.1℃以下の温度制御が可能。



2) Bruker Biospin AVANCE III600+クライオプローブ(医学生命科学棟110)

- ・主にタンパク質をはじめとする生体高分子の立体構造解析・運動性 の解析、相互作用部位の同定等に使用可能。
- ・磁場強度は 14.0 T (水素の共鳴周波数 600 MHz)。
- · ¹H、¹³C、¹⁵N、³¹P、²H核を照射し¹Hで高感度の測定を行う多重共 鳴測定が可能。
- ・クライオプローブにより測定感度は、飛躍的に向上。
- ・検出器の自動最適化が可能。
- ・5~45℃の温度範囲で±0.1℃以下の温度制御が可能。



2. X 線回折(XRD)

原子が規則的に並ぶ結晶に X 線を入射させると、散乱された X 線の光路差が波長の整数倍のとき、電磁波の位相が一致して振幅が大きくなり、強い X 線が特定の方向で観察できる。これを X 線回折 (X-ray diffraction, XRD) という。 XRD は X 線が結晶格子で回折する現象のことであり、物質はそれぞれに特有な規則性を持つ結晶をつくることから、 X 線回折では物質の結晶構造や化合物の種類を分析することができる。

1) Rigaku FR-E SuperBright (超高輝度 X 線回折装置) (医学生命科学棟114)

- ・回転対陰極式 Cu Kα 線光源(波長 1.54 Å)。
- ・イメージングプレート (R-AXIS VII) によるデジタルデータ 取得。
- ・高輝度光源と高感度検出器の組み合わせにより、実験室内機でありながら~0.5 mm 角サイズのタンパク質結晶に対して 1.8 Å程度以上の高分解能スポットを取得可能。
- ・冷却窒素ガス噴き付け機構により、データ取得中の試料冷却が 可能。



- ・タンパク質結晶に最適化されたデータ半自動取得ソフトを搭載。概ね一晩で1セット分の回折データが取得可能。
- ・データ処理は、各回折スポットの積分強度の算出までは対応可能。電子密度マップの算出について は、実験手法に大きく依存するので要相談。
- ・タンパク質と阻害剤低分子化合物との複合体の構造解析などに威力を発揮。

3. 電子スピン共鳴装置 (ESR)

本装置は試料の形状(液体、気体、固体)に影響されることなく、非破壊で、選択的にフリーラジカルを測定できる唯一の手段である。

1) Bruker Biospin EMXmicro (電子スピン共鳴装置) (医学生命科学棟111)

磁場の影響下に置かれた試料中の不対電子は、ある特定のエネルギーを持つ(周波数の)マイクロ波を吸収し、高いエネルギー準位へと遷移する。この現象を利用することで不対電子の検出を行うのが電子スピン共鳴である。遷移金属イオンもしくは有機化合物中のフリーラジカルの検出に用いられる。



利用の手引き 3

1. 機器分析分野利用の手順

利用者登録

利用予定者(利用資格については8の別表1をご参照下さい。)に機器利用講習会参加申し込み及び機器利用申請書(8 の別表2)を提出していただきます。

利用者講習会

測定機器を初めて使われる方には主に4から6にかけて行う利用者講習会を受講して頂きます。

利用の申し込み

日時を機器分析分野職員に相談のうえ、測定希望日を決定いたします。

装置の利用

原則として利用者が自ら測定機器を運転・操作していただきます。時間外の利用(夜間および土日)を希望する人は時間 外利用届をご提出ください。

運転日誌

利用者が実際の利用時間、利用状況を測定機器に備え付けの記録簿に記入します。万一測定機器を破損した場合、あるい は異常を認めた場合はただちに機器分析分野職員に連絡してください。

- ◇それぞれの申込み用紙は機器分析分野のホームページに掲載してあります。
- ◇各機器の使用の際は、装置に備え付けの簡易マニュアルをご参照下さい。
- ◇問い合わせ

機器分析分野の利用手順に関する質問

- → 機器分析分野専任教員および職員にご相談下さい。
- 機器分析分野の機器に関する質問(全般)→ 機器分析分野専任教員および職員にご相談下さい。
 - なお、利用者が機器分析分野のどの機器を利用して どのような研究を行っているかについては巻末の利 用者研究論文一覧(2017)をご参照ください。

ハウ・使用手順等

- 機器分析分野の機器の細かい測定のノウ → 機器分析分野専任教員、職員および協力員が相談に 応じます。
- 機器分析分野の運営に関するご意見・ご → 質問等
- 機器分析分野専任教員、職員あるいは各部局の運営 委員にご連絡下さい。

2. 計測機器の利用に関する申し合わせ

機器分析分野

(趣旨)

第1条 岐阜大学研究推進・社会連携機構科学研究基盤センター機器分析分野(以下「機器分析」と いう。) に設置され、別表1に定められた計測機器(附属品を含む。以下「計測機器」という。) の利 用については、この申し合わせの定めるところによるものとする。

(管理)

計測機器とその測定室及び測定準備室の管理は、分野長の命により機器分析職員及び各計測機器毎に 定められた協力員が行う。

(利用者の資格)

計測機器を利用できる者は、別表1に掲げた利用者の資格に該当する者とする。ただし、機器分析が 行う講習会を受講した者に限る。

(利用の申請)

計測機器を利用しようとする者は機器利用講習会参加申し込み及び機器利用申請書を分野長に提出し なければならない。

(利用の承認)

第5条 分野長は、前条の申請が適当であると認めたときには、これを承認するものとする。

(変更の届出)

第6条 前条の承認を得た者は、機器利用講習会参加申し込み及び機器利用申請書の記載事項に変更が生じたときは、速やかにその旨を分野長に届け出なければならない。

(利用手続)

- 第7条 利用に先立って、利用者は、あらかじめ利用日時を機器分析職員に相談のうえ、測定申込簿 に記入し予約しなければならない。
- 2 前項の予約を変更、若しくは中止する場合は遅滞なく機器分析職員に届け出なければならない。
- 3 利用者は、測定終了後、直ちに所定の記録簿に利用の項目を記入し、室内の清掃後機器分析職員に連絡しなければならない。

(注意義務)

第8条 利用者は、計測機器の正常運用が維持されるよう万全の注意を払い、かつ測定に関する所定の操作法を厳守しなければならない。万一、異常を認めたときは、直ちに機器分析職員又は協力員に連絡しなければならない。

(経費の負担)

- 第9条 測定経費は別表2に定める計測機器の測定料金によるものとする。なお予約時間をもって使用時間とし、超過した場合は超過時間を加算するものとする。
- 2 利用者が、故意又は過失により、装置及び測定室等に障害・破損等を引き起こした場合は、現状に復する費用を負担しなければならない。

(利用時間)

- 第10条 計測機器の利用時間は原則として機器分析の休業日以外の別表1に定める時間とする。ただし、必要と認められる場合はこの限りではない。
- 2 利用者が、午後5時から翌朝午前9時までの間に利用を希望する場合は、利用当日の午後4時までに必ず機器分析職員に届け出なければならない。

(利用の取消等)

第11条 利用者が、この申し合わせに違反し、又は測定機器の正常運用の維持に重大な支障を生じさせた場合、又はそのおそれのある場合は、分野長は利用の承認を取消し、又は一定期間の利用を停止することができる。

(雑則)

第12条 この申し合わせの実施に関し、必要な事項は分野長が定める。

附則

この申し合わせは、平成16年4月1日から施行する。

附則

この申し合わせは、平成17年4月1日から施行する。

附目

この申し合わせは、平成18年4月1日から施行する。

附則

この申し合わせは、平成20年5月1日から施行する。附則

この申し合わせは、平成22年4月1日から施行する。

附則

この申し合わせは、平成22年11月1日から施行する。

附則

この申し合わせは、平成30年4月1日から施行する。

別表1 利用者資格

(柳戸地区)

計測機器名 (略称)	利用者の資格	(注1、2、3、4)	利用時間および貸出し(注5、6)
透過型電子顕微鏡	JEM-2100 (TEM, STEM, EDX) H-7000 (TEM)	職員 研究室に所属している学生 (資格を有する教員または大学 院生(教育学部および地域科学 部の場合、学部生)の立ち会い のもとで3ヶ月以上使用した	月曜日〜金曜日 10:00~16:30 金曜日の17:00から月曜日の9:00迄は 原則として利用できない。
走査型電子顕微鏡 (SEM)	S-4300 (EDX 付) S-4800 (EDX 付)	者) 職員 研究室に所属している学生(資 格を有する教員または大学院生 (教育学部および地域科学部の 場合、学部生)の立ち会いのも とで3ヶ月以上使用した者)	月曜日~金曜日 9 : 00 ~ 17 : 00
	SEM-3000 (N-SEM)	職員 研究室に所属している学生	
電子顕微鏡関連 小型機器	蒸着装置、イオンスパッタ、ミクロトーム、メッサー、ディンプルグラインダー、イオンミリング、精密イオンポリッシング、スパッタコーター、カーボンコーター	職員 研究室に所属している学生	月曜日~金曜日 9 : 00 ~ 17 : 00
	オスミウムコーター	職員 研究室に所属している学生(資 格を有する教員または大学院生 (教育学部および地域科学部の 場合、学部生)の立ち会いのも とで3ヶ月以上使用した者)	
X 線光電子分析装置 (XPS)	Quantera-SXM	職員 研究室に所属している学生(資 格を有する教員または大学院生 (教育学部および地域科学部の 場合、学部生)の立ち会いのも とで3ヶ月以上使用した者)	月曜日~金曜日9:00~17:00
高分解能質量 分析装置(MS)	JMS-700 K 9 GCmate II AccuTOF, AXIMA	職員、 資格を有する教員が認めた大学 院の学生および学部生	月曜日~金曜日 9:00~17:00
液体クロマト グラフ(HPLC)	Agilent1100, nanoLC		月曜日~金曜日 9:00~20:00
フーリエ変換 核磁気共鳴装置	400 MHz 600 MHz 500 MHz	職員、 研究室に所属している学部生以 上	月曜日~金曜日 9:00~20:00
(FT-NMR)	固体(500 MHz)	職員、 大学院の学生	0 - 00 - 20 - 00
電子スピン共鳴装置 (ESR)			月曜日~金曜日 9:00~20:00
誘導結合プラズマ発光 分析装置 (ICP-AES) 走査型プローブ顕微鏡 システム	職員 研究室に所属している ²	学部生以上	月曜日~金曜日 9:00~17:00
(SPM)			

	T	т		
	超高速度撮影装置 (UHC)		月曜日~金曜日 9:00~17:00	
			貸出し:1日および1週間単位で最大2週 間まで延長可	
超高速度現象 解析システム 蛍光分光光度計 、WV-Vis) フーリエ変換型 赤外分光光度計	汎用高速度撮影装置 (HV)		旧装置貸出し: 最長2ヶ月(4月~9月)、	
			最長1か月(10月~3月)	
招高凍度現象	パルスジェネレータ	職員、大学院の学生および本学	月曜日~金曜日 9:00~17:00	
	(PG)	職員立ち会いのもと、研究室に 所属している学部生	貸出し:1日および1週間単位で最大2週間まで延長可	
			原則として PG 単独の貸出しは行わない。 月曜日~金曜日	
			$9:00\sim17:00$	
	赤外線カメラ (TC)		貸出し:1日および1週間単位で最大2週間まで延長可	
	/		旧装置貸出し: 最長2ヶ月(4月~9月)、	
	蛍光寿命測定装置		最長1か月(10月~3月)	
	(Tau)	veh.		
蛍光分光光度計	絶対 PL 量子収率測定 装置	研究室に所属している学部生以	月曜日~金曜日 9:00~17:00	
	(QY) 分光蛍光光度計	上	9 - 00 - 17 - 00	
	(FL)			
光度計	職員研究室に所属している。	芝部 生 以 上	月曜日~金曜日 9:00~17:00	
(UV-Vis)	一	, HP-1-4/_	J · 00 - 11 · 00	
	顕微反射型	 職員 研究室に所属している学部生以	月曜日~金曜日	
亦外分元元度計 (FT-IR)	プローブ式	研究至に所属している字部生以 上	9:00~17:00	
田一名州△典弘 (00)	顕微接触型 職員、	<u> </u>	月曜日~金曜日	
円二色性分散計 (CD)	研究室に所属している会験員大学院の学生	学部生以上	9:00~17:00	
有機微量元素 分析装置(OEA)	職員、大学院の学生 研究室に所属している。 した者	学部生は、指導教員が特に許可	月曜日~金曜日 9:00~17:00	
顕微レーザーラマン	職員	으로 속면 라. [시]	月曜日~金曜日	
分光システム	研究室に所属している望 職員、大学院の学生	子部生以上	9:00~17:00	
熱分析システム (DSC,TMA,TG/DTA)		学部生は、指導教員が特に許可	月曜日~金曜日 9:00~17:00	
フェムト秒ファイバー	職員		月曜日~金曜日 9:00~17:00	
レーザー	研究室に所属している。	学部生以上	9:00~17:00 貸出し:1日および1週間単位で最大2週 間まで延長可	
テラヘルツ分光 走査型顕微鏡	職員 研究室に所属している学部生以上		月曜日~金曜日 9:00~17:00	
↑○丑. <u>¬</u> □_ ¥兴 从 ¥冗	職員	<u> </u>	2.00 11.00	
X 線マイクロ	修士(博士課程前期)	いては博士後期課程)の学生 課程は指導教員が任命した研究	月曜日~金曜日	
CT スキャン		学生(3ヶ月以上使用した者で、	9:00~17:00	
	資格を有する教員が認め	×2/2 も (2)		

デジタルマイクロスコープ 粒子径・ゼーケー電位・分子量測定装置 フロー式粒子像分析装置 旋光度計 レオメーター 動的粘弾性測定装置 波長分散型蛍光 X 線分析装置 (XRF)		月曜日~金曜日 9:00~17:00
---	--	-----------------------

注1:利注1:利用者は、分野長が特に適当と認めた者を利用可能とする。

注2:いずれも大学院の学生には、6年課程の学部および学科に所属する5、6年生を含む。

注3:本大学とセンターの利用に関して取り決めを行っている大学等の機関の教員および学生についても、本学の利用資格に 準ずる

注4: 資格者とは、3か月以上の使用経験を持ち、教員から単独使用を認められたものとする。

注5:17:00 以降の利用希望者は「時間外利用届」を16:00 迄に提出下さい。

注6:貸出しに際しては本学職員の立ち会いのもとに行うこと。2週間を越えてさらに貸出し利用を希望する場合は改めて申請すること。

(医学地区)

計測機器名 (略称)	利用者の資格(注1、2、3)		利用時間(注4)
フーリエ変換 核磁気共鳴装置 (FT-NMR)	600 MHz 800 MHz	本学職員、センター教員および 指導教員が許可した大学院生	月曜日~金曜日 9:00~17:00
超高輝度 X 線 回折装置	士(博士課程前期)課 代表者)	いては博士後期課程)の学生修 程は指導教員が任命した研究室 作業従事者の講習会を受講する	月曜日~金曜日 9:00~17:00
電子スピン共鳴装置	職員		月曜日~金曜日
(ESR)	研究室に所属している	学部生以上	$9:00\sim17:00$

注1:利用者は、分野長が特に適当と認めた者を利用可能とする。

注2:いずれも大学院の学生には、6年課程の学部および学科に所属する5、6年生を含む。

注3:本大学とセンターの利用に関して取り決めを行っている大学等の機関の教員および学生についても、本学の利用資格に 準ずる。

注4:17:00以降の利用希望者は「時間外利用届」を16:00 迄に提出下さい。

平成30年度 研究推進・社会連携機構 科学研究基盤センター 機器分析分野 機器利用申請書及び機器利用講習会参加申し込み

岐阜大学 研究推進 社会連携機構 科学研究基盤センター 機器分析分野長 殿

下記の通り機器分析分野機器を利用したいので、講習会に参加した後、岐阜大学研究推進・社会連携機構科学研究基盤センター機器分析分野利用規則を遵守し、申請します。

,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1/4 1111/		13/14/2007	_ ,			
	(氏名)				印	(職名)	
指導教員 (連絡責任 者)	(所属)	学部		学科		講座・コース名	
11)	TEL:						
		・ルアドレ	ス ()
	(氏名)				印	(職名)	
経費負担	(所属)	学部		学科	F14	講座・コース名	
	TEL:						
利 用 希 望 機 器 名							
	氏	名	職名(学年)	内線	電子メールアドレス	ス 講習会参加希望および受講済者	備考
申請者							
I II HH IH							
機器分析分野記力	人欄				亚山亚目	₩ 日	
お願い					受付番号	受付日	
なお、本研究に ファイルを機器を	関して発表 分析分野に	長した論文 □提出にご	には使用した ゛協力をお願い	機器分析分 いたします。	野の機器名を明記	することとし、論文別刷り1部	ぶまたは電子
		岐阜:	大学科学研	究基盤セン	ター 機器分析分	分野長	
注意	(N) 2 この 2 とを 3 セン 4 新邦	MR400・500・ 申請書に登 :原則とします :ターの利用 現利用者又に	・固体・600 MHz 経録(氏名)の無い け。講習会の日程 別期間は当該年度 よパスワード変更	4台利用するとい カは利用でき とは連絡責任者が で内としてください 希望者は下の相	宛に e-mail で連絡しま	Iに提出して下さい) するには教員が講習会済みまたは す。	本参加希望するこ
	ログイン	ID			パスワード		

別紙

	氏 /	名 職名(学年)	内線	電子メールアドレス	講習会参加希望および受講済者	備考
申請者						
T. 66 75						

研究推進・社会連携機構 科学研究基盤センター 機器分析分野 (柳戸地区) 時間外利用届

指 教員	-						印		
+	学部								
在	学科								
室	講座								
者	内線		身分 (学年)			氏名			
		1. 質量	分析装置(JN	IS-700, J	MS-K9, GCn	ate II,Ac	ccuTOF, 液クロ, AXIMA, NanoLC)		
		2. フー	-リエ変換超伝	導核磁気	共鳴装置(FT	NMR 40	00 · 600 MHz)		
						NMR 50	00 MHz・固体)		
			なレーザーラマ		ステム				
			終微量元素分析 ト可視分光光度						
			、可祝分元元及 ·分光光度計(日本公米)				
			.色性分散計(H/ T /J/L/				
			ががシステム(J/DTA, TMA)			
			径・ゼータ電						
		10. 粒子	径・粒子形状	測定装置					
		1 1. 旋光							
			メーター・動						
		1 3. 赤外分光光度計(Illuminat IR, React IR)							
		1 4. PL 量子収率・蛍光寿命測定装置							
使用す			** **********************************						
	号に○ てくだ	16. 精密	5人件 3型電子顕微鏡	(TEM =	(木雲子)				
さい			型電子顕微鏡						
			·顕微鏡(SEM			[3000)			
							ダー・イオンミリング装置・精密イス		
		ンオ	ポリッシング・	ネオオス	ミウムコーター	ー・イオン	コーター・カーボンコーター・ダイヤ		
		モン	ドワイヤーソ	_					
			型プローブ顕		M)				
		,,	ロトーム・メ						
		-	ジタルマイクロ						
			スピン共鳴装						
		25. X線光電子分析装置(Quantera) 26. 誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)							
			・ ウロウェーブ		RE (IOI III	16)			
		29. 蛍光	EX線分析 装i	置(XRF)					
		30. テラ	ヘルツ分光走	查型顕微鏡	·····································				
		31. フェ	ムト秒ファイ	バーレー	ザー				
利用	口時		月日	1 ()	時	分 ~		
かり川	日中生		月日	1 ()	時	分		

研究推進・社会連携機構 科学研究基盤センター 機器分析分野 (医学地区) 時間外利用届

	導 具 名						印	
	学部							
在	学科							
室者	講座							
	内線		身分 (学年)			氏名		
器の番	する機 号に○ て、。	 フーリ 電子ス 	エ変換超伝導 ピン共鳴装置	導核磁気。 置(ESR)		NMR 80	0 MHz)	
利用	日時	月		()	時	分 ~	
		J.	ı P	()	時	分	

3. 岐阜大学研究推進・社会連携機構科学研究基盤センター機器分析分野受託試験、測定及び検査等取扱要項

(趣旨)

第1 岐阜大学研究推進・社会連携機構科学研究基盤センター(以下「センター」という。)において、岐阜大学受託研究取扱規則第20条の規定に基づき行う定型的な試験、測定及び検査等の受託研究(以下「試験等」という。)の取扱いについては、この要項の定めるところによる。(申込みの方法)

第2 試験等の申込みは、別紙様式第1号により行うものとする。 (受入条件)

- 第3 試験等の受入れの条件は、次の各号に掲げるものとする。
 - 一 第6条に定める試験等の料金は原則として前納するものとする。ただし科学研究基盤センター長(以下「センター長」という。)が特別の事由があると認めた場合には後納とすることができる。
 - 二 委託者からの申し出により試験等を中止した場合においても料金は返還しない。ただし、特別の事情がある場合には、その全部または一部を返還することがある。

次に掲げる場合には、委託者の受ける損害に対してセンターはその責任を負わない。

- イ やむを得ない事由によって試験等を中止したため損害が生じたとき。
- ロ 試験等を行うために提出された材料等(以下「材料等」という。)に損害が生じたとき。
- ハ 第7号の場合において、センターの機器等を使用する者の責による事由によって損害が生じたとき。
- 三 試験等の実施上センター長が必要と認めたときは、材料等の再提出を求めることができる。
- 四 材料等の搬入及び搬出は、すべて委託者が行うものとする。
- 五 センター長が受入れできないと判断した材料等に係る試験等については、受入れをしないことができる。
- 六 委託者が学内担当者の指導・立会の下で直接センターの機器等を使用する場合は、別紙様式 第2号の使用申請書を提出し、同書の確認事項を遵守し試験等を行うこととする。ただし、 使用者は、センターが行う機器分析の使用に関する講習会を受講した者に限る。

(受入れ及び結果の通知)

- 第4 試験等の受入れ及びその結果の通知は、センター長の定める手続を経て行うものとする。 (秘密の保持等)
- 第5 センター及び委託者は、試験等の実施で知り得た相手方の秘密,知的財産等を相手方の書面による同意なしに公開してはならない。
 - 2 測定で得られたデータを委託者が公表する場合、原則として岐阜大学名を使用することはできない。また、岐阜大学を特定できる表現も同様とする。ただし、センター長が大学名の使用を許可した場合にはこの限りではない。

(試験等の料金)

- 第6 試験等の料金は、別表のとおりとする。ただし、研究教育上センター長が必要と認めて試験等のための材料等の提供を要請した場合には料金を収納しないことができる。
 - 2 試験等の料金は、岐阜大学が発行する請求書により収納する。

附則

この要項は、平成16年4月1日から実施する。

附則

この要項は、平成20年4月1日から実施する。

附 目

この要項は、平成20年11月26日から実施する。

附則

この要項は、平成22年11月24日から実施する。

この要項は、平成23年7月1日から実施する。 附則

この要項は、平成26年4月28日から実施する。 [KHII]

この要項は、平成27年1月23日から実施する。 附則

この要項は、平成30年4月1日から実施する。

別表 試験等の基本利用料金(注1、2)

(2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (5) (5)		
機器名(柳戸地区)	数量	料金(円)
超伝導高分解能フーリエ変換核磁気共鳴装置		
H-NMR	1 検体	22, 000
C-NMR	1 検体	30,000
2 D NMR (COSY)	1 検体	43, 000
その他特殊測定		応相談
電子スピン共鳴装置(ESR)	基本測定1件	21,000
	その他特殊測定	応相談
質量分析装置		
低分解能測定	1 検体	21,000
高分解能測定	1 検体	30, 000
質量分析装置用液体クロマトグラフ	24時間ごと	30,000
有機微量元素分析装置	 1 検体	21,000
電子顕微鏡		,
透過型電子顕微鏡(TEM)	 1 検体	42,000
走査型電子顕微鏡(SEM)	基本測定1件	20, 000
	その他特殊測定	応相談
走查型 X 線光電子分光分析装置 (Quantera)-GS	, — , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, 2 , , , , ,
(ワイドスキャンを含む、4元素まで)		40, 000
	その他の特殊測定	応相談
超高速度現象解析システム	1 検体	31, 000
時間分解蛍光分光光度計	基本測定1件	21,000
走査型プローブ顕微鏡(SPM)	基本測定1件	21,000
,,,	その他特殊測定	応相談
誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP)	1 検体(5 元素まで)	20,000
	1 元素追加ごと	4, 000
フーリエ変換赤外分光光度計 透過型分光計	基本測定1件	21,000
顕微・反射型分光計	基本測定1件	21,000
プローブ式分光計	24時間ごと	33, 000
顕微・接触型分光計	 24時間ごと	27, 000
紫外可視分光光度計		21, 000
円二色性分散計	基本測定1件	21, 000
熱分析装置	1 検体	21, 000
顕微レーザーラマン分光計	基本測定1件	21, 000
X 線マイクロ CT スキャン	1 検体	41, 000
粒子形状・粒子径測・ゼータ電位・分子量測定装置	基本測定1件	20, 000
デジタルマイクロスコープ	基本測定1件	21,000
旋光度計	基本測定1件	19, 000
蛍光 X 線分析装置	1 検体	21, 000
動的粘弾性測定装置	基本測定1件	14, 000
レオメーター	基本測定1件	14, 000

機器名(医学地区)	数量	料金(円)
核磁気共鳴装置(AVANC Ⅲ 800 型)		
H-NMR	1 検体	53, 000
C-NMR/ 2 D NMR	1 検体	77, 000
3 D NMR	1 検体	204, 000
核磁気共鳴装置(AVANC Ⅲ 600 型)		
H-NMR	1 検体	32, 000
C-NMR/ 2 D NMR	1 検体	46, 000
3 D NMR	1 検体	125, 000
高分解能測定	1 検体	30, 000

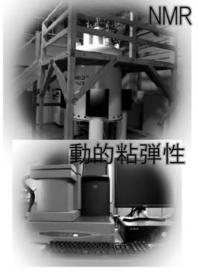
⁽注1) 消費税は料金には含まれておらず、別途請求する。

⁽注2) 前処理等が必要な場合については、別途相談の上、確定する。



受託試験 測定

当センター機器分析分野が所有する全ての大型精密分析器を利用可能です。所有する分析一覧、利用の流れや取り扱い要項など詳細については、ホームページもしくは、下記の問い合わせ先までお問い合わせください。



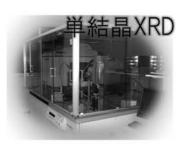












問い合わせ先:岐阜大学 研究推進・社会連携機構

科学研究基盤センター 機器分析分野

〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1

TEL:058-293-2035, FAX:058-293-2036

URL:http://www1.gifu-u.ac.jp/~lsrc/dia/, E-mail: kiki@gifu-u.ac.jp

4. 受託試験等の手続き

1. 受託試験等のご相談

受託試験や分析のご相談がありましたら、電話等にてご連絡ください。機器分析分野の職員が 適切な機器担当者をご紹介いたします。

2. 打合せ日の決定

担当職員と試験について打合せを行う日程を調整してください。

3. 試験打合せ

機器分析分野にお越しいただき、担当の職員と試験内容、実施日等の打合せを行ないます。その時に試験サンプルや試験に関する資料がございましたら、一緒にお持ちください。なお、試験の内容や試験サンプルの形状によっては、試験が行なえない場合もあります。

4. 受託試験のお申し込み

受託試験を申し込まれる時は、依頼書にご記入いただき、利用料金をお支払いただきます。

5. 試験等の実施

試験等実施日には、試験サンプルをお持ち込みいただき測定に同席してください。

6. データの受領

同席していただきながら得られたデータを基に担当の教職員と内容について協議し、データを お持ち帰り下さい。

センター長	研 究 推進課長	研 究 推進課長補佐	研究施設係長	研究施設係	分野長	機器分析分野

受付	番号 号						
	岐阜大学 研究推進	生・社会連携機構	冓 科学研究基	甚盤センター 機器分析分	野 受託	試験等依頼書	
				平成	年 月	日	
玉	立大学法人岐阜大学	研究推進・社会	連携機構 科	学研究基盤センター長	殿		
			全所文は所名	and a			
			企業等名及て (連絡先)	代表者名			
			担当者(所	「属・氏名)			
			電話番号 FAX 番号				
			電子メール	/			
岐	阜大学科学研究基盤と	ンター受託試験	食、測定及び	検査等取扱要項(以下、	「取扱要	項」) の内容を	と熟知の
上、	次のとおり試験等を依	対頼します。					
Ш	- 3-4 Adm D E1		品	名		数	量
	試物品名び数量						
/X	、						
,	依 頼 事 項						
(使用	引する機器名等をご記						
	入下さい。)						
	Ho Ne X He o	T-4 K		3.1.1.1.2.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	77	A	1
,	相談希望日	平成年	月 日	試験等実施希望日	平成	戈 年 月	
上記	の内容について、取扱	要項第3条一項	頁のただし書	きによる、取扱を認める) ₀	セン	ター長
	3-14EQ450101 A A 3-1						
	試験等料金合計						
	(① + ②)	▼ (± □ ±66 B) (3±	モンゲイチロロ 単ん	目. (小米/、) 以 17 1	-11		
aled.	① 別表料金表によ	【使用機器(訊	納寺悝別):	量(件数)×単価= P]]		
料	る試験等の料金内訳						
金内	② 相談等により設	【積算等】					
ΓJ		1					
訳	定した(その他特殊測			Į.	-		
訳	定した (その他特殊測 定等) 料金内訳			д	-		
訳				Р			

※注 太線枠内を記入してください。取扱要項の内容を受け入れられない場合、依頼測定は行われません。

センター長	研 究 推進課長	研 究 推進課長補佐	研究施設係長	研究施設係	分野長	機器分析分野

岐阜大学 研究推進・社会連携機構 科学研究基盤センター 分析機器等使用申請書

平成 年 月 日

国立大学法人岐阜大学 研究推進・社会連携機構 科学研究基盤センター長 殿

> 所属機関(会社)住所 〒 所属機関(会社)名 使用者氏名 印 所属部署 電話番号 ()

下記の確認条項に同意し、分析機器等の使用について申請します。

- 1 分析機器使用・測定については、申込時に使用者が岐阜大学の担当者と十分な相談をして、「岐阜大学科学研究基盤センター受託試験等依頼書」を提出する。
- 2 使用・測定の料金は使用前に納入するものとする。使用・測定を中止した場合においても料金は使用者に返還しない。
- 3 分析装置の故障などで測定できなくなった場合には、測定を延期することがあるが、それに関わる損害を使用者は請求できない。
- 4 センター長及び担当者は、使用者が機器を取り扱うのに十分な資質を有していないと判断したときには、いかなる時点においても作業を制止できる。また、毒物や法律等に触れるもの、さらに、機器を破損する恐れのあるものなどセンター長及び担当者が受入れできないと判断したものについては、測定を拒否する。
- 5 使用・測定については、使用者は単独でするのではなく、岐阜大学の担当者が同席して、担当者の指導・立会いの下で使用者が作業する。使用者の責任で機器を乗損または滅失したときには、使用者がこれを原形に復し、また損害を賠償する。
- 6 使用者は、機器の利用に当たって、関係法律を守り、安全衛生対策、事故防止に十分注意を払うものとする。 また、使用者は、指定された場所以外に許可なく出入りすることはできない。
- 7 前記6の項目に反して、使用者の過失により本人が怪我または病気をした場合は、岐阜大学は一切責任を負わないものとする。
- 8 使用者は、承認された時間内に清掃を含めてすべての作業を終了する。
- 9 測定で得られたデータは、岐阜大学が保障するものではない。そのため、データの外部への公表において、いかなる場合においても岐阜大学名を使うことはできない。また、その際に岐阜大学を特定できる表現も使えない。ただし、センター長が大学名の使用を許可した場合にはこの限りではない。
- 10 前記9の項目に反して、外部に公表したことで岐阜大学が受けた被害及び損害については、使用者及びその会社が賠償するものとする。

4 活動報告

1. 機器の利用状況

(柳戸地区)

1.1	フーリ	工变换核磁氛	北鳴基器	(JNM-ECX400 P型	日本電子制)
1-1	/ /	2 19-12 W. XI	プヤ 門頭 オヤ (国)	GINDI-ECA400 F 4	D 45 III. T 302 /

納入年月日 平成19年3月28日

年度	区	分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
10	延検体数	(件)	1,301	0	0	812	2,470	0	0	1,360	0	0	0	5,943
19	延使用時	問(H)	271.5	0.0	0.0	360.5	1,662.5	0.0	0.0	895.0	0.0	0.0	0.0	3,189.5
20	延検体数	(件)	718	0	2	1,319	3,920	0	0	582	0	0	0	6,541
20	延使用時	間(H)	152.5	0.0	1.0	712.5	2,000.0	0.0	0.0	382.5	0.0	0.0	0.0	3,248.5
21	延検体数	(件)	884	0	0	1,772	3,407	0	0	7	0	0	0	6,070
21	延使用時	間(H)	349.5	0.0	0.0	979.5	1,993.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	3,327.0
22	延検体数	(件)	1,124	0	4	1,094	1,749	0	0	169	0	0	0	4,140
22	延使用時	間(H)	339.0	0.0	2.5	938.0	1,104.0	0.0	0.0	94.5	0.0	0.0	0.0	2,478.0
22	延検体数	(件)	3,260	0	0	1,122	933	0	0	3	0	0	0	5,318
23	延使用時	間(H)	813.5	0.0	0.0	700.5	432.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0	1,958.0
2.	延検体数	(件)	2,139	0	0	1,173	396	0	0	0	0	0	0	3,708
24	延使用時	間(H)	620.0	0.0	0.0	696.5	218.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,535.0
2.5	延検体数	(件)	923	0	0	1,035	733	0	0	0	0	0	0	2,691
25	延使用時	間(H)	234.0	0.0	0.0	625.0	312.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,170.0
24	延検体数	(件)	983	0	0	1069	443	0	0	0	0	0	0	2495
26	延使用時	間(H)	244.0	0.0	0.0	718.5	161.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,124.0
27	延検体数	(件)	512	0	0	3,887	510	0	0	0	0	0	0	4,909
27	延使用時	間(H)	127.0	0.0	0.0	2,149.0	241.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,517.0
	延検体数	(件)	1,030	0	0	1,865	564	0	0	0	0	0	0	3,459
28	延使用時	間(H)	131.0	0.0	0.0	1,097.0	306.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,534.0
20	延検体数	(件)	1,762	0	0	1,907	569	0	0	0	0	0	0	4,238
29	延使用時	問(H)	208.5	0.0	0.0	1,099.0	333.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,640.5

1-2 フーリエ変換核磁気共鳴装置 (JNM-ECA600型 日本電子製)

納入年月日 平成19年3月28日

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
10	延検体数	(件)	2,017	0	0	497	1,896	0	0	723	0	0	0	5,133
19	延使用時	問(H)	525.0	0.0	0.0	244.0	1,919.0	0.0	0.0	886.5	0.0	0.0	0.0	3,574.5
20	延検体数	(件)	2,308	0	0	345	2,711	0	0	785	0	0	0	6,149
20	延使用時	間(H)	574.0	0.0	0.0	296.5	1,911.0	0.0	0.0	999.0	0.0	0.0	0.0	3,780.5
21	延検体数	(件)	2,600	0	0	1,104	2,847	0	0	0	0	0	0	6,551
21	延使用時	問(H)	952.0	0.0	0.0	1,017.0	2,262.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,231.0
22	延検体数	(件)	2,349	0	0	510	4,145	0	0	153	0	0	0	7,157
22	延使用時	間(H)	684.0	0.0	0.0	481.5	2,784.0	0.0	0.0	376.0	0.0	0.0	0.0	4,325.5
22	延検体数	(件)	3,028	0	0	314	2,536	0	0	36	0	0	0	5,914
23	延使用時	間(H)	956.5	0.0	0.0	228.5	1,995.0	0.0	0.0	208.5	0.0	0.0	0.0	3,388.5
24	延検体数	(件)	2,606	0	0	257	2,066	2	0	1	0	0	0	4,932
24	延使用時	問(H)	719.0	0.0	0.0	551.5	1,544.0	1.5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2,817.0
25	延検体数	(件)	1,887	0	0	409	2,337	0	0	0	0	0	0	4,633
25	延使用時	問(H)	645.0	0.0	0.0	1,151.0	1,116.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,911.0
26	延検体数	(件)	1,191	0	0	453	857	0	0	3	0	0	0	2504
26	延使用時	間(H)	314.5	0.0	0.0	628.5	295.5	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1,239.5
27	延検体数	(件)	2,631	0	0	563	2,274	0	0	21	0	0	0	5,489
21	延使用時	間(H)	579.5	0.0	0.0	721.0	941.5	0.0	0.0	38.0	0.0	0.0	0.0	2,280.0
28	延検体数	(件)	1,369	155	0	157	960	0	0	46	0	0	0	2,687
28	延使用時	間(H)	318.5	35.0	0.0	168.5	915.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0	1,449.0
20	延検体数	(件)	780	0	0	307	822	0	95	0	0	0	0	2,004
29	延使用時	間(H)	195.5	0.0	0.0	513.0	1,064.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,797.5

1-3フーリエ変換核磁気共鳴装置 (JNM-ECA500 型 日本電子製)

納入年月日 平成14年9月18日 管理換年月日 平成14年2月27日(連農)

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
	延検体数	(件)	1,838	0	0	963	406	0	0	652	0	0	0	3,859
15	延使用時間	(H)	666.0	0.0	0.0	572.5	126.5	0.0	0.0	400.5	0.0	0.0	0.0	1,765.5
16	延検体数	(件)	1,723	0	64	1,678	907	0	0	1,508	0	0	0	5,880
10	延使用時間	(H)	567.0	0.0	27.5	1,079.0	479.5	0.0	0.0	824.5	0.0	0.0	0.0	2,977.5
17	延検体数	(件)	734	0	52	1,415	769	0	0	549	0	0	0	3,519
17	延使用時間	(H)	241.5	0.0	19.5	967.5	717.0	0.0	0.0	291.0	0.0	0.0	0.0	2,236.5
18	延検体数	(件)	1,776	0	0	1,368	2,011	0	0	1,635	0	11	0	6,801
18	延使用時間	(H)	569.0	0.0	0.0	932.5	1,474.5	0.0	0.0	916.0	0.0	26.0	0.0	3,918.0
19	延検体数	(件)	845	0	0	375	1,207	0	0	675	0	1	0	3,103
19	延使用時間	(H)	212.5	0.0	0.0	2,446.5	1,994.5	0.0	0.0	748.5	0.0	2.0	0.0	5,404.0
20	延検体数	(件)	1,241	0	0	218	1,055	0	0	247	0	0	0	2,761
20	延使用時間	(H)	447.0	0.0	0.0	903.5	1,326.5	0.0	0.0	257.0	0.0	0.0	0.0	2,934.0
21	延検体数	(件)	855	0	0	232	840	0	0	0	0	0	0	1,927
21	延使用時間	(H)	380.5	0.0	0.0	238.0	1,135.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,754.0
22	延検体数	(件)	1,507	0	0	83	905	0	0	59	0	0	0	2,554
22	延使用時間	(H)	577.5	0.0	0.0	54.0	1,085.5	0.0	0.0	60.5	0.0	0.0	0.0	1,777.5

22	延検体数 (件)	458	0	0	23	143	0	0	12	0	0	0	636
23	延使用時間(H)	175.5	0.0	0.0	93.0	263.0	0.0	0.0	15.5	0.0	0.0	0.0	547.0
24	延検体数 (件)	360	0	0	31	17	0	0	0	0	0	0	408
24	延使用時間(H)	268.0	0.0	0.0	20.0	39.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	327.0
26	延検体数 (件)	524	0	0	74	12	0	0	0	0	0	0	610
25	延使用時間(H)	160.0	0.0	0.0	106.0	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	285.0
26	延検体数 (件)	1,010	0	0	161	674	0	0	2	0	0	0	1,847
26	延使用時間(H)	295.5	0.0	0.0	204.5	369.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	870.0
27	延検体数 (件)	979	0	0	1,275	225	0	0	0	0	6	0	2,485
21	延使用時間(H)	266.0	0.0	0.0	833.5	124.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.5	0.0	1,249.0
20	延検体数 (件)	1,705	5	0	636	588	0	0	0	0	0	0	2,934
28	延使用時間(H)	395.5	1.0	0.0	456.0	220.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,072.5
20	延検体数 (件)	110	0	0	455	688	0	2	0	0	0	0	1,255
29	延使用時間(H)	20.0	0.0	0.0	333.5	249.0	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	608.0

1-4 フーリエ変換核磁気共鳴装置 (JNM-ESA500型 固体 日本電子製)

納入年月日 平成14年9月18日 管理換年月日 平成16年2月27日(連農)

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
20	延検体数	(件)	0	0	0	46	19	0	0	0	0	0	0	65
20	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	826.5	173.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	999.5
21	延検体数	(件)	0	0	0	27	7	0	0	0	0	0	0	34
21	延使用時間	間(H)	0.0	0.0	0.0	347.5	154.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	502.0
22	延検体数	(件)	0	0	0	74	17	0	0	0	0	0	0	91
22	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	784.5	742.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,527.0
23	延検体数	(件)	0	0	0	89	11	0	1	16	0	0	0	117
23	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	811.0	100.0	0.0	651.0	107.0	0.0	0.0	0.0	1,669.0
24	延検体数	(件)	0	0	0	21	38	0	0	2	0	0	0	61
24	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	290.5	639.0	0.0	0.0	47.0	0.0	0.0	0.0	976.5
25	延検体数	(件)	0	0	0	2	0	0	0	20	0	0	0	22
25	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	28.0	0.0	0.0	0.0	204.0	0.0	0.0	0.0	232.0
26	延検体数	(件)	0	0	0	0	4	0	0	5	0	0	0	9
26	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	133.0
27	延検体数	(件)	0	0	0	28	38	0	0	13	0	0	0	79
27	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	254.5	243.0	0.0	0.0	172.5	0.0	0.0	0.0	670.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	21	18	0	0	10	0	0	0	49
28	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	187.5	196.5	0.0	0.0	118.5	0.0	0.0	0.0	502.5
20	延検体数	(件)	0	0	0	17	147	0	30	0	0	0	0	194
29	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	198.5	1,634.5	0.0	364.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,197.0

2 電子スピン共鳴装置 (JES-FA100 日本電子製)

納入年月日 平成14年9月18日 管理換年月日 平成16年2月27日(連農)

年度	区	分	教育	地域	医	エ	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
1.5	延検体数	(件)	0	0	0	182	0	0	0	0	0	0	0	182
15	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	288.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	288.0
16	延検体数	(件)	0	0	0	276	0	0	0	0	0	0	0	276
16	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	479.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	479.0
17	延検体数	(件)	0	0	0	146	0	0	0	1	0	0	0	147
1/	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	370.5	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	372.5
18	延検体数	(件)	0	0	0	160	0	0	0	0	0	0	0	160
18	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	294.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	294.5
19	延検体数	(件)	0	0	0	150	0	0	0	0	0	0	0	150
19	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	363.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	363.5
20	延検体数	(件)	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10
20	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	29.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.0
21	延検体数	(件)	0	0	0	83	0	0	0	0	0	0	0	83
21	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	95.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.0
22	延検体数	(件)	0	0	0	225	0	0	0	0	0	0	0	225
22	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	656.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	656.5
23	延検体数	(件)	0	0	0	173	0	0	0	12	0	0	0	185
23	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	485.5	0.0	0.0	0.0	13.5	0.0	0.0	0.0	499.0
24	延検体数	(件)	0	0	0	292	0	0	0	24	0	0	0	316
24	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	757.0	0.0	0.0	0.0	32.5	0.0	0.0	0.0	789.5
25	延検体数	(件)	0	0	0	513	8	0	0	13	0	0	0	534
23	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	1,580.0	17.0	0.0	0.0	21.0	0.0	0.0	0.0	1,617.0
26	延検体数	(件)	0	0	0	265	0	0	0	6	0	0	0	271
20	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	758.0	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	764.0
27	延検体数	(件)	0	0	0	232	100	0	0	14	0	0	0	346
21	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	577.5	36.5	0.0	0.0	15.5	0.0	0.0	0.0	629.5
28	延検体数	(件)	0	0	0	103	91	0	0	11	0	0	0	205
20	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	197.0	44.5	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	244.0
29	延検体数	(件)	0	0	0	132	15	0	0	0	.0	0	0	147
29	延使用時間](H)	0.0	0.0	0.0	211.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	214.0

3-1 高分解能質量分析装置 (JMS-700 日本電子製)

納入年月日 平成16年1月19日

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
1.6	延検体数	(件)	256	0	1	623	162	0	0	173	0	0	0	1,215
16	延使用時間	問(H)	44.0	0.0	8.0	131.0	62.5	0.0	0.0	31.5	0.0	0.0	0.0	277.0

17	延検体数 (件)	209	0	1	581	93	0	0	30	0	0	0	914
17	延使用時間(H)	32.5	0.0	1.5	168.5	45.0	0.0	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	256.5
18	延検体数 (件)	599	0	27	1,037	152	0	0	35	0	0	0	1,850
10	延使用時間(H)	90.0	0.0	63.0	248.0	59.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	473.0
19	延検体数 (件)	722	0	8	585	120	0	0	166	0	0	0	1,601
19	延使用時間(H)	100.5	0.0	19.5	159.0	63.0	0.0	0.0	54.5	0.0	0.0	0.0	396.5
20	延検体数 (件)	704	0	0	784	99	0	0	243	0	0	0	1,830
20	延使用時間(H)	91.5	0.0	0.0	220.5	47.5	0.0	0.0	69.0	0.0	0.0	0.0	428.5
21	延検体数 (件)	751	0	33	1,274	140	0	0	0	0	181	0	2,379
21	延使用時間(H)	144.5	0.0	32.0	320.0	69.5	0.0	0.0	0.0	0.0	45.0	0.0	611.0
	延検体数 (件)	753	0	10	1,207	138	0	0	20	0	73	0	2,201
22	延使用時間(H)	117.5	0.0	10.5	275.0	57.0	0.0	0.0	5.0	0.0	21.5	0.0	486.5
22	延検体数 (件)	755	0	6	615	78	0	0	2	0	0	0	1,456
23	延使用時間(H)	113.5	0.0	2.5	195.0	18.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	330.0
24	延検体数 (件)	591	0	7	918	30	2	0	3	0	0	0	1,551
24	延使用時間(H)	94.0	0.0	7.0	233.5	7.5	0.5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	343.5
25	延検体数 (件)	375	0	4	755	20	0	0	13	0	0	0	1,167
25	延使用時間(H)	84.0	0.0	4.0	177.0	9.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	279.0
26	延検体数 (件)	458	0	5	577	16	0	0	1	0	0	0	1,057
26	延使用時間(H)	69.0	0.0	4.5	215.5	2.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	293.0
27	延検体数 (件)	629	0	10	617	17	0	0	3	0	0	0	1,276
27	延使用時間(H)	88.5	0.0	13.0	117.5	5.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	226.0
	延検体数 (件)	617	0	46	593	12	0	0	0	0	0	0	1,268
28	延使用時間(H)	54.0	0.0	22.0	144.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	225.0
20	延検体数 (件)	402	0	0	723	3	0	0	0	0	0	0	1,128
29	延使用時間(H)	33.5	0.0	0.0	198.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	232.5

3-2 四重極型質量分析装置 (JMS-AMSUN200/GI K9 日本電子製)

	納入	年月 E	3 平成	164	F1月	19E
--	----	------	------	-----	-----	-----

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
12	延検体数	(件)	0	0	0	0	108	0	0	0	0	0	0	108
16	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	172.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	172.5
17	延検体数	(件)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
17	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
18	延検体数	(件)	0	0	0	110	28	0	0	0	0	0	0	138
18	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	53.5	34.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.0
19	延検体数	(件)	0	0	0	162	31	0	0	0	0	0	0	193
19	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	116.0	18.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	134.5
20	延検体数	(件)	0	0	0	96	49	0	0	0	0	0	0	145
20	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	87.5	69.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	156.5
21	延検体数	(件)	0	0	0	107	15	0	0	0	0	0	0	122
21	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	128.5	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	174.0
22	延検体数	(件)	0	0	0	105	68	0	0	0	0	0	0	173
22	延使用時間	間(H)	0.0	0.0	0.0	118.0	60.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	178.5
22	延検体数	(件)	0	0	0	255	37	0	0	0	0	0	0	292
23	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	194.0	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	217.5
24	延検体数	(件)	0	0	0	352	12	0	0	0	0	0	0	364
24	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	196.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	208.0
25	延検体数	(件)	0	0	0	38	0	0	0	0	0	0	0	38
23	延使用時間	間(H)	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
26	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
27	延検体数	(件)	0	0	0	35	198	0	0	2	0	0	0	235
21	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	40.0	171.5	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	215.5
20	延検体数	(件)	0	0	0	6	311	0	0	0	0	0	0	317
28	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	8.5	162.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	171.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	42
29	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	64.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.5

3-3 ガスクロマトグラフ質量分析システム (質量分析装置GC-mate II 日本電子製)

納入年月日 平成13年2月28日 管理換年月日 平成16年3月31日(工)

年度	区 分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
1.5	延検体数 (件)	101	278	0	196	276	0	0	0	0	0	0	851
15	延使用時間(H)	24.5	110.0	0.0	124.0	318.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	576.5
17	延検体数 (件)	0	183	0	111	82	0	0	0	0	0	0	376
16	延使用時間(H)	0.0	83.5	0.0	53.5	82.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	219.5
17	延検体数 (件)	0	56	0	84	37	0	0	0	0	0	0	177
17	延使用時間(H)	0.0	19.0	0.0	54.5	81.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	154.5
10	延検体数 (件)	0	6	0	409	20	0	0	46	0	0	0	481
18	延使用時間(H)	0.0	2.0	0.0	200.0	51.0	0.0	0.0	141.0	0.0	0.0	0.0	394.0
10	延検体数 (件)	0	1	0	532	9	0	0	23	0	0	0	565
19	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	218.0	9.0	0.0	0.0	53.5	0.0	0.0	0.0	280.5
20	延検体数 (件)	0	17	0	333	0	0	0	0	0	0	0	350
20	延使用時間(H)	0.0	28.5	0.0	203.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	231.5
21	延検体数 (件)	0	40	0	161	0	0	0	0	0	0	0	201
21	延使用時間(H)	0.0	47.5	0.0	103.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	151.0
22	延検体数 (件)	0	16	0	136	0	0	0	0	0	0	0	152
22	延使用時間(H)	0.0	5.0	0.0	81.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.5

22	延検体数 (件)	0	0	0	425	0	0	0	0	0	0	0	425
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	218.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	218.5
24	延検体数 (件)	0	0	0	631	0	0	0	0	0	0	0	631
24	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	304.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	304.5
26	延検体数 (件)	0	0	0	844	0	0	0	0	0	0	0	844
25	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	458.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	458.0
26	延検体数 (件)	0	0	. 0	346	0	0	0	0	0	0	. 0	346
26	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	186.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	186.0
27	延検体数 (件)	0	0	0	253	0	0	0	0	0	0	0	253
27	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	128.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	128.5
20	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3-4 液体クロマトグラフ (Agilent1100 アジレント社製)

納入年月日 平成16年3月22日

年度	区	分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
17	延検体数	(件)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
16	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
17	延検体数	(件)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
17	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
18	延検体数	(件)	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
18	延使用時間	引(H)	102.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	102.0
19	延検体数	(件)	3	0	0	27	4	0	0	0	0	0	0	34
19	延使用時間	間(H)	26.5	0.0	0.0	104.5	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	145.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	60	2	0	0	0	0	0	0	62
20	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	270.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	277.0
21	延検体数	(件)	343	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	363
21	延使用時間	引(H)	516.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	546.0
22	延検体数	(件)	27	0	0	0	24	0	0	32	0	0	0	83
22	延使用時間	引(H)	66.5	0.0	0.0	0.0	31.0	0.0	0.0	277.5	0.0	0.0	0.0	375.0
22	延検体数	(件)	47	0	0	0	22	0	0	12	0	0	0	81
23	延使用時間	引(H)	24.5	0.0	0.0	0.0	93.0	0.0	0.0	94.5	0.0	0.0	0.0	212.0
24	延検体数	(件)	0	0	0	102	62	0	0	10	0	0	0	174
24	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	280.5	113.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	406.5
25	延検体数	(件)	0	0	0	30	226	0	0	0	0	0	0	256
25	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	46.0	266.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	315.0
26	延検体数	(件)	0	0	0	0	226	0	0	0	0	0	0	226
20	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	310.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	310.0
27	延検体数	(件)	0	0	0	0	85	0	0	0	0	0	0	85
21	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	34.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.5
20	延検体数	(件)	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6
28	延使用時間	間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	0	169	0	0	0	0	0	0	169
29	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	8.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.2

3-5 AccuTOF(LC-PLUS JMS-T100LP 日本電子製)

納入年月日 平成23年6月29日

年度	区	分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数	(件)	21	0	0	252	104	0	0	0	0	0	0	377
23	延使用時間	(H)	10.0	0.0	0.0	169.5	51.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	230.5
24	延検体数	(件)	0	0	0	332	141	18	0	4	0	0	0	495
24	延使用時間	l(H)	0.0	0.0	0.0	280.0	120.5	12.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	415.5
25	延検体数	(件)	0	0	0	281	136	0	0	3	0	0	0	420
25	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	177.0	59.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	238.0
26	延検体数	(件)	0	0	0	530	168	0	0	4	0	0	0	702
26	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	368.5	108.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	480.5
27	延検体数	(件)	4	0	1	721	210	0	0	0	0	0	0	936
27	延使用時間	(H)	2.0	0.0	3.0	429.5	113.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	547.5
20	延検体数	(件)	112	0	1	595	304	0	0	0	0	0	0	1,012
28	延使用時間](H)	45.5	0.0	3.5	342.5	170.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	562.0
20	延検体数	(件)	69	0	0	611	182	0	0	0	0	0	0	862
29	延使用時間	(H)	36.5	0.0	0.0	447.5	109.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	593.0

3-6 飛行時間型質量分析装置(AXIMA-Resonance 島津製) 納入年月日 平成22年2月10日

管理換年月日 平成26年9月1日

					111 11 11 11 11 11									
年度	区	分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
26	延検体数	(件)	0	0	0	286	320	0	0	2	0	0	0	608
26	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	45.0	119.5	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	165.5
27	延検体数	(件)	0	0	0	550	938	0	0	23	0	0	0	1511
	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	264.5	346.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	613.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	46	864	0	0	4	0	0	0	914
28	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	35.0	241.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	277.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	210	1,434	0	25	0	0	0	0	1,669
29	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	79.0	398.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	487.0

納入年月日 平成22年2月10日

0.0

管理换年月日 平成26年9月1日

年度	区	分	教育	地域	医	T.	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
26	延検体数	(件)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
26	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	58.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.0
27	延検体数	(件)	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	22
21	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	171.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	171.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
28	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

4-1 大型電子顕微鏡 (透過型 JEM-2100 日本電子製) 納入年月日 平成22年2月26日 年度 教育 地域 応生 連農 流域 生命セ 情報メ 連創 区 他 計 分 I 延検体数 (件) 93 107 0 14 0 0 0 0 0 0 0 22 延使用時間(H) 0.0 0.0 0.0 188.5 0.0 0.0 0.0 8.0 0.0 0.0 0.0 196.5 延検体数 (件) 0 0 0 262 0 0 0 4 0 0 0 266 23 延使用時間(H) 772.5 0.0 0.0 0.0 761.5 0.0 0.0 0.0 11.0 0.0 0.0 0.0 延検体数 (件) 0 0 0 303 0 0 0 0 0 0 0 303 24 延使用時間(H) 0.0 0.0 0.0 830.5 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 830.5 延検体数 (件) 300 0 0 0 10 0 310 0 0 0 0 0 延使用時間(H) 772.0 757.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 15.0 0.0 0.0 0.0 延検体数 (件) 131 138 26 延使用時間(H) 44.5 0.0 0.0 392.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 436.5 延検体数 (件) 延使用時間(H) 180 186 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 27 19.5 517.5 0.0 0.0 498.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 延検体数 (件) 0 0 0 235 0 0 0 0 0 . 0 0 235 28 延使用時間(H) 0.0 0.0 0.0 499.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 499.0 延検体数 (件) 236 236 29 延使用時間(H) 0.0 0.0 693.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 693.0

4-2 大型電子顕微鏡 (透過型 H-7000 形 日立製作所製)

納入年月日 平成21年5月12日

0.0

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
21	延検体数 (件)	0	0	0	9	110	0	0	0	0	0	0	119
21	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	11.0	121.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	132.0
22	延検体数 (件)	0	0	0	17	345	0	0	0	0	0	0	362
22	延使用時間((H)	0.0	0.0	0.0	14.5	217.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	231.5
22	延検体数 (件)	0	0	0	13	339	0	0	0	0	0	0	352
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	12.0	142.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	154.0
24	延検体数 (件)	0	0	0	10	189	0	0	0	0	0	0	199
24	延使用時間((H)	0.0	0.0	0.0	20.5	102.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	123.0
	延検体数 (件)	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
25	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
~ .	延検体数 (件)	0	0	14	55	0	0	0	0	0	0	0	69
26	延使用時間((H)	0.0	0.0	22.0	81.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	103.0
27	延検体数 (件)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
27	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
20	延検体数 (件)	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	25
28	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	26.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.5
20	延検体数 (件)	0	0	0	36	0	0	0	0	0	0	11	47
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	39.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0	61.0

4-3 走査型電子顕微鏡 (S-4300型 日立ハイテクノロジーズ製)

納入年月日 平成15年3月5日

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
16	延検体数	(件)	88	0	0	543	253	0	0	0	0	0	0	884
15	延使用時間	罰(H)	369.5	0.0	0.0	1,580.0	468.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,418.0
1.6	延件体数	(件)	161	0	0	1,092	99	0	0	0	1	0	0	1,353
16	延使用時間	間(H)	501.0	0.0	0.0	1,890.5	157.5	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	2,553.0
17	延件体数	(件)	131	0	0	1,019	131	0	0	0	0	0	0	1,281
17	延使用時間	間(H)	455.5	0.0	0.0	1,781.0	203.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,439.5
10	延件体数	(件)	111	0	0	1,415	61	0	0	2	0	0	0	1,589
18	延使用時間	問(H)	305.0	0.0	0.0	2,447.5	115.5	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	2,871.5
10	延件体数	(件)	252	0	0	1,713	71	0	0	0	0	0	0	2,036
19	延使用時間	間(H)	458.0	0.0	0.0	3,049.0	95.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,602.0
20	延件体数	(件)	226	0	0	1,015	75	2	0	0	0	0	0	1,318
20	延使用時間	問(H)	576.5	0.0	0.0	2,316.5	161.5	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,062.5
21	延件体数	(件)	167	0	0	626	92	3	5	1	0	0	0	894
21	延使用時間	問(H)	705.5	0.0	0.0	1,436.0	144.0	10.0	6.5	7.0	0.0	0.0	0.0	2,309.0
22	延件体数	(件)	146	20	0	896	123	0	0	28	0	0	0	1,213
22	延使用時間	問(H)	440.5	65.5	0.0	1,942.0	186.5	0.0	0.0	38.0	0.0	0.0	0.0	2,672.5
22	延件体数	(件)	144	8	0	1,371	86	0	10	0	0	0	0	1,619
23	延使用時間	間(H)	549.5	95.0	0.0	2,061.5	196.5	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2,913.0
~.	延件体数	(件)	107	2	0	1,216	174	0	17	4	0	0	0	1,520
24	延使用時	問(H)	334.0	4.0	0.0	2,278.5	296.0	0.0	30.5	1.0	0.0	0.0	0.0	2,944.0
25	延件体数	(件)	66	0	1	1,327	15	0	5	39	0	0	0	1,453
25	延使用時間	間(H)	238.0	0.0	3.0	2,125.0	35.0	0.0	16.0	51.0	0.0	0.0	0.0	2,455.0

_	Tagain daw day												
26	延検体数 (件) 延使用時間(H)	85 311.0	0.0	6.5	958 1,492.5	201 154.0	0.0	0.0	47.0	0.0	0.0	0.0	1,277 2,011.0
	延検体数 (件)	70	0.0	0.5	804	76	0.0	0.0	7	0.0	0.0	0.0	957
27	延使用時間(H)	266.0	0.0	0.0	1,155.0	72.5	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	1,500.5
28	延検体数 (件)	0	0	0	1,019	96	0	0	0	0	0	0	1,115
	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	879.5	35.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	915.0
29	延検体数 (件) 延使用時間(H)	17.5	0.0	0.0	547 729.5	16.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	763.5
	延使用時间(口)	17.5	0.0	0.0	129.3	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	/03.3
4-4	走查型電子顕微鏡(S-4800 型	日立ハイ	テクノロ	ジーズ製)					र्भव	内入年月日	平成20年	3月27日
年度	区分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
	延件体数 (件)	0	0	0	1,234	14	0	0	0	0	0	0	1,248
20	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	1,182.0	13.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,195.5
21	延件体数 (件)	0	0	0	1,532	3	0	0	0	0	0	0	1,535
-	延使用時間(H) 延件体数 (件)	0.0	0.0	0.0	1,391.5	3.5 20	0.0	0.0	0.0 76	0.0	0.0	0.0	1,395.0 2,068
22	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	1,845.5	16.0	0.0	0.0	49.0	0.0	0.0	0.0	1,910.5
23	延件体数 (件)	0	0	0	2,525	28	0	3	68	0	0	0	2,624
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	2,071.5	38.0	0.0	1.5	33.5	0.0	0.0	0.0	2,144.5
24	延件体数 (件)	0	0	0	2,792	105	0	0	98	0	0	0	2,995
	延使用時間(H) 延件体数 (件)	0.0	0.0	0.0	2,089.5 2,435	115.0 108	0.0	0.0	31.0 434	0.0	0.0	0.0	2,235.5
25	延使用時間(H)	13.0	0.0	0.0	1,904.0	73.0	0.0	0.0	200.0	0.0	0.0	0.0	2,189.0
26	延検体数 (件)	0	0	0	2,034	189	0	0	346	0	0	0	2,569
20	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	1,471.0	199.5	0.0	0.0	206.0	0.0	0.0	0.0	1,876.5
27	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	0,0	1,943 1,714.5	300 210.5	0.0	0.0	233.0	0.0	0.0	0.0	2,783
200	延検体数 (件)	0.0	0.0	0.0	2,143	265	0.0	0.0	659	0.0	0.0	0.0	3,067
28	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	1,824.5	208.5	0.0	0.0	269.0	0.0	0.0	0.0	2,302.0
29	延検体数 (件)	0	0	254	2,152	173	0	1,090	0	0	0	0	3,669
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	247.0	1,925.0	134.0	0.0	429.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,735.0
4-5	走查型電子顕微鏡(S-3000N #	J H TY	イテクノロ	コジーズ側	1)					納入年月日	平成16	年3月2日
							Sale offi	Sets Leb	4. 6. 1.	9250			
年度	区 分	教育	地域	医	I.	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
16	延件体数 (件) 延使用時間(H)	79.0	0.0	0.0	223.5	108.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	276 415.0
822	延件体数 (件)	35	66	0.0	104	44	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	249
17	- 11 11 22 (11)												
92898	延使用時間(H)	71.5	61.0	0.0	194.0	49.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	375.5
18	延件体数 (件)	80	0	0	98	21	0	0	0	0	0	0	199
18	延件体数 (件) 延使用時間(H)	80 162.0	0.0	0.0	98 193.0	21 24.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	199 379.0
18	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件)	80 162.0 51	0.0 0.0	0 0.0 0	98 193.0 127	21 24.0 129	0 0.0 0	0.0 0.0	0 0.0 9	0 0.0 0	0.0 0.0	0.0 0.0	199 379.0 316
19	延件体数 (件) 延使用時間(H)	80 162.0	0.0	0.0	98 193.0	21 24.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	199 379.0
	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H)	80 162.0 51 78.0	0 0.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0	98 193.0 127 95.5	21 24.0 129 181.0	0 0.0 0 0.0	0.0 0.0	0 0.0 9 16.0	0 0.0 0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0 0.0	199 379.0 316 370.5
19	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延使用時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38	0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56	0 0.0 0 0.0 16 8.5	0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 9 16.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	199 379.0 316 370.5 282 432.0
19	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0	0 0.0 0 0.0 16 8.5 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0
19	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延使体数 (件) 延使体数 (件)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0 78	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0	0 0.0 0 0.0 16 8.5 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0	0.0 0.0 0.0 0 0.0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375
19 20 21 22	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0	0 0.0 0 0.0 16 8.5 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0
19 20 21	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延使体体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使体体数 (件) 延使用時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5	0 0.0 0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0
19 20 21 22	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延使体数 (件) 延使体時間(H) 延使体数 (件) 延使体数 (件) 延使体数 (件) 延使体数 (件)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5	0 0.0 0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 22	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439
19 20 21 22 23 24	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延使体数 (件) 延使用時間(H) 延使体助時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延使用時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 164.0 652 295.0 285 184.0	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 22 2.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0.0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0
19 20 21 22 23	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延使体数 (件) 延使体時間(H) 延使体数 (件) 延使体数 (件) 延使体数 (件) 延使体数 (件)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5	0 0.0 0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 22	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439
19 20 21 22 23 24 25	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延性体数 (件) 延性体数 (件) 延使用時間(H) 延性体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延性体 (件) 延性体 (件) 延性体 (件) 延性体 (件) 延性体 (件)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0.0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 22 2.0 0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349
19 20 21 22 23 24	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延性体数 (件) 延性体数 (件) 延使用時間(H) 延性体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延性体体期時間(H) 延性体体的時間(H) 延性体体的時間(H) 延性体数 (件) 延使用時間(H) 延使使用時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 22 2.0 0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5
19 20 21 22 23 24 25	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使体体的 (件) 延使体体的 (件) 延使体体的 (件) 延使体体的 (件) 延使体体数 (件) 延使体体数 (件) 延使体体数 (件) 延使体体的 (件) 延使体体数 (件)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56	21 24.0 129 181.0 95 156.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 22 2.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107
19 20 21 22 23 24 25 26 27	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使体体的間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使体体的間(H) 延件体数 (件) 延使体体数 (件) 延使体体的間(H) 延件体数 (件) 延使体体的間(H) 延件体数 (件) 延使体体的間(H) 延使体体的間(H) 延接体体時間(H) 延接体体時間(H) 延接体体的間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 22 2.0 0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5
19 20 21 22 23 24 25 26	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使体体的 (件) 延使体体的 (件) 延使体体的 (件) 延使体体的 (件) 延使体体数 (件) 延使体体数 (件) 延使体体数 (件) 延使体体的 (件) 延使体体数 (件)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 11.5 1 4.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0.0 22 2.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	延件体数 (件) 延使体数 (件) 延使用時間(H) 延伸体数 (件) 延使体格時間(H) 延件体期時間(H) 延件体期時間(H) 延使体格時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延検体時数 (件) 延検体時数 (件) 延検体時数 (件) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 148.0 56 42.0	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 9 16.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103
19 20 21 22 23 24 25 26 27	延件体数 (件) 延使体数 (件) 延使用時間(H) 延伸体数 (件) 延使体体数 (件) 延使体体数 (件) 延使体体的時間(H) 延使体体的時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延性体体時間(H) 延性体体時間(H) 延性体体時間(H) 延性体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使使体用時数 (件) 延使核体時間(H) 延使核体時間(H) 延使核体時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 799.5 51 48.0 56 42.0	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 22 2.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	延件体数 (件) 延使体数 (件) 延使用時間(H) 延伸体数 (件) 延伸体数 (件) 延伸体期間(H) 延件体用時数 (件) 延使体用時数 (件) 延使体用時数 (件) 延使体体時間(H) 延伸体体時間(H) 延伸体体時間(H) 延伸体体時間(H) 延伸体体時間(H) 延伸体期時数 (件) 延伸体期時数 (件) 延使体用的数 (件) 延使体用的 (H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89 112.5	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 48.0 56 42.0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 9 16.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103 118.5
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体的時間(H) 延使体体的時間(H) 延使体体的時間(H) 延使体体的時間(H) 延使体体的時間(H) 延使体体的時間(H) 延使体体的時間(H) 延使体体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延接体時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 3.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0.	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89 112.5	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 48.0 56 42.0 10 2.0	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 9 16.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103 118.5
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	延件体数 (件) 延使用時間(H) 延伸体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延伸体期時間(H) 延件体期時間(H) 延伸体期時間(H) 延伸体時間(H) 延伸体期時間(H) 延伸体期時間(H) 延伸体期時間(H) 延伸体期時間(H) 延伸体期時間(H) 延使体明時間(H) 延使体明時間(H) 延使体明時間(H) 延後体明時間(H) 延後体明時間(H) 延後体明時間(H) 延後体明時間(H) 延後体明時間(H) 延後体明時間(H) 延後体明時間(H) 延後体明時間(H) 延後後期時間(H) 延後後期時間(H) 延後後期時間(H) 延後後期時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 33 2.5 58.5 58.5 6 58.5 6 70.0 70.0 70.0 70.0 70.0 70.0 70.0 70	0 0.0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0.0 0.	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89 112.5	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 11 48.0 56 42.0 10 2.0	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103 118.5
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	延件体数 (件) 延使体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使体体数 (件) 延性体格時間(H) 延件体格時間(H) 延性体格時間(H) 延性体格時間(H) 延性体格時間(H) 延性体格時間(H) 延使体格時間(H) 延使体格時間(H) 延使体格時間(H) 延使体格時間(H) 延使体格時間(H) 延使体時間(H) 延後使用時数 (件) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 3 2.5 6 5 6 10.5	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89 112.5	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 48.0 2.0 グラウェアクロール・ファイト・ファイト・ファイト・ファイト・ファイト・ファイト・ファイト・ファイト	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 9 16.0 0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103 118.5
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 5 走 年度 20	延件体数 (件) 延使体数 (件) 延使体数 (件) 延使体体数 (件) 延性体数 (件) 延性体格時間(H) 延性体体時間(H) 延性体体時間(H) 延性体格時間(H) 延性体格時間(H) 延性体格時間(H) 延性体格時間(H) 延性体格時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使体所時数 (件) 延使体体時間(H) 延使体体時間(H) 延使使体時間(H) 延使使体時間(H) 延使使体時間(H) 延使使体時間(H) 延使使体時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 33 2.5 58.5 58.5 6 58.5 6 70.0 70.0 70.0 70.0 70.0 70.0 70.0 70	0 0.0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0.0 0.	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89 112.5	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 11 48.0 56 42.0 10 2.0	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103 118.5
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 5 走 集	延件体数 (件) 延使体数 (件) 延使用時間(H) 延件体数 (件) 延使体体数 (件) 延性体格時間(H) 延件体格時間(H) 延性体格時間(H) 延性体格時間(H) 延性体格時間(H) 延性体格時間(H) 延使体格時間(H) 延使体格時間(H) 延使体格時間(H) 延使体格時間(H) 延使体格時間(H) 延使体時間(H) 延後使用時数 (件) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H) 延後検用時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 3 2.5 6 29 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 78 30.5 16 6.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 SXM-GS	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89 112.5 アルバッ	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 48.0 2.0 2.0	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0 22 2.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103 118.5
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 5 走 年度 20 21	延件体数 (件) 延供体数 (件) 延使体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体用時数 (件) 延使体用時数 (件) 延使体体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延使檢用時数 (件) 延使檢用時數 (件) 延使体用時数 (件) 延使体用時数 (件) 延伸体用時数 (件)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 SXM-GS	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89 112.5 \(\tau\) \	21 24.0 129 181.0 95 156.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 48.0 56 42.0 10 2.0 グ・ファー 応生	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103 118.5 12月21日 計 739 3,404.0 625 2,152.0 636
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 5 走 年度 20	延件体数 (件) 延使体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体用時数 (件) 延使体用時数 (件) 延使体体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延伸体期間(H) 延使棒用時数 (件) 延使棒用時間(H) 延使棒用時間(H) 延世体用時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 SXM-GS	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89 112.5 アルバッ	21 24.0 129 181.0 95 156.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 48.0 56 42.0 10 2.0 か 生	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103 118.5 12月21日 第十 739 3,404.0 625 2,299.0
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 5 走 年度 20 21	延件体数 (件) 延使体基数 (件) 延使体基数 (件) 延使体格時間(H) 延使体格時数 (件) 延使体体用转数 (件) 延使校体用转数 (件) 延使校体用转数 (件) 延使校体用转数 (件) 延校校用转数 (件) 延校校用转数 (件) 延校校用转数 (件) 延校校用转数 (件) 延校校用转数 (件) 延校体用转数 (件) 延校体用转数 (件) 延校体用转数 (件) 延校体用转数 (件) 延校体用转数 (件) 延校体用转数 (件) 延体体用转数 (件) 延体体用转数 (件) 延体体用转数 (件) 延体体用转数 (件) 延体体用转数 (件)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0.0 3 2.5 9 分析装置 教育 0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 78 30.5 16 6.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89 112.5 7 \(\text{N} \text{S} \) \(\text{T} \) 739 3,404.0 625 2,152.0 631 2,244.0 485	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 10 2.0 グ たを 42.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103 118.5 12月21日 計 739 3,404.0 625 2,299.0 494
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 5 走度 20 21 22 23	延件体数 (件) 延供体期間(H) 延使体期間(H) 延使体期間(H) 延使体期間(H) 延使核期間(H) 延接核期間(H) 延接核期間(H) 延接核期間(H) 延接核期間(H) 延接核期間(H) 延接核期間(H) 延接核期間(H) 延延核体期間(H) 延延核体期間(H) 延延体体期間(H) 延延体体期間(H) 延延体体期時間(H) 延延体体期時間(H) 延延体体期時間(H) 延延体体期時間(H) 延延体体期時間(H)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 78 30.5 16 6.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 SXM-GS	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89 112.5 アルバッ	21 24.0 129 181.0 95 156.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 48.0 56 42.0 10 2.0 か 生	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103 118.5 12月21日 第十 739 3,404.0 625 2,299.0
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 5 走 年度 20 21 22	延件体数 (件) 延使体基数 (件) 延使体基数 (件) 延使体格時間(H) 延使体格時数 (件) 延使体体用转数 (件) 延使校体用转数 (件) 延使校体用转数 (件) 延使校体用转数 (件) 延校校用转数 (件) 延校校用转数 (件) 延校校用转数 (件) 延校校用转数 (件) 延校校用转数 (件) 延校体用转数 (件) 延校体用转数 (件) 延校体用转数 (件) 延校体用转数 (件) 延校体用转数 (件) 延校体用转数 (件) 延体体用转数 (件) 延体体用转数 (件) 延体体用转数 (件) 延体体用转数 (件) 延体体用转数 (件)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 3 2.5 分析装置 教育 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 78 30.5 16 6.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89 112.5 7 / / / / / / 739 3,404.0 625 2,152.0 631 2,244.0 485 2,206.5	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 48.0 10 2.0 グラケーファール 応生 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103 118.5 12月21日 計 739 3,404.0 625 2,299.0 494 2,389.5
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 5 走度 20 21 22 23	延件体数 (件) 延供体期間(H) 延供体期間(H) 延供体期間(H) 延供体期間(H) 延供体期間(H) 延供体期間(H) 延供体期間(H) 延供体期間(H) 延供体用的数 (件) 延使性体用的数 (件) 延使性体用数 (件) 延使性体用数 (件) 延使性体用数 (件) 延延性体用数 (件) 延延性体用的数 (件) 延延性体用的数 (件) 延延性体用的数 (件) 延延性体的 (件)	80 162.0 51 78.0 29 64.0 38 42.0 32 58.5 6 11.5 1 4.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 78 30.5 16 6.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	98 193.0 127 95.5 142 203.5 97 134.0 171 164.0 652 295.0 285 184.0 218 253.0 272 293.0 56 64.5 226 330.0 89 112.5 アルペッ エ 739 3,404.0 625 2,152.0 631 2,244.0 485 2,206.5 665	21 24.0 129 181.0 95 156.0 56 49.0 94 82.5 37 46.5 131 120.0 47 38.0 77 99.5 51 48.0 2.0 2.0 次生 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 16 8.5 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 9 16.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	199 379.0 316 370.5 282 432.0 191 225.0 375 335.5 711 359.0 439 310.0 269 293.0 349 392.5 107 112.5 282 372.0 103 118.5 12月21日 計 739 3,404.0 625 2,152.0 636 2,299.0 494 2,389.5 665

26	延検体数 (件)	0	0	0	748	0	0	0	0	0	0	89	837
26	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	2,026.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.5	2,092.0
27	延検体数 (件)	0	0	0	1,772	0	0	0	6	0	0	96	1,874
21	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	3,653.0	0.0	0.0	0.0	11.5	0.0	0.0	66.5	3,731.0
20	延検体数 (件)	0	0	0	1,197	0	0	0	53	0	0	72	1,322
28	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	2,843.0	0.0	0.0	0.0	166.0	0.0	0.0	124.5	3,133.5
20	延検体数 (件)	0	0	0	2,117	0	0	85	0	0	0	102	2,304
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	3,154.0	0.0	0.0	227.0	0.0	0.0	0.0	100.5	3,481.5

6-1 走査型プローブ顕微鏡システム (SPI3800 エスアイアイ製)

納入年月日 平成10年12月18日 管理換年月日 平成12年1月28日(工)

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
	延検体数	(件)	24	0	7	166	0	0	0	0	0	0	0	197
15	延使用時間	(H)	25.0	0.0	34.5	184.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	243.5
16	延検体数	(件)	0	0	0	324	0	0	0	0	0	0	0	324
16	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	497.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	497.5
17	延検体数	(件)	0	0	0	284	10	0	0	0	0	0	0	294
17	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	549.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	574.5
18	延検体数	(件)	0	0	0	138	0	0	0	0	0	0	0	138
18	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	235.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	235.0
19	延検体数	(件)	0	0	0	249	0	0	0	0	0	0	0	249
19	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	417.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	417.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	484	0	0	0	0	0	0	0	484
20	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	1,133.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,133.0
21	延検体数	(件)	0	0	0	565	0	0	0	0	0	0	0	565
21	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	1,233.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,233.5
22	延検体数	(件)	0	0	0	724	0	0	0	2	0	0	0	726
22	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	2,193.5	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	2,204.0
23	延検体数	(件)	0	0	0	342	0	0	0	0	0	0	0	342
23	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	926.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	926.5
2.	延検体数	(件)	0	0	0	198	0	0	0	0	0	0	0	198
24	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	381.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	381.0
26	延検体数	(件)	0	0	0	67	0	0	0	0	0	0	0	67
25	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	186.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	186.0

走査型プローブ顕微鏡システム(AFM-5300, AFM5400 日立ハイテクサイエンス製) 延検体数 (件) 0 0 0 232 8 0 延使用時間(H) 0.0 0.0 0.0 497.5 36.5 0.0 延検体数 (件) 0 0 0 318 62 0 6-2 納入年月日 平成26年3月27日 240 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 534.0 384 0 0 0 . 0 延使用時間(H) 459.0 0.0 0.0 0.0 90.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 18.0 567.0 延検体数 (件) 延使用時間(H) 377 40 0 0 0 422 28 0.0 0.0 0.0 505.5 64.0 0.0 0.0 16.0 0.0 0.0 0.0 585.5 延検体数 (件) 延使用時間(H) 790 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0 665 125 0 0 29 779.5 0.0 0.0 954.5 0.0 175.0

年度	区 分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
16	延検体数 (件)	0	0	28	1,182	43	0	0	0	0	0	0	1,253
15	延使用時間(H)	0.0	0.0	30.5	543.5	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	593.0
16	延検体数 (件)	0	0.	1	671	88	0	0	0	0	0	0	760
16	延使用時間(H)	0.0	0.0	2.0	573.0	40.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	615.5
17	延検体数 (件)	0	0	17	102	57	0	0	0	0	15	0	191
17	延使用時間(H)	0.0	0.0	13.5	353.5	32.5	0.0	0.0	0.0	0.0	31.0	0.0	430.5
18	延検体数 (件)	0	0	4	179	61	0	0	2	0	18	0	264
18	延使用時間(H)	0.0	0.0	15.0	305.0	45.5	0.0	0.0	4.0	0.0	21.0	0.0	390.5
19	延検体数 (件)	0	0	108	578	95	0	0	0	0	9	0	790
19	延使用時間(H)	0.0	0.0	129.5	284.5	64.5	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	0.0	494.5
20	延検体数 (件)	0	0	184	304	39	0	0	21	0	.0	0	548
20	延使用時間(H)	0.0	0.0	131.5	219.5	34.5	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	392.5
21	延検体数 (件)	0	0	45	277	68	0	0	0	0	0	0	390
21	延使用時間(H)	0.0	0.0	99.0	300.5	58.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	457.5
22	延検体数 (件)	12	0	41	237	27	0	0	0	0	0	0	317
22	延使用時間(H)	4.0	0.0	86.5	226.5	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	345.0
22	延検体数 (件)	14	0	33	200	18	0	0	0	0	32	28	325
23	延使用時間(H)	4.0	0.0	86.0	189.0	21.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	13.5	326.0
24	延検体数 (件)	0	0	20	115	124	0	0	0	0	0	78	337
24	延使用時間(H)	0.0	0.0	118.5	173.0	120.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.0	455.0
25	延検体数 (件)	0	0	120	150	19	0	0	0	0	0	35	324
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	452.5	419.5	29.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.0	923.0
26	延検体数 (件)	0	0	19	59	66	0	0	0	0	10	56	210
26	延使用時間(H)	0.0	0.0	83.0	149.5	60.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	58.0	355.5
27	延検体数 (件)	4	0	36	204	62	0	0	3	0	0	48	357
21	延使用時間(H)	3.0	0.0	78.0	284.5	65.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	74.5	509.5
20	延検体数 (件)	0	0	0	239	179	4	0	64	0	23	46	555
28	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	326.0	133.5	0.0	0.0	49.5	0.0	33.5	28.5	571.0
29	延検体数 (件)	0	0	18	185	280	0	15	0	16	0	34	548
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	8.5	192.0	164.5	0.0	10.0	0.0	16.0	0.0	24.0	415.0

超高速度度撮影装置,高速度ビデオ装置,光増幅装置,熱画像解析装置,パルスジェネレータ,レーザー照明装置,PIVシステム

ハイパービジョン,高速度ビデオカメラシステム,サーモカメラ

納入年月日 平成11年3月19日 納入年月日 平成23年7月1日

年度	区 分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
1.5	延検体数 (件)	0	0	0	161	0	0	.0	0	0	0	0	161
15	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	3,364.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,364.0
16	延検体数 (件)	0	0	0	51	1	0	0	0	0	0	0	52
16	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	9,541.0	72.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9,613.0
17	延検体数 (件)	0	0	0	2,050	70	0	0	0	0	0	0	2,120
17	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	4,992.0	168.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5,160.0
18	延検体数 (件)	0	0	0	3,940	10	0	0	0	0	0	0	3,950
10	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	9,456.0	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9,480.0
19	延検体数 (件)	0	0	0	5,160	0	0	0	0	0	0	0	5,160
19	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	12,384.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12,384.0
20	延検体数 (件)	10	0	0	2,650	0	0	0	0	0	0	0	2,660
20	延使用時間(H)	24.0	0.0	0.0	6,360.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6,384.0
21	延検体数 (件)	0	0	0	2,290	0	0	0	0	0	0	0	2,290
21	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	5,496.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5,496.0
22	延検体数 (件)	0	0	0	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000
22	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	4,800.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,800.0
23	延検体数 (件)	0	0	0	4,030	0	0	0	0	0	0	0	4,030
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	9,672.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9,672.0
24	延検体数 (件)	0	0	0	7,460	0	0	0	0	0	0	0	7,460
24	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	17,904.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17,904.0
25	延検体数 (件)	0	0	0	5,630	0	0	0	0	0	0	0	5,630
25	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	13,512.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13,512.0
26	延検体数 (件)	0	0	0	1,240	0	0	0	0	0	0	0	1,240
20	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	2,976.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,976.0
27	延検体数 (件)	0	0	0	4,080	290	0	0	60	0	0	0	4,430
21	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	9,792.0	696.0	0.0	0.0	144.0	0.0	0.0	0.0	10,632.0
20	延検体数 (件)	0	0	0	5,250	0	0	0	0	0	0	0	5,250
28	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	11,592.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11,592.0
20	延検体数 (件)	0	0	0	4,360	370	0	0	0	0	0	0	4,730
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	11,760.0	888.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12,648.0

9-1 絶対PL量子収率測定装置 (浜松ホトニクス製)

納入年月日 平成23年8月26日

年度	区	分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数	(件)	0	0	0	188	0	0	0	8	0	0	0	196
23	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	144.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	147.0
24	延検体数	(件)	0	0	0	235	0	0	0	9	0	0	0	244
24	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	144.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	146.0
25	延検体数	(件)	0	0	0	264	0	0	0	0	0	0	0	264
25	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	205.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	205.0
26	延検体数	(件)	0	0	0	323	0	0	0	3	0	0	5	331
26	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	180.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	5.5	186.5
27	延検体数	(件)	0	0	0	318	0	0	0	4	0	0	42	364
21	延使用時間	l(H)	0.0	0.0	0.0	181.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	12.0	194.5
28	延検体数	(件)	0	0	0	128	1	0	0	0	0	0	2	131
28	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	221.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	225.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	91	0	0	0	0	0	0	0	91
29	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	56.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.0

9-2 蛍光寿命測定装置 (浜松ホトニクス製)

納入年月日 平成23年8月26日

年度	区 分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数 (件)	0	0	0	53	0	0	0	0	0	0	0	53
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	136.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	136.0
2.1	延検体数 (件)	0	0	0	216	1	0	0	0	0	0	0	217
24	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	226.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	232.0
2.5	延検体数 (件)	0	0	0	294	0	0	0	0	0	0	0	294
25	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	376.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	376.0
24	延検体数 (件)	0	0	0	243	0	0	0	2	0	0	7	252
26	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	231.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	9.0	240.5
27	延検体数 (件)	0	0	0	77	0	0	0	0	0	0	3	80
27	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	123.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	129.5
20	延検体数 (件)	0	.0	0	102	0	0	0	37	0	0	0	139
28	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	491.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	511.0
20	延検体数 (件)	0	0	0	77	0	0	8	0	0	0	0	85
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	128.5	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	130.5

9-3 分光蛍光光度計 (日本分光製)

納入年月日 平成23年8月2日

年度	区分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数 (件)	0	0	0	352	0	0	0	0	0	0	0	352
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	318.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	318.0
24	延検体数 (件)	0	0	0	652	0	3	0	0	0	0	0	655
24	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	605.5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	606.5

25	延検体数 (件)	0	0	46	774	478	0	0	0	0	0	0	1,298
25	延使用時間(H)	0.0	0.0	12.0	609.0	92.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	712.0
26	延検体数 (件)	0	0	0	674	66	0	0	0	0	0	0	740
20	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	539.0	55.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	594.0
27	延検体数 (件)	0	0	1	610	1	0	0	0	0	0	0	612
27	延使用時間(H)	0.0	0.0	3.5	360.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	365.5
28	延検体数 (件)	0	0	0	320	115	0	0	22	0	0	0	457
20	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	215.0	23.0	0.0	0.0	15.5	0.0	0.0	0.0	253.5
29	延検体数 (件)	5	0	0	301	328	0	51	0	0	0	0	685
29	延使用時間(H)	2.0	0.0	0.0	181.0	27.5	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	217.5

10 誘導結合プラズマ発光分析装置 (ULTIMA2 堀場製作所製)

納入年月日 平成20年10月15日

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
20	延検体数	(件)	0	88	0	2,044	396	0	0	0	0	0	0	2,528
20	延使用時間	引(H)	0.0	53.5	0.0	291.0	57.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	401.5
21	延検体数	(件)	28	351	0	2,946	203	0	0	0	0	0	0	3,528
21	延使用時間	l(H)	30.0	191.0	0.0	532.5	65.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	819.0
22	延検体数	(件)	101	30	0	13,229	399	0	0	0	0	0	0	13,759
	延使用時間	引(H)	46.0	32.5	0.0	1,241.5	111.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,431.5
22	延検体数	(件)	77	21	0	15,016	92	0	231	0	0	0	0	15,437
23	延使用時間	引(H)	46.5	14.5	0.0	1,052.0	53.0	0.0	44.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,210.0
24	延検体数	(件)	127	20	0	8,276	78	0	502	0	0	0	0	9,003
24	延使用時間	引(H)	42.0	11.0	0.0	667.0	16.0	0.0	64.0	0.0	0.0	0.0	0.0	800.0
25	延検体数	(件)	1,115	0	0	5,227	0	0	0	0	0	0	0	6,342
25	延使用時間	引(H)	182.0	0.0	0.0	659.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	845.0
26	延検体数	(件)	1,073	0	0	8,735	26	0	0	0	0	0	0	9,834
26	延使用時間	引(H)	140.0	0.0	0.0	747.5	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	896.5
27	延検体数	(件)	735	0	0	5,753	48	.0	0	0	.0	0	174	6,710
27	延使用時間	引(H)	165.0	0.0	0.0	603.0	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.5	813.5
20	延検体数	(件)	1,023	0	0	1,003	98	98	2	0	0	0	86	2,310
28	延使用時間	引(H)	163.0	0.0	0.0	243.5	31.0	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	11.5	458.0
20	延検体数	(件)	1,283	0	0	2,627	0	0	0	0	0	0	86	3,996
29	延使用時間	引(H)	155.0	0.0	0.0	545.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	715.5

11 有機微量元素分析装置 (CHNコーダー JM10 ジェイ・サイエンス・ラボ製)

納入年月日 平成23年8月4日

(CHNコーダー MT-6 ヤナコ分析工業製 平成13年3月23日納入 平成23年度 廃棄) 年度 X 教育 地域 医 連農 流域 生命セ 情報メ 連創 他 計 分 応生 T 延検体数 (件) 延使用時間(H) 354 310 39 780 65 12 0 0 0 0 0 0 15 12.5 116.5 295.0 0.0 5.0 0.0 0.0 32.0 0.0 0.0 0.0 129.0

10	延検体数 (件)	287	0	88	310	135	0	0	156	0	0	0	976
16	延使用時間(H)	90.0	0.0	68.0	144.5	37.5	0.0	0.0	70.5	0.0	0.0	0.0	410.5
17	延検体数 (件)	72	0	39	525	79	0	0	34	0	0	0	749
17	延使用時間(H)	25.0	0.0	30.0	212.0	33.0	0.0	0.0	20.5	0.0	0.0	0.0	320.5
10	延検体数 (件)	375	0	90	685	31	0	0	161	0	0	0	1,342
18	延使用時間(H)	106.5	0.0	41.0	229.0	10.5	0.0	0.0	34.0	0.0	0.0	0.0	421.0
19	延検体数 (件)	217	0	79	1,274	45	0	0	95	0	0	0	1,710
19	延使用時間(H)	69.5	0.0	32.0	415.0	14.0	0.0	0.0	23.0	0.0	0.0	0.0	553.5
20	延検体数 (件)	392	0	124	1,132	132	0	0	0	103	0	0	1,883
20	延使用時間(H)	95.0	0.0	43.0	429.0	41.5	0.0	0.0	0.0	35.5	0.0	0.0	644.0
21	延検体数 (件)	441	0	106	597	23	0	478	0	0	0	0	1,645
21	延使用時間(H)	116.5	0.0	45.0	261.0	7.0	0.0	128.5	0.0	0.0	0.0	0.0	558.0
22	延検体数 (件)	570	0	42	931	216	0	527	2	0	0	0	2,288
22	延使用時間(H)	164.5	0.0	25.0	327.5	65.0	0.0	136.5	1.0	0.0	0.0	0.0	719.5
22	延検体数 (件)	746	0	37	948	354	0	535	0	0	0	0	2,620
23	延使用時間(H)	203.5	0.0	9.0	338.0	88.5	0.0	134.5	0.0	0.0	0.0	0.0	773.5
24	延検体数 (件)	630	0	25	670	159	0	73	0	0	0	0	1,557
24	延使用時間(H)	217.5	0.0	16.5	355.5	23.5	0.0	21.5	0.0	0.0	0.0	0.0	634.5
25	延検体数 (件)	123	0	0	799	0	0	74	0	0	0	0	996
25	延使用時間(H)	42.0	0.0	0.0	400.0	0.0	0.0	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	459.0
26	延検体数 (件)	378	0	0	935	178	0	0	0	0	0	0	1,491
26	延使用時間(H)	130.5	0.0	0.0	420.5	61.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	612.0
27	延検体数 (件)	428	0	0	853	9	.0	0	9	.0	0	0	1,299
27	延使用時間(H)	144.5	0.0	0.0	393.5	5.0	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	550.0
20	延検体数 (件)	339	0	0	677	90	0	0	0	0	0	0	1,106
28	延使用時間(H)	90.0	0.0	0.0	292.5	29.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	412.0
20	延検体数 (件)	222	0	0	374	88	0	0	52	0	0	0	736
29	延使用時間(H)	73.0	0.0	0.0	160.5	46.0	0.0	0.0	19.5	0.0	0.0	0.0	299.0

12 フーリエ変換赤外分光光度計 (Spectrum100FT-IR システム パーキンエルマー社製)

納入年月日 平成23年3月22日

管理換年月日 平成8年10月14日(農) 平成23年度廃棄) (FT-IR SYSTEM2000 パーキンエルマー社製 納入年月日 平成5年3月10日 生命セ 情報メ 年度 教育 地域 応生 連農 流域 連創 他 計 延検体数 (件) 312 150 648 49 137 0 0 0 0 15 延使用時間(H) 593.0 67.0 0.0 0.0 59.0 0.0 0.0 19.0 0.0 0.0 448.0 0.0 延検体数 (件) 117 0 0 594 73 0 0 91 0 0 0 875 16 延使用時間(H) 68.5 0.0 0.0 682.5 35.0 0.0 0.0 31.5 0.0 0.0 0.0 817.5 延検体数 (件) 延使用時間(H) 28 0 0 479 148 0 0 0 677 17 16.5 327.5 75.5 7.0 426.5 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0

956.5	Tarata da la												
18	延検体数 (件)	2	0	0	315	39	0	0	2	0	0	0	358
10	延使用時間(H)	1.5	0.0	0.0	359.0	31.0	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	0.0	399.0
4.0	延検体数 (件)	0	0	0	363	17	0	0	0	0	0	0	380
19	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	170.5	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0,0	0.0	186.0
-	延検体数 (件)	6	0.0	0.0	163	21	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	190
20													
577.59	延使用時間(H)	2.5	0.0	0.0	196.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	204.5
21	延検体数 (件)	84	0	0	158	40	1	0	0	0	0	0	283
21	延使用時間(H)	35.0	0.0	0.0	172.5	13.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	221.5
	延検体数 (件)	0	0	0	148	43	0	0	0	0	0	0	191
22													
	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	155.5	21.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	177.0
22	延検体数 (件)	10	0	1	114	1,532	0	0	0	0	0	0	1,657
23	延使用時間(H)	16.0	0.0	1.5	44.0	132.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	193.5
	延検体数 (件)	1	0	0	152	323	0	0	0	0	0	0	476
24													
	延使用時間(H)	1.0	0.0	0.0	144.0	84.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	229.0
25	延検体数 (件)	0	0	51	277	63	0	0	3	0	0	0	394
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	32.0	334.0	20.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	386.0
	延検体数 (件)	1	0	26	216	209	0	0	0	0	0	0	452
26	延使用時間(H)	0.5	0.0	156.5	229.0	109.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	495.5
_		100000		1/2 1400 (1400)					1,935,91				
27	延検体数 (件)	132	0	0	178	215	0	0	4	0	0	0	529
-	延使用時間(H)	60.5	0.0	0.0	64.0	125.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	251.5
	延検体数 (件)	2	0	0	36	399	0	0	0	0	0	0	437
28	延使用時間(H)	1.0	0.0	0.0	28.0	219.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	248.0
-	延検体数 (件)	0	0.0	0.0	117	513	0.0	15	0.0	0.0	0.0	0.0	645
29													
	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	104.5	282.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	393.0
0.00	2022												
12-2	フーリエ変換型顕微	故赤外分光	光度計(FT-IR 460	DPLUS 日	本分光製)			ýg Hi	内入年月日	平成15年	三1月10日
年度	区分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
十皮													
15	延検体数 (件)	137	0	0	312	150	0	0	49	0	0	0	648
5.50	延使用時間(H)	67.0	0.0	0.0	448.0	59.0	0.0	0.0	19.0	0.0	0.0	0.0	593.0
1.2	延検体数 (件)	256	0	0	130	0	0	0	0	0	0	0	386
16	延使用時間(H)	200.0	0.0	0.0	104.0	0.0	0,0	0,0	0.0	0.0	0,0	0.0	304.0
	延検体数 (件)	123	0.0	0.0	93	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	216
17													
	延使用時間(H)	39.5	0.0	0.0	76.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	115.5
1.0	延検体数 (件)	644	0	0	134	18	0	0	46	0	0	0	842
18	延使用時間(H)	156.0	0.0	0.0	103.0	4.0	0.0	0.0	16.5	0.0	0.0	0.0	279.5
	延検体数 (件)	632	0	0	331	9	0	0	36	0	0	0	1,008
19													
3350	延使用時間(H)	152.5	0.0	0.0	187.5	2.0	0.0	0.0	16.5	0.0	0.0	0.0	358.5
20	延検体数 (件)	735	0	0	163	0	0	0	167	0	0	0	1,065
20	延使用時間(H)	242.5	0.0	0.0	181.0	0.0	0.0	0.0	31.0	0.0	0.0	0.0	454.5
-	延検体数 (件)	561	0	0	168	17	32	0	0	0	0	0	778
21	延使用時間(H)	237.0	0.0	0.0	104.0	17.5	17.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	376.0
		1	71.56350.0						1.55-0.55	11/27/03/02	(7.2.7.1)	115.000	
22	延検体数 (件)		0	0	112	5	0	0	0	0	0	0	776
		659						***************************************					
	延使用時間(H)	227.5	0.0	0.0	74.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	303.0
3,450,65		227.5	0.0	0.0	74.0	1.5				0.0		0.0	303.0
23	延検体数 (件)	227.5 595	0.0	0.0	74.0 87	1.5 108	0	0	1	0.0	0	0	303.0 791
23	延検体数 (件) 延使用時間(H)	227.5 595 175.0	0.0 0 0.0	0.0 0 0.0	74.0 87 130.0	1.5 108 20.5	0.0	0.0	0.5	0.0 0 0.0	0.0	0.0	303.0 791 326.0
	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件)	227.5 595 175.0 470	0.0 0 0.0 0	0.0 0 0.0 0	74.0 87 130.0 137	1.5 108 20.5 0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.5 0	0.0 0 0.0 0	0.0 0.0	0.0 0.0	303.0 791 326.0 607
23	延検体数 (件) 延使用時間(H)	227.5 595 175.0	0.0 0 0.0	0.0 0 0.0	74.0 87 130.0	1.5 108 20.5	0.0	0.0	0.5	0.0 0 0.0	0.0	0.0	303.0 791 326.0
24	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件)	227.5 595 175.0 470	0.0 0 0.0 0	0.0 0 0.0 0	74.0 87 130.0 137	1.5 108 20.5 0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.5 0	0.0 0 0.0 0	0.0 0.0	0.0 0.0	303.0 791 326.0 607
	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件)	227.5 595 175.0 470 138.0 381	0.0 0 0.0 0 0.0	0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174	1.5 108 20.5 0 0.0 4	0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0.0	0.5 0 0.0 4	0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563
24	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延使用時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0	0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0	0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0	0 0.0 0 0.0 0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	0.5 0 0.0 4 3.0	0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0
24	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	0.5 0 0.0 4 3.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743
24	延検体数 (件) 延使用時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0.5 0 0.0 4 3.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5
24 25 26	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0	0.5 0 0.0 4 3.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743
24	延検体数 (件) 延使用時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5
24 25 26	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0,0 0 0,0 0 0,0 0 0,0 0 0,0 0 0,0 0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0 0	0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0 0	0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5
24 25 26	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延使体数 (件) 延使原用時間(H) 延検体数 (件) 延検体時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5
24 25 26 27	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延使体数 (件) 延使体数 (件) 延検体数 (件) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0 0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5
24 25 26 27 28	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体財時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5
24 25 26 27	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延使体数 (件) 延使体数 (件) 延検体数 (件) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0 0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5
24 25 26 27 28	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体財時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5
24 25 26 27 28 29	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 153 213.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5
24 25 26 27 28 29	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体財時間(H) 延検体数 (件) 延校体財時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 153 213.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5
24 25 26 27 28 29	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体が (件) 延使用時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 213.0 ReactIR41	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	の 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5
24 25 26 27 28 29 12-3	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期時間(H) 延検体期時間(H) 延検体時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期時間(H) 延検体期時間(H) 延検体期時間(H) 延検体期時間(H) 延検体期時間(H) 延検体期時間(H) 延検体制時間(H) 延検は用時間(H) 延使用時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 対育	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 213.0 ReactIR41 T.	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0	0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5
24 25 26 27 28 29	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体が (件) 延使用時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 213.0 ReactIR41	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	の 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期時間(H) 延検体期時間(H) 延検体期時間(H) 延検体期時間(H) 延検体財時間(H) 延検体数 (件) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延使用時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 対育 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 153 213.0 ReactIR41 T.	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0	0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563.0 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5
24 25 26 27 28 29 12-3	延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体時間(H) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延使用時間(H) 延逆世間(H) 延逆世間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 デム (プロ 教育 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 153 213.0 ReactIR41 T. 11 2.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 ±ンサー 連農 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0 0.0 2 十社製) 生命セ 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体時間(H) 延検体はのでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 デム (プロ 教育 0 0.0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 123 149.0 123 149.5 135 119.5 153 213.0 ReactIR41 T. 11 2.0 2 2.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0 0.0 2 生命セ 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16	延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時時間(H) 延検体時間(H) 延接性時間(H) 延接性時間(H) 延接性時間(H) 延接性時間(H) 延接性時間(H) 延接性時間(H) 延接性時間(H) 近接性時間(H) 近接性時間(H) 近接性時間(H)	227.5 595 175.0 470 138.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 デム (プロ 教育 0 0.0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 153 213.0 ReactIR41 T. 11 2.0 2 2.0 13	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0 0.0 0 生命セ 0.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16	延検体数 (件) 延使用時間(H) 延検体数 (件) 延検体時間(H) 延検体はのでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 デム (プロ 教育 0 0.0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 123 149.0 123 149.5 135 119.5 153 213.0 ReactIR41 T. 11 2.0 2 2.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0 0.0 2 生命セ 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16 17	延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体時間(H) 延接使用時間(H) 延接使用時間(H) 延接使用時間(H) 延接使用時間(H) 延接使用時間(H) 延接使用時間(H) 延接使用時間(H) 延接使用月(上日数(日) 延接時間人数(人) 延貸可用人数(日) 延貸可用人数(日)	227.5 595 175.0 470 138.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 デム (プロ 教育 0 0.0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 153 213.0 ReactIR41 T. 11 2.0 2 2.0 13	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1.0 0 0.0 0 0.0 2 4 1.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16	延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体時間(H) 延後使用・数 (件) 延後使用・数 (件) 延後使用・数 (件) 延後使用・数 (件) 延後使用・数 (件) 延後使用・間(H) 延後使用・目し出数(日) 延貸時用し出数(日) 延貸時用し出数(日) 延貸日出し日数(日) 延貸日出し日数(日)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 ぶ グロ もの 0.0 0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 153 213.0 ReactIR41 T. 11 2.0 2 2.0 13 2.0 53	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1.0 0 0.0 0 0.0 生命セ 0 0.0 0 0.0 1 1.0 1.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 1 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5 =3月24日 計 11 2.0 2 2.0 13 2.0 64
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16 17	延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体時間(H) 延使使用時数 (件) 延使使用時間(H) 延使使用時間(H) 延使使用時間(H) 延使使用時間(H) 延使使用時間(H) 延使使用時間(H) 延使使用時間(H) 延使使用人数(人) 延貸世用人数(日) 延使貸し日人数(日) 延使貸し日人数(日) 延使質し日人数(日) 延使質し日人数(日)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 ※ 数育 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 213.0 ReactIR41 L 11 2.0 2 2.0 13 2.0 53 6.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1.0 0 0.0 0.0 0 生命セ 0 0.0 0 0.0 11 7.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5 288.5 11 2.0 2 2 2.0 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16 17 18	延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体時間(H) 延使使用も数 (件) 延使使用も数 (件) 延使使用時間(H) 化学反応 分 延貸時用し出数(人) 延貸時用し出数(人) 延貸時用し出数(人) 延貸時用人数(月) 延貸時用人数(月) 延貸日用人数(月)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 か グロ 0.0 0 0.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 213.0 ReactIR41 T. 11 2.0 2 2.0 13 2.0 53 6.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 1 1 1 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5 11 2.0 2 2.0 13 2.0 64 13.0
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16 17	延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体時間(H) 延使使用時数 (件) 延使使用時間(H) 延使使用時間(H) 延使使用時間(H) 延使使用時間(H) 延使使用時間(H) 延使使用時間(H) 延使使用時間(H) 延使使用人数(人) 延貸世用人数(日) 延使貸し日人数(日) 延使貸し日人数(日) 延使質し日人数(日) 延使質し日人数(日)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 ※ 数育 0 0.0 0 0.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 213.0 ReactIR41 L 11 2.0 2 2.0 13 2.0 53 6.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1.0 0 0.0 0.0 0 生命セ 0 0.0 0 0.0 11 7.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5 288.5 11 2.0 2 2 2.0 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16 17 18 19	延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体時間(H) 延検は時間(H) 延接はいるスラ	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 か グロ 0.0 0 0.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 213.0 ReactIR41 T. 11 2.0 2 2.0 13 2.0 53 6.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 1 1 1 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5 11 2.0 2 2.0 13 2.0 64 13.0
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16 17 18	延検体数 (件) 延検体数 (件) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時数 (件) 延検体時数 (件) 延検体時数 (件) 延検体時数 (件) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検体時間(H) 延検使用時数 (件) 延後使用時間(H) 延後使用時数 (件) 延後使用時間(H) 延後使用時数 (件) 延後使用時間(H) 延後使用し出数(人) 延後世間し出数(人) 延後時間し出数(人) 延後時間と対数(人) 延後時間、出入数(人) 延後時間、出入数(人) 延後時間、出入数(人) 延後時間、出入数(人) 延後時間、出入数(人) 延後時間、出入数(人)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 デム (プロ の 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 135 213.0 ReactIR41 T 11 2.0 2 2 2.0 13 2.0 13 6.0 1 1.0 0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 1 1 7 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5 = 3月24日 計 11 2.0 2 2.0 13 2.0 64 13.0 0
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16 17 18 19	延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体用時間(H) 延検体時間(H) 延検体時数 (件) 延検体時数 (件) 延検体時数 (件) 延検体時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検使用時間(H) を受し、 (本) を受し、 (本) を受し、 (本) を受け、 (本) を使け、 (本) を受け、 (本) を受け、 (本) を受け、 (本) を受け、 (本) を受け、 (本) を受け、 (本) を使け、 (本) を受け、 (本)	227.5 595 175.0 470 138.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 ※ 育 0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 213.0 ReactIR41 T 11 2.0 2 2 2.0 13 2.0 53 6.0 1 1.0 0 0.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1 1.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 1 1 7.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5 = 3月24日 計 11 2.0 2 2.0 13 2.0 64 13.0 0 0.0
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16 17 18 19 20	延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時間(H) 延検使用時間(H) 延検使用時間(H) 延検使用時間(H) 延検使用時間(H) 延後使用出力 近後使用時間(H) 延後使用時間(H) 延後使用人し数(人) 延後使用人出数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後日期 近後日期 近後日期 近後日期 近後日期 近後日期 近後日期 近後日期 近	227.5 595 175.0 470 138.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 か の 0.0 0 0 0.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 213.0 ReactIR41 I 2.0 2 2.0 13 2.0 53 6.0 1 1.0 0 0.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1.0 0 0.0 0.0 0.0 2 - 社製) 生命セ 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの	の 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5 =3月24日 計 11 2.0 64 13.0 1.0 0 0.0
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16 17 18 19	延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時間(H) 延検使用時間(H) 延校使用時間(H) 延校使用時間(H) 延校使用時間(H) 延校使用時間(H) 延校使用時間(H) 延校使用月出し数(人) 延ば使用月出し数(人) 延後時間し出数(人) 延後時間し出数(人) 延後時間し出入数(日) 延後時用し出数(人) 延後時用し出入数(日) 延後時用出入数(日) 延後時間し出入数(日) 延後時間し出入数(日) 延後時間し入数(日) 延後時間し入数(日) 延後時間し入数(日)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 ※ 教育 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 213.0 ReactIR41 T. 11 2.0 2 2.0 13 2.0 53 6.0 1 1.0 0 0.0 0 0.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 356.5 740 394.5 554 288.5 285.5 740 394.5 554 288.5 11 2.0 64 13.0 1.0 0 0.0
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16 17 18 19 20 21	延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時間(H) 延検使用時間(H) 延検使用時間(H) 延検使用時間(H) 延検使用時間(H) 延後使用出力 近後使用時間(H) 延後使用時間(H) 延後使用人し数(人) 延後使用人出数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後時用し出人数(日) 延後日期 近後日期 近後日期 近後日期 近後日期 近後日期 近後日期 近後日期 近	227.5 595 175.0 470 138.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 か の 0.0 0 0 0.0 0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 213.0 ReactIR41 I 2.0 2 2.0 13 2.0 53 6.0 1 1.0 0 0.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1.0 0 0.0 0.0 0.0 2 - 社製) 生命セ 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの	の 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0	0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5 =3月24日 計1 2.0 64 13.0 1.0 0 0.0
24 25 26 27 28 29 12-3 年度 16 17 18 19 20	延検体数 (件) 延検体期間(H) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検体用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時数 (件) 延検使用時間(H) 延検使用時間(H) 延校使用時間(H) 延校使用時間(H) 延校使用時間(H) 延校使用時間(H) 延校使用時間(H) 延校使用月出し数(人) 延ば使用月出し数(人) 延後時間し出数(人) 延後時間し出数(人) 延後時間し出入数(日) 延後時用し出数(人) 延後時用し出入数(日) 延後時用出入数(日) 延後時間し出入数(日) 延後時間し出入数(日) 延後時間し入数(日) 延後時間し入数(日) 延後時間し入数(日)	227.5 595 175.0 470 138.0 381 135.0 499 207.0 464 142.0 605 275.0 401 75.5 ※ 教育 0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	74.0 87 130.0 137 144.5 174 119.0 243 149.0 123 142.5 135 119.5 213.0 ReactIR41 T. 11 2.0 2 2.0 13 2.0 53 6.0 1 1.0 0 0.0 0 0.0	1.5 108 20.5 0 0.0 4 6.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	1 0.5 0 0.0 4 3.0 1 0.5 1.0 0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	のの のの のの のの のの のの のの のの のの のの	の 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.	0 0.0 0.0 0 0.0 0 0.0 0 0.0 0.0 0 0 0.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	303.0 791 326.0 607 282.5 563 263.0 743 356.5 588 285.5 740 394.5 554 288.5 288.5 11 2.0 64 13.0 64 13.0 0 0.0

2.1	延貸し出し日数(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	延使用人数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25	延貸し出し日数(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	延使用人数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
26	延貸し出し日数(日)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
20	延使用人数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
27	延貸し出し日数(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	延使用人数(人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
28	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

年度	区 分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
12	延検体数 (件)	0	0	0	193	0	0	0	0	0	0	0	193
16	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	44.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.0
17	延検体数 (件)	0	0	0	252	0	0	0	0	0	0	0	252
17	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	191.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	191.0
18	延検体数 (件)	0	0	0	323	0	0	0	0	0	0	0	323
10	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	209.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	209.0
19	延検体数 (件)	0	0	0	646	0	0	0	0	0	0	0	646
19	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	238.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	238.0
20	延検体数 (件)	0	0	0	308	0	0	0	0	0	0	0	308
20	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	111.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	111.0
21	延検体数 (件)	0	0	0	1,539	0	0	0	0	0	0	0	1,539
21	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	370.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	370.0
22	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
23	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
26	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
27	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
28	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
29	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

125	紫外可視分光光度計(ラムダ950UV/VIS/NIR	パーキンエルマー側)
12-3	※プトリ1光刀 ルル/ショ (ノムフ 9500 V/VIS/INIK	ノーインエルイーが

Softs 7	年日	П	平成23年4月6日
7877	7	14	十二次との十十月 0日

年度	区	分	教育	地域	医	エ	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数	(件)	0	0	20	66	26	0	0	0	0	0	0	112
23	延使用時	問(H)	0.0	0.0	3.0	44.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.0
24	延検体数	(件)	0	0	0	881	83	0	0	0	0	0	0	964
24	延使用時	間(H)	0.0	0.0	0.0	796.5	26.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	822.5
25	延検体数	(件)	0	0	3	994	12	0	0	28	0	0	0	1,037
23	延使用時	問(H)	0.0	0.0	3.0	563.0	2.0	0.0	0.0	11.0	0.0	0.0	0.0	579.0
26	延検体数	(件)	0	0	1	270	93	0	0	1	0	0	0	365
26	延使用時	間(H)	0.0	0.0	1.0	199.0	24.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	229.0
27	延検体数	(件)	0	0	5	115	68	0	0	8	0	0	0	196
27	延使用時	問(H)	0.0	0.0	23.0	122.0	17.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	164.0
20	延検体数	(件)	7	0	0	169	44	40	0	165	0	0	0	425
28	延使用時	問(H)	3.5	0.0	0.0	207.5	34.0	0.0	0.0	73.0	0.0	0.0	0.0	318.0
20	延検体数	(件)	8	0	0	7	0	0	35	0	0	0	0	50
29	延使用時	問(H)	2.5	0.0	0.0	7.5	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

13 顕微レーザーラマン分光システム (NRS-1000 日本分光製)

納入年月	日平月	战15年3月	125日

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
1.5	延検体数	(件)	0	0	0	70	0	0	0	0	0	0	0	70
15	延使用時	間(H)	0.0	0.0	0.0	49.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	49.5
16	延件体数	(件)	0	0	0	71	0	0	0	1	0	0	0	72
10	延使用時	間(H)	0.0	0.0	0.0	81.5	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	85.5
17	延件体数	(件)	0	0	0	169	1	0	0	0	0	0	0	170
17	延使用時	間(H)	0.0	0.0	0.0	139.0	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	148.0
10	延件体数	(件)	0	0	155	96	17	0	0	0	0	0	0	268
18	延使用時	間(H)	0.0	0.0	47.0	87.0	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	149.5
10	延件体数	(件)	0	0	205	723	6	0	0	0	0	0	0	934
19	延使用時	間(H)	0.0	0.0	37.0	265.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	309.0
20	延件体数	(件)	0	0	77	162	35	0	0	0	0	0	0	274
20	延使用時	間(H)	0.0	0.0	15.5	136.0	35.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	187.0
21	延件体数	(件)	0	0	0	121	0	0	0	0	0	0	0	121
21	延使用時	間(H)	0.0	0.0	0.0	116.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	116.0

22	延件体数 (件)	0	0	0	156	0	0	0	0	0	0	0	156
22	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	85.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.0
22	延件体数 (件)	0	0	0	294	0	0	0	0	0	0	0	294
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	184.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	184.5
24	延件体数 (件)	0	0	0	380	0	0	0	0	0	0	0	380
24	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	3,384.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,384.0
25	延件体数 (件)	0	0	0	1,037	0	0	0	0	0	0	0	1,037
25	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	1,011.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,011.0
26	延検体数 (件)	3	0	0	703	0	0	0	0	0	0	0	706
26	延使用時間(H)	4.5	0.0	0.0	616.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	621.0
27	延検体数 (件)	0	0	0	370	0	0	0	0	0	0	0	370
27	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	470.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	470.0
20	延検体数 (件)	10	0	0	396	0	0	0	2	0	0	0	408
28	延使用時間(H)	20.5	0.0	0.0	307.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	328.5
20	延検体数 (件)	0	0	0	568	2	0	7	0	0	0	0	577
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	248.5	2.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	257.0

14 熱分析システム (EXSTAR-6000 エスアイアイ製)

納入年月日 平成16年3月19日

年度	区	分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
16	延検体数	(件)	0	0	0	115	33	0	0	0	0	0	0	148
16	延使用時	問(H)	0.0	0.0	0.0	286.5	36.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	322.5
17	延検体数	(件)	0	50	0	258	10	0	0	0	0	0	0	318
17	延使用時	間(H)	0.0	174.5	0.0	751.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	932.5
18	延検体数	(件)	0	0	0	513	35	0	0	0	0	0	0	548
18	延使用時	間(H)	0.0	0.0	0.0	1,532.5	56.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,588.5
19	延検体数	(件)	0	0	0	393	349	0	0	0	0	0	0	742
19	延使用時	間(H)	0.0	0.0	0.0	1,034.0	568.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,602.5
20	延検体数	(件)	0	0	0	269	253	0	0	0	0	0	0	522
20	延使用時	削(H)	0.0	0.0	0.0	1,300.0	527.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,827.5
21	延検体数	(件)	0	0	0	397	279	0	0	0	0	0	0	676
21	延使用時	問(H)	0.0	0.0	0.0	4,173.5	739.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,913.0
22	延使用時間	問(H)	0.0	0.0	0.0	3,149.0	918.0	0.0	0.0	15.5	0.0	0.0	0.0	4,082.5
22	延検体数	(件)	0	0	0	304	190	0	0	3	0	0	0	497
23	延使用時	問(H)	0.0	0.0	0.0	2,436.5	335.5	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	2,782.0
24	延検体数	(件)	0	0	0	480	235	0	0	9	0	0	0	724
24	延使用時	問(H)	0.0	0.0	0.0	3,610.0	576.0	0.0	0.0	72.5	0.0	0.0	0.0	4,258.5
25	延検体数	(件)	26	0	0	328	347	0	0	21	0	0	0	722
25	延使用時	問(H)	83.0	0.0	0.0	1,787.0	881.0	0.0	0.0	58.0	0.0	0.0	0.0	2,808.0
26	延検体数	(件)	59	0	0	306	182	0	0	30	0	0	0	577
26	延使用時	間(H)	154.0	0.0	0.0	1,185.5	428.5	0.0	0.0	85.0	0.0	0.0	0.0	1,853.0
27	延検体数	(件)	65	0	0	179	261	0	0	6	0	0	0	511
27	延使用時	問(H)	143.0	0.0	0.0	721.0	657.5	0.0	0.0	41.5	0.0	0.0	0.0	1,563.0
20	延検体数	(件)	46	0	0	81	231	0	0	87	0	0	0	445
28	延使用時	問(H)	172.0	0.0	0.0	411.5	720.0	0.0	0.0	286.0	0.0	0.0	0.0	1,589.5
20	延検体数	(件)	25	0	0	187	177	0	8	0	0	0	0	397
29	延使用時	問(H)	41.5	0.0	0.0	1,325.0	535.5	0.0	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,937.0

15 フェムト秒ファイバーレーザー (フェムトライト BS-60-YS アイシン精機製)

納入年月日 平成18年3月3日

年度	区	分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
10	延検体数	(件)	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7
18	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	57.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.5
19	延検体数	(件)	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
19	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	576.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	576.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0,0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
22	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
23	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	延使用時間	間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
26	延検体数	(件)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
20	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0
27	延検体数	(件)	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10
21	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.0
28	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
29	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

16	テラヘルツ分光走査!	型顕微鏡	(THz-TDS	オザ ワ	科学製)						納入年月日	平成18	年3月3日
年度	区分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
21	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
22	延検体数 (件)	0.0	0.0	0.0	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7
- 22	延使用時間(H) 延検体数 (件)	0.0	0.0	0.0	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	162.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	162.5
24	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	延使用時間(H) 延検体数 (件)	0.0	0.0	0.0	0.0 64	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0 64
7.00	延使用時間(H) 延検体数 (件)	0.0	0.0	0.0	119.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	119.5
27	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5
28	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
29	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17 3	(線マイクロCTスキ・	10 00000		7. S200	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100000	内入年月日	平成22年	
年度	区分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数 (件)	0	0	0	13	123	0	0	0	0	0	0	136
1000	延使用時間(H) 延検体数 (件)	0.0	0.0	0.0	50.5 33	219.0 343	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	269.5 385
23	延使用時間(H) 延検体数 (件)	0.0	0.0	0.0	34.5 47	985.0 289	0.0	0.0	45.5 15	0.0	0.0	0.0	1,065.0 351
24	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	272.0	2,323.0	0.0	0.0	105.0	0.0	0.0	0.0	2,700.0
25	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	180 501.0	98 617.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,118.0
26	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	101 321.5	43 200.0	0.0	0.0	19 115.5	0.0	0.0	0.0	163 637.0
27	延検体数 (件)	0	0	0	259	210	2	0	27	0	0	0	498
	延使用時間(H) 延検体数 (件)	0.0	0.0	0.0	1,031.0	835.0 264	5.0	0.0	39.0 21	0.0	0.0	0.0	1,910.0 470
28	延使用時間(H) 延検体数 (件)	0.0	0.0	54.0 17	696.5 213	1,375.3 321	0.0	0.0	112.5	133.5	0.0	0.0	2,371.8 553
29	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	30.0	723.0	518.5	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,275.5
18 =	デジタルマイクロス	コープ (き	ライカ製)							納	入年月日	平成22年1	1月10日
年度	区 分	教育	地域	医	エ	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	95 49.0	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.5
23	延検体数 (件)	0	0	0	50	35	0	0	0	0	0	0	85
24	延使用時間(H) 延検体数 (件)	0.0	0.0	0.0	37.0 54	7.0 56	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.0 110
_	延使用時間(H) 延検体数 (件)	0.0	0.0	0.0	74.5 0	22.0 262	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.5 262
25	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	275.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	275.0
26	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	288 120.5	5.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0,0	0.0	293 127.5
27	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	101 91.0	5 16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	106 107.0
28	延検体数 (件)	0	0	0	6	6	0	0	20	22	0	0	54
1000	延使用時間(H) 延検体数 (件)	0.0	0.0	0.0	3.0 95	5.5 22	0.0	0.0	2.0	33.5 0	0.0	0.0	44.0 117
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	136.5	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	142.5
7007 V 5V 5	☆子径・ゼータ電位	100000000	1000 St. 2	Visto V	796057	1639160834	SENSE I	12470000 T	Transport parace	0.0000000000000000000000000000000000000	内入年月日	1000	76.00
年度	区 分延検体数 (件)	教育 0	地域 0	医 0	工 26	応生 18	連農 0	流域 0	生命セ	情報メ	連創 0	他	計 44
22	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	91.5	103.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	195.0
23	延検体数 (件) 延使用時間(H)	7 18.5	0.0	0.0	53 55.5	157 203.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	217 277.5
24	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	29 25.0	533 528.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	562 553.0
25	延検体数 (件)	0	0	0	342	541	0	0	0	0	0	0	883
1500	延使用時間(H) 延検体数 (件)	0.0	0.0	0.0	75.0 226	281.0 335	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	356.0 561
26	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	116.5	259.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	375.5
			0	0	214	166	0	0	1	0	0	11	392
27	延検体数 (件) 延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	146.0	206.5	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	10.5	364.0
27	延使用時間(H) 延検体数 (件)	0.0 8	0	0	403	377	0	0	0	0	0	27	815
	延使用時間(H)	0.0		77				200	0.0				

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	延使用時	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
23	延検体数	(件)	0	0	0	7	187	0	0	0	0	0	0	194
23	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	3.5	150.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	153.5
24	延検体数	(件)	0	0	0	15	216	0	0	0	0	0	0	231
24	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	20.5	85.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	105.5
25	延検体数	(件)	0	0	0	42	29	0	0	0	0	0	0	71
23	延使用時	引(H)	0.0	0.0	0.0	35.0	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.0
26	延検体数	(件)	0	0	0	0	182	0	0	3	0	0	0	185
20	延使用時	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	106.5	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	107.5
27	延検体数	(件)	0	0	0	13	177	0	0	0	0	0	0	190
21	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	6.0	150.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	156.5
28	延検体数	(件)	0	0	0	22	243	0	0	0	0	0	0	265
28	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	18.0	99.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	117.5
29	延検体数	(件)	0	0	0	0	260	0	0	0	0	0	0	260
29	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	113.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	113.5

21 レオメーター (ティ・エイ・インスツルメント社製)

納入年月日 平成23年3月31日

年度	区分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数 (件) (0	0	0	221	0	0	0	0	0	0	221
23	延使用時間(H	0.0	0.0	0.0	0.0	314.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	314.0
24	延検体数 (件) (0	0	0	68	0	0	0	0	0	0	68
24	延使用時間(H	0.0	0.0	0.0	0.0	55.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.5
25	延検体数 (件) (0	0	85	49	0	0	0	0	0	0	134
25	延使用時間(H	0.0	0.0	0.0	70.0	38.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	107.0
26	延検体数 (件) (0	0	55	157	0	0	4	0	0	0	216
26	延使用時間(H	0.0	0.0	0.0	38.5	157.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	200.5
27	延検体数 (件) 0	0	0	51	217	0	0	7	0	0	0	275
27	延使用時間(H	0.0	0.0	0.0	75.5	557.5	0.0	0.0	8.5	0.0	0.0	0.0	641.5
20	延検体数 (件) (0	0	216	174	0	0	18	0	0	0	408
28	延使用時間(H	0.0	0.0	0.0	229.0	356.0	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	595.5
20	延検体数 (件) (0	0	391	238	0	0	0	0	0	0	629
29	延使用時間(H	0.0	0.0	0.0	402.5	221.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	623.5

22 動的粘弾性測定装置 (ティ・エイ・インスツルメント社製)

納入年月日 平成23年3月31日

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数	(件)	0	0	0	3	218	0	0	0	0	0	0	221
23	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	8.0	320.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	328.5
24	延検体数	(件)	0	0	0	59	73	0	0	0	0	0	0	132
24	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	121.5	169.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	290.5
26	延検体数	(件)	0	0	0	4	213	0	0	0	0	0	0	217
25	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	6.0	553.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	559.0
26	延検体数	(件)	0	0	0	40	429	0	0	0	0	0	0	469
26	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	65.5	1,262.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,328.0
27	延検体数	(件)	0	0	0	66	38	0	0	12	0	0	0	116
21	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	63.0	79.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	146.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	85	50	0	0	0	0	0	0	135
28	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	53.0	71.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	124.5
20	延検体数	(件)	0	0	0	57	119	0	0	0	0	0	0	176
29	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	177.0	112.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	289.0

23 旋光計 (日本分光製)

納入年月日 平成23年3月1日

年度	区	分	教育	地域	医	エ	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
23	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5
24	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	25
24	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	10.5
25	延検体数	(件)	0	0	0	0	27	0	0	36	0	0	0	63
25	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	20.0
26	延検体数	(件)	0	0	0	163	7	0	0	0	0	0	0	170
26	延使用時間	fl(H)	0.0	0.0	0.0	63.0	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.5
27	延検体数	(件)	0	0	0	41	20	0	0	1	0	0	0	62
27	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	22.0	10.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	33.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	25	9	.0	0	0	0	0	0	34
28	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	8.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0
20	延検体数	(件)										Some West Street Age of		
29	延伸用時間	(H)	T										····	

24-1 全自動波長分散型蛍光X線装置 (ブルカーAXS (株) 製)

納入年月日 平成24年3月30日

年度	区	分	教育	地域	医	I	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
24	延検体数	(件)	0	0	0	95	0	0	0	9	0	0	0	104
24	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	58.5	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	60.5
25	延検体数	(件)	0	0	0	223	28	0	0	15	0	0	0	266
25	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	174.0	10.0	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	191.0

26	延検体数 (件)	0	0	0	192	0	0	0	57	0	0	0	249
26	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	143.0	0.0	0.0	0.0	31.5	0.0	0.0	0.0	174.5
27	延検体数 (件)	112	0	0	200	0	0	0	39	0	0	0	351
21	延使用時間(H)	48.5	0.0	0.0	117.5	0.0	0.0	0.0	21.5	0.0	0.0	0.0	187.5
20	延検体数 (件)	0	0	0	370	0	0	0	99	0	0	0	469
28	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	240.5	0.0	0.0	0.0	47.5	0.0	0.0	0.0	288.0
20	延検体数 (件)	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	15
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5

24-2 ビードマシーン (ブルカーAXS (株) 製)

	納入年月日	平成24年3月30日
--	-------	------------

年度	区 分	教育	地域	医	エ	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
2.4	延検体数 (件)	0	0	0	17	0	0	0	22	0	0	0	39
24	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	11.5	0.0	0.0	0.0	18.5
25	延検体数 (件)	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	9
23	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.0
26	延検体数 (件)	39	0	0	58	0	0	0	0	0	0	0	97
20	延使用時間(H)	38.0	0.0	0.0	57.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.5
27	延検体数 (件)	122	0	0	46	0	0	0	0	0	0	0	168
21	延使用時間(H)	115.5	0.0	0.0	39.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	154.5
28	延検体数 (件)	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	13
28	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0
29	延検体数 (件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

24-3 粉砕機 (ブルカーAXS (株) 製)

納入年月日 平成24年3月30日

年度	区 分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
24	延検体数 (件)	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	20
24	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	48.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.0
25	延検体数 (件)	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	60
25	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	144.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	144.0
26	延検体数 (件)	0	0	0	760	0	0	0	0	0	0	0	760
26	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	1,824.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,824.0
27	延検体数 (件)	0	0	0	600	0	0	0	0	0	0	0	600
21	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	1,440.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,440.0
20	延検体数 (件)	0	0	0	70	0	0	0	0	0	0	0	70
28	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	1,680.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,680.0
20	延検体数 (件)	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	13
29	延使用時間(H)	0.0	0.0	0.0	312.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	312.0

[※] 教育: 教育学部, 地域: 地域科学部, 医: 医学部, 工: 工学部, 応生: 応用生物科学部, 連農: 大学院連合農学研究科, 流域: 流域圏科学研究センター 生命セ: 生命科学総合研究支援センター, 情報メ: 総合情報メディアセンター, 連創: 連合創薬医療情報研究科(人獣感染防御研究センター), 他: 岐阜薬科大学他

(医学地区)

1-1	フーリエ変	換核磁気	共鳴装置	(Bruker Bi	ospin AVA	NCEIII 6	00 ブル	レカー製)			管理換年	月日 平成	23年4月1	日(人獣
F度	区	分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数	(件)	0	0	10	1	62	0	0	15	0	16	0	10
23	延使用時間	**	0.0	0.0	11.5	1.0	38.0	0.0	0.0	559.0	0.0	577.5	0.0	1,187.
24	延検体数		0	0	3	6	14	0	0	83	0	117	0	22
- '	延使用時間		0.0	0.0	43.0	17.5	8.0	0.0	0.0	171.0	0.0	1,298.5	0.0	1,538.
25	PRINCIPLE OF THE OWNER OF THE OWNER OF THE OWNER.	(件)	0	0	0	11	27.0	0	0	70	0	57	0	14
	延使用時間延検体数	(件)	0.0	0.0	0.0	120.0	27.0	0.0	0.0	600.0	0.0	1,508.0	0.0	2,255.
26	延使用時間		6.5	0.0	0.0	85.5	186.5	0.0	0.0	366.5	0.0	1,658.5	0.0	2,303.
v-21201		(件)	0.5	0.0	0.0	1	56	0.0	0.0	53	0.0	155	0.0	26
27	延使用時間		0.0	0.0	0.0	24.0	157.5	0.0	0.0	583.5	0.0	1,077.5	0.0	1,842.
20	延検体数	(件)	0	0	0	10	44	0	0	48	0	79	0	18
28	延使用時間	l(H)	0.0	0.0	0.0	52.0	323.0	0.0	0.0	276.5	0.0	988.5	0.0	1,640.
29		(件)	0	0	0	6	42	0	85	0	185	0	1	31
	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	122.0	146.5	0.0	279.5	0.0	185.0	0.0	11.0	744.
-2	フーリエ変	換核磁気	共鳴装置	(Bruker Bi	ospin AVA	NCEIII 8	00 ブル	レカー製)			管理換年	月日 平成	23年4月1	日(人獣
F度	区	分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
	延検体数	(件)	0	0	1	0	14	0	0	6	0	10	0	3
23	延使用時間		0.0	0.0	1.0	0.0	289.0	0.0	0.0	255.5	0.0	1,557.5	0.0	2,103.
24	延検体数	(件)	0	0	0	6	26	6	0	48	0	41	0	12
24	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	103.0	269.0	130.0	0.0	277.0	0.0	3,073.0	0.0	3,852.
25	CONTRACTOR	(件)	0	0	0	34	22	0	0	18	0	85	0	15
	延使用時間		0.0	0.0	0.0	272.0	483.0	0.0	0.0	24.0	0.0	2,231.0	0.0	3,008.
26	延検体数延使用時間	(件)	0.0	0.0	0.0	17.0	1,262.0	0.0	0.0	17 127.0	0.0	1,965.5	0.0	10. 3,371.
		(件)	0.0	0.0	0.0	0	1,262.0	0.0	0.0	35	0.0	1,963.3	4	3,371.
27	延使用時間		0.0	0.0	0.0	0.0	238.0	0.0	0.0	549.5	0.0	912.0	50.0	1.749.
	延検体数		0.0	0.0	0.0	3	16	0.0	0.0	40	0.0	100	0	15
28	延使用時間		0.0	0.0	0.0	16.0	185.5	0.0	0.0	570.0	0.0	1,987.5	0.0	2,759.
29	延検体数	(件)	0	0	0	2	38	0	59	0	117	0	0	21
29	延使用時間	l(H)	0.0	0.0	0.0	14.5	622.0	0.0	184.0	0.0	117.0	0.0	0.0	937.
超	高輝度X線	回折装置	(Rigak	u FR-E Si	perBright)						管理換年	月日 平成	23年4月1	日(人獣
年度	区	分	教育	地域	医	I.	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
23	延使用時間	l(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.
24	chierania repara censina penan	(件)	0	0	0	0	9	0	0	0	0	27	0	3
	延使用時間		0.0	0.0	0.0	0.0	16.5	0.0	0.0	0.0	0.0	27.5	0.0	44.
25	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	0	
	延使用時間延検体数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	10.0	0.0	11.
26	延使用時間	(件) 引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	8.0	0.0	17.
	延検体数	(件)	0.0	0.0	0.0	0.0	1	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	17.
27	延使用時間		0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
20		(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(
28	延使用時間	引(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
29	延検体数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
~	延使用時間	ij(H)	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.
ES	R (Bruke	r Biosp	in EMXn	nicro ブル	カー製)					-	管理換年	月日 平成	23年4月1	日(人割
年度	区	分	教育	地域	医	工	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
23	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.
	延給休粉	((生)	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	17

年度	区	分	教育	地域	医	T.	応生	連農	流域	生命セ	情報メ	連創	他	計
22	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24	延検体数	(件)	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	16
24	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	35.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.5
25	延検体数	(件)	0	0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	51
23	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	474.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	474.0
26	延検体数	(件)	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	25
20	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	142.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	142.5
27	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
28	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	延使用時間	(H)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20	延検体数	(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	延使用時間	(H)	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0

[※] 教育:教育学部, 地域:地域科学部, 医:医学部, 工:工学部, 応生:応用生物科学部, 連農:大学院連合農学研究科, 流域:流域圏科学研究センター 生命セ:生命科学総合研究支援センター, 情報メ:総合情報メディアセンター, 連創:連合創薬医療情報研究科(人獣感染防御研究センター), 他:岐阜薬科大学

別表 平成 29 年度 機器分析装置登録者数 (柳戸施設)

機器名	教育	地域	医	工	応生	連農	生命セ	流域	連創	その他	合計
	81	計	31	計	21	31	21	81	計	81	
该磁気共鳴装置	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
400 MHz	9	0	0	123	36	0	7	0	0	0	175
500 MHz溶液	19	0	0	118	37	0	8	0	0	0	182
500 MHz固体	0	0	0	39	14	0	1	0	0	0	54
600 MHz	19	0	0	126	52	0	8	0	0	0	205
計	47	0	0	406	139	0	24	0	0	0	616
電子スピン共鳴装置											
ESR	6	0	4	55	2	0	2	0	0	0	69
計	6	0	4	55	2	0	2	0	0	0	69
質量分析装置											
JMS-700	14	0	12	42	1	0	6	0	0	0	75
JMS-K9	0	0	5	22	4	0	1	0	0	0	32
Gemate II	0	0	0	35	0	0	1	0	0	0	36
AccuTOF	9	0	5	105	25	0	6	0	0	0	150
液体クロマトク゚ラフ	0	0	9	0	2	0	9	0	0	0	20
AXIMA-Resonance	0	0	5	43	55	0	7	0	0	0	110
Prominence nano	0	0	5	3	0	0	1	0	0	0	9
∄ †•	23	0	41	250	87	0	31	0	0	0	432
電子顕微鏡			de com unique el sistem							0.0000000000000000000000000000000000000	
TEM (日立 H-7000)	0	0	21	24	2	0	1	0	0	2	50
TEM (日本電子 JEM-2100)	1	0	0	52	16	0	2	0	2	3	76
オスミウムコーター	0	0	21	94	21	0	9	0	0	0	145
イオンミリング	4	0	0	23	0	0	1	0	0	0	28
精密イオンポ゚リッシング	0	0	0	24	0	0	1	0	0	0	25
SEM-4800	6	0	23	198	28	0	10	0	2	0	267
SEM-4300	6	0	0	218	26	0	10	0	0	0	260
SEM-3000	9	0	0	93	10	0	10	0	2	0	124
計	26	0	65	726	103	0	44	0	6	5	975
X線光電子分析装置											
Quantera	0	0	0	134	2	0	1	0	0	3	140
計	0	0	0	134	2	0	1	0	0	3	140
円二色性分散計											
CD	6	0	4	79	15	0	5	0	3	16	128
計	6	0	4	79	15	0	5	0	3	16	128
秀導結合プラス゚マ発光分析装置											
ICP(堀場)	4	0	0	40	0	0	1	0	0	7	52
計	4	0	0	40	0	0	1	0	0	7	52
卡外分光光度計											
FT-IR	10	0	0	83	23	0	14	0	0	0	130
顕微IR	19	0	0	79	0	0	6	0	0	0	104
React IR	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
Illuminat IR	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	20
計	29	0	0	184	23	0	20	0	0	0	256

機器名	教育	地域	医	T.	応生	連農	生命セ	流域	連創	その他	合計
	21	21	31	21	計	計	21	21	計	31	
紫外可視分光光度計	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
UV-Vis	15	0	0	126	8	0	11	0	0	0	160
計	15	0	0	126	8	0	11	0	0	0	160
超高速度現象解析システム											
ar.	0	0	0	32	5	0	1	0	0	0	38
計	0	0	0	32	5	0	1	0	0	0	38
PL量子収率・蛍光燐光寿命測定装置											
al.	6	0	0	62	0	0	2	0	0	6	76 76
計 分光蛍光光度計	6	0	0	62	0	0	- 2	0	0	6	/6
万儿虫儿儿及 訂	15	0	0	79	0	0	5	0	0	0	99
計	15	0	0	79	0	0	5	0	0	0	99
走査型プロープ顕微鏡	13	- 0	- 0	19	- 0	- 0		-	0	0	77
SPM	0	0	0	68	17	0	1	0	0	4	90
計	0	0	0	68	17	0	1	0	0	4	90
有機微量元素分析装置	<u> </u>			- 50			-	J		T	,,,
JM10	17	0	0	68	1	0	6	0	0	0	92
計	17	0	0	68	1	0	6	0	0	0	92
顕微レーサ゜ーラマン分光システム			A-802				0.400				-
NRS-1000	6	0	0	107	14	0	2	0	0	0	129
計	6	0	0	107	14	0	2	0	0	0	129
熱分析システム											
DSC • TMA • TG-DTA	10	0	0	138	21	0	8	0	0	0	177
計	10	0	0	138	21	0	8	0	0	0	177
フェムト秒ファイバ・ーレーサ゛ー			NAMES OF THE PARTY			Lower area or mean		THE RESERVE THE PERSONS AND ADDRESS OF THE PERSONS AND ADDRESS AND ADDRESS OF THE PERSONS AND ADDRESS AND AD			
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
テラヘルツ分光走査型顕微鏡											
	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
X線マイクロCTスキャン	***************************************										
	7	0	2	51	9	0	1	0	0	0	70
計	7	0	2	51	9	0	1	0	0	0	70
テ゚シ゚タルマイクロスコープ											
	5	0	0	55	9	0	8	0	0	0	77
計	5	0	0	55	9	0	8	0	0	0	77
粒子径・ゼーター電位・分子量測定装置											
DI.	0	0	0	52	32	0	5	0	0	0	89
計 7n-式粒子像分析装置	0	0	0	52	32	0	3	0	0	0	89
/ 工化丁像万仞装直	0	0	0	19	8	0	1	0	0	0	28
計	0	0	0	19	8	0	1	0	0	0	28
レオメーター・動的粘弾性測定装置	,	U	U	19	0	U	1.5	U	U	U	20
777 7 30年7日7年1日00年3天国	0	0	0	26	21	0	1	0	0	0	48
計	0	0	0	26	21	0	1	0	0	0	48
旋光計	-				~ .	(#K)	:40	<i>a</i> 0	/Jeff		7.0
	0	0	0	17	8	0	5	0	0	0	30
計	0	0	0	17	8	0	5	0	0	0	30
波長分散型蛍光X線分析装置						Augusta and management	COLUMN DE LANCE	S S	is transport	TO THE STREET	
XRF	2	0	0	105	0	0	8	0	0	0	115
計	2	0	0	105	0	0	8	0	0	0	115
合計	224	0	116	2,879	524	0	194	0	9	41	3,987

別表 平成 29 年度 機器分析装置登録者数 (医学施設)

機器名	教育	地域	医	I	応生	連農	生命セ	流域	連創	その他	合計
	21	21	#	#	21	#	計	#1	計	計	一百百
核磁気共鳴装置	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
600 MHz	0	0	0	3	18	0	9	0	7	4	41
800 MHz	0	0	0	23	24	0	9	0	6	4	66
計	0	0	0	26	42	0	18	0	13	8	107
電子スピン共鳴装置			NCT TO LEVEL LINE								
ESR	0	0	4	28	0	0	2	0	3	0	37
計	0	0	4	28	0	0	2	0	3	0	37
超高輝度X線回折装置			155 - 1075 595 - 5000090011			A 1 A 190 A 1810 P L. 181					
XRD	0	0	0	0	0	0	1	0	4	3	8
計	0	0	0	0	0	0	1	0	4	3	8
合計	0	0	4	54	42	0	21	0	20	11	152

2. 平成29年度活動状況報告

- 1. 機器分析分野協力員会議
- *質量分析装置 (JMS-700 · JMS-K 9 · GCmate II · AccuTOF)

第1回質量分析装置協力員会議平成29年4月27日(木)

議題(1)昨年度の議事録の確認

- (2)講習会の開催
- (3)マニュアルの作成について
- (4)その他
- *電子スピン共鳴装置

第1回電子スピン共鳴装置協力員会議

平成29年4月25日(火)

議題(1)昨年度の議事録の確認

- (2)講習会の開催
- (3)マニュアルの作成について
- (4)その他
- *顕微鏡(電子顕微鏡、走査型プローブ顕微鏡、

デジタルマイクロスコープ)

第1回顕微鏡協力員会議

平成29年4月18日(火)

議題(1)昨年度の議事録の確認

- (2)講習会の開催
- (3)マニュアルの作成について
- (4)その他
- *組成分析装置(誘導結合プラズマ発光分析装置、有機微量元素分析装置、蛍光 X 線分析装置)

第1回組成分析装置協力員会議

平成29年5月2日(月)

議題(1)昨年度の議事録の確認

- (2)講習会の開催
- (3)マニュアルの作成について
- (4)その他
- *超高速度現象解析システム

第1回超高速度現象解析システム協力員会議平成29年4月18日(火)

議題(1)昨年度の議事録の確認

- (2)講習会の開催
- (3)PIV の更新について
- (4)マニュアルの作成について
- (5)その他
- *X線光電子分析装置

第1回 X 線光電子分析装置協力員会議

平成29年4月24日(月)

議題(1)昨年度の議事録の確認

- (2)講習会の開催
- (3)マニュアルの作成について
- (4)その他
- *フーリエ変換核磁気共鳴装置

第1回フーリエ変換核磁気共鳴装置協力員会 議

平成29年4月27日(木)

議題(1)昨年度の議事録の確認

- (2)講習会の開催
- (3)マニュアルの作成について
- (4)その他
- *分光小型機器(IR·UV·CD・旋光計、顕微レーザーラマン分光システム、蛍光分光光度計、 熱分析システム)

第1回分光小型機器協力員会議

平成29年4月19日(水)

議題(1)昨年度の議事録の確認

- (2)講習会の開催
- (3)マニュアルの作成について
- (4)その他
- *粒子径・粘弾性装置(粒子径、レオメーター、動的粘弾性装置)

第1回粒子径·粘弹性装置協力員会議 平成29年4月18日(火)

議題(1)昨年度の議事録の確認

- (2)講習会の開催
- (3)マニュアルの作成について
- (4)その他
- *X線分析装置(X線マイクロCTスキャン・

超高輝度 X 線回折装置 (XRD))

第1回 X 線分析装置協力員会議

平成29年4月18日(火)

議題(1)昨年度の議事録の確認

- (2)講習会の開催
- (3)マニュアルの作成について
- (4)その他
- 2. 平成 29 年度国立大学機器・分析センター 協議会

平成 29 年 10 月 20 日 (金)

場 所:ホテルサンルート室蘭

当番校:国立大学法人 室蘭工業大学

研究設備センター 基盤研究設備部

門

議題:(1)会計監查報告

(2)幹事会報告

(3)アンケート集計結果報告

(4)国立大学法人機器・分析センター協議会の今後について

分野長 近江靖則 出席 技術職員 沢田義治 出席

3. センター見学

*平成29年4月3日(月) 岐阜農林高校 計4名 平成29年4月5日(水) スペクトリス㈱ マルバーン事業部

計3名

平成29年6月1日(木)

みすずコーポレーション 計4名

平成29年7月13日(木)

みすずコーポレーション 計3名

平成30年2月26日(月)

亀田製菓 計7名

4. 各種講習会及びセミナー

*平成29年度 寒剤・高圧ガス取扱講習会 平成29年4月26日 (水)

講師 七尾 和夫 巴商会

近江 靖則 生命科学総合研究支援センター

西津 貴久 応用生物科学部

参加人数 287 名 (職員 16 名 学生 271 名)

SPM·SEM·TEM 講習会

平成29年5月10日(水)

参加人数 111 名 (職員 10 名 学生 101 人)

★第31回大型精密機器高度利用公開セミナー

平成29年度 中学生のための公開セミナー 一最先端の装置で見える世界一

平成29年8月10日(木)

参加人数 55 名 (保護者 17 名含む)

講師 高橋 周平/工学部 機械システム工学科

講師 櫻田 修/工学部 機能材料工学科

講師 西津 貴久/応用生物科学部

講師 近江 靖則/機器分析分野

講師 沢田 義治/機器分析分野

★第32回大型精密機器高度利用公開セミナー

単結晶構造解析統合プラットホーム CrysAlisPro およびOLEX 2・SHELX 用い たデータ処理解析方法

平成30年1月18日(火)

参加人数9名

講師 佐藤寛泰/(株)リガク X線機器事業部

★平成29年度技術職員セミナー 第19回岐阜大学技術報告会 プラスチックに使われている化学物質 一我々にとって良いこと,悪いこと一 平成30年3月2日(金) 参加人数73名(外部5名含む) 講師 村山 幸一/機器分析分野

5. 機器分析分野受託試験等依頼実績

quantera (3件) X 線マイクロ CT スキャナ (1件) NMR (1件) 円 2 色性分散計 (1件)

計6件

6. 機器分析分野機関誌の原稿作成等

生命科学総合研究支援センター年報 第 14 号

ホームページ (http://wwwl. gifu-u.ac.jp/~lsrc/dia)



平成29年度 寒剤・高圧ガス 取扱講習会



日時:平成29年4月26日(水)15:00~ 場所:岐阜大学共通教育D棟多目的教室

主催:岐阜大学生命科学総合研究支援センター 機器分析分野

共催:岐阜大学応用生物科学部

後援:学術国際部研究支援課,施設環境部環境企画課

Ш

=核阜大学=

寒剤・高圧ガス取扱講習会

安全衛生教育講習会を実施している。を対象に、寒剤・高圧ガス取扱作業に対する図ることを目的として、毎年、教職員・学生礎知識を習得し、適切な利用と事故の防止を岐阜大学では、寒剤・高圧ガスに関する基

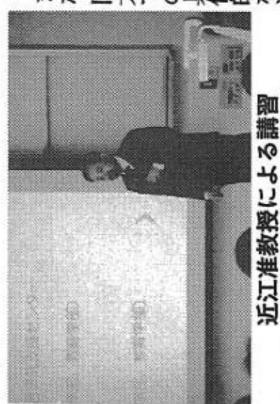
ついて講習を行い、200万名の参加があった。ガスを使用する際の作業方法および注意点に教授が、㈱巴商会の協力を得て、実剤・高圧江靖則准教授及び応用生物科学部の西津貴久科学総合研究支援センター機器分析分野の近

な表情で聴講した。もに、作業のポイントを学び、受講者は真剣る等、酸素欠乏症の恐ろしさを認識するとと講習会では、過去の事故例の映像を視聴す

また、同大での具体的な運用方法として、工

講習も行われた。独方法についたの液体窒素といって液体窒素の運免に用生物科学部いる液化窒素がはいる液化窒素をはないる液化窒素をはに設置されて

#築に務めている。 安全な実験環境の 験・実習で活用し、 知識を今後の実 の講習会で学んだ 同大では、今回



新聞報道



第31回大型精密機器高度利用公開セミナー 平成29年度 中学生のための公開セミナー - 最先端の装置で見える世界-

主催:岐阜大学生命科学総合研究支援センター機器分析分野

協賛:(公社)日本化学会

日時:平成29年8月10日(木) 12:00~17:00 場所:機器分析室(1、3、5、6、7)、セミナー室、事務室



3. 利用者研究論文一覧

○原著論文:

- 1. H. Fukui, H. Iwahashi, K. Nishio, Y., Yoshida Y., M. Horie, Ascorbic acid prevents zinc oxide nanoparticle-induced intracellular oxidative stress and inflammatory responses, *Toxicology and Industrial Health*, **33**, 687–695 (2017): (zeta-Nano)
- 2. M. Yamashita, H. Gifu, H. Kiki, A facile preparation of by reactions of compounds with reagent, *Chem. Lett.*, **XX**, 260–261 (2009): (**MS**, **NMR**, **IR**, **CHO**)
- 3. H. Yamada, Y. Bunseki, S. Daigaku, H. Seimei, M. Yanagido, Paper title, *Angew. Chem. Int. Ed.*, XX, 759–763 (2009): (NMR)
- 4. L. Niu, K. Nomura, H. Iwahashi, H. Matsuoka, S. Kawachi, Y. Suzuki, K. Tamura, Petit-High Pressure Carbon Dioxide stress increases synthesis of S-Adenosylmethionine and phosphatidylcholine in yeast Saccharomyces cerevisiae, *Biophysical Chemistry*, **231**, 79–86 (2017): (**zeta-Nano**)
- 5. L. Niu, K. Nomura, H. Iwahashi, H. Matsuoka, S. Kawachi, Y. Suzuki, K. Tamura, Urea cycle is enhanced by petit-high pressure carbon dioxide stress in yeast Saccharomyces cerevisiae, *High Pressure Research*, **37**, 70–77 (2017): (zeta-Nano)
- 6. J. Takahashi, H. Iwahashi, Introduction to 5-Aminolevulinic Acid-Protoporphyrin IX Mediated Radiodynamic Therapy (RDT), *Clinics in Oncology*, **2**, 1330 (2017): (**zeta-Nano**)
- S. Miura, T. Himaki, J. Takahashi, H. Iwahashi, The role of transcriptomics: physiological equivalence based on gene expression profiles, *Reviews in Agricultural Science*, 5, 21–35 (2017); (zeta-Nano)
- 8. 岩橋 均、微高圧炭酸ガス殺菌技術、美味技術学会誌, 15, 29-32 (2017); (zeta-Nano)
- 9. 森山章弘, 岩橋 均, ストレス応答機構の解明による、殺菌・制菌技術開発の可能性, New Food Industry, **59**, 9-13 (2017); (**zeta-Nano**)
- 10. 岩橋 均, 美味技術は潔い, 美味技術学会誌, 16, 1-2 (2017): (zeta-Nano)
- 11. 前田玲奈,森山章弘,長谷川丈真,岩橋 均,勝野那嘉子,西津貴久 製パン過程における加圧 処理の有用性に関する研究 食品工学会誌 18 (2017): (DMA)
- 12. S. Hora, H. Hagiwara, High-Temperature Wide Thermal Hysteresis of an Iron (II) Dinuclear Double Helicate, *Inorganics*, **5**, 49 (2017): (NMR, IR, CHN, TG/DTA, DSC)
- 13. H. Hagiwara, T. Masuda, T. Ohno, M. Suzuki, T. Udagawa, K. Murai, Neutral Molecular Iron (II) Complexes Showing Tunable Bistability at Above, Below, and Just Room Temperature by a Crystal Engineering Approach: Ligand Mobility into a Three-Dimensional Flexible Supramolecular Network, *Cryst. Growth* Des., 17, 6006–6019 (2017): (NMR, IR, CHN, TG/DTA, DSC)
- R. Kobe, K. Yoshitani, Y. Teramoto, Fabrication of elastic composite hydrogels using surfacemodified cellulose nanofiber as a multifunctional crosslinker, J. Appl. Polym. Sci., 133, 42906 (2016)
- 15. S. Takechi, Y. Teramoto, Y. Nishio, Improvement of dielectric properties of cyanoethyl cellulose via esterification and film stretching, *Cellulose*, **23**, 765–777 (2016): (**DMA**)
- 16. R. Kobe, S. Iwamoto, T. Endo, K. Yoshitani, Y. Teramoto, Stretchable composite hydrogels incorporating modified cellulose nanofiber with dispersibility and polymerizability: Mechanical property control and nanofiber orientation, *Polymer*, **97**, 480–486 (2016): (DMA)
- 17. H. Koyama, H. Ikenuma, H. Toda, G. Kondo, M. Hirano, M. Kato, J. Abe, T. Yamada, T. Wakabayashi, K. Ito, A. Natsume, M. Suzuki, Synthesis of PET probe O6-[(3-[11C] methyl) benzyl]guanine by Pd 0-mediated rapid C-[11C] methylation toward imaging DNA repair protein O6-methylguanine-DNA methyltransferase in glioblastoma, *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, 27, 1892–1896 (2017): (MS)
- 18. Y. Kawai, Y. Mizuno, Y. Hattori, H. Koyama, Y. Hirata, Synthesis of 3-[4-(dimethylamino) phenyl]

- alkyl-2-oxindole derivatives and their effects on neuronal cell death, Kyoji Furuta, Bioorg. *Med. Chem. Lett.*, **27**, 4457–4461 (2017): (MS)
- K. Furuta, Y. Mizuno, M. Maeda, H. Koyama, Y. Hirata, Synthesis of 3-arylmethyl-2-oxindole derivatives and their effects on neuronal cell death, *Chem. Pharm. Bull.*, 65, 1093-1097 (2017): (MS)
- 20. Y. Besel, M. Besel, U. A. Mercado, T. Kakiuchi, T. Hirata, Y. Uematsu, Influence of local fatigue damage evolution on crack initiation behavior in a friction stir welded Al-Mg-Sc alloy, *International Journal of Fatigue*, **99**, 151–162 (2017): (FE-SEM)
- 21. S. Nakagawa, A. Afrinaldi, T. Kakiuchi, Y. Uematsu, A. Ohtani, K. Kumabe, Y. Mizutani, Microstructural modification of AZ91magnesium alloy using friction stir processing and carbon fiber, *Science and Materials Science Forum*, **886**, 55–58 (2017): (FE-SEM, EDX)
- 22. K. Yamaguchi, T. Murai, S. Kutsumizu, Y. Miwa, M. Ebihara, J.-D. Guo, N. Tokitoh, Experimental and theoretical examination of the radical cations obtained from the chemical-and electrochemical oxidation of 5-aminothiazoles, ChemistryOpen, 6, 282–287 (2017): (MS, NMR)
- 23. K. Yamaguchi, T. Murai, Y. Tsuchiya Y. Miwa, S. Kutsumizu, T. Sasamori, N. Tokitoh, Pyridinium 5-aminothiazoles: specific photophysical properties and vapochromism in halogenated solvents, *RSC Adv.*, **7**, 18132–18135 (2017): (MS, NMR)
- 24. T. Murai, K. Yamaguchi, T. Hayano, T. Maruyama, K. Kawai, Kawakami, A. Yashita, Synthesis and photophysical properties of 5-N-arylamino-4-methylthiazoles obtained from direct C-H arylations and Buchwald-Hartwig aminations of 4-methylthiazole, *Organometallics*, **36**, 2552–2558 (2017): (MS)
- 25. T. Murai, A. Yoshida, T. Mizutani, H. Kubuki, K. Yamaguchi, T. Maruyama, F. Shibahara, The first selenium isologues of 2-pyrones and coumarins: synthesis, structures, and reactions, *Chem. Lett.*, 46, 1017–1019 (2017): (MS)
- 26. Y. Maekawa, K. Kuwabara, A. Sugiyama, K. Iwata, T. Maruyama, T. Murai, Synthesis of P-stereogenic phosphinates via an axis-to-center chirality transfer by the reaction of phosphonates having a binaphthyloxy group with Grignard reagents, *Chem. Lett.*, **46**, 1068–1071 (2017): (MS)
- 27. Y. Kitamura, R. Asakura, K. Terazawa, A. Shibata, M. Ikeda, Y. Kitade, Nucleobase azide-ethynylribose click chemistry contributes to stabilizing oli-gonucleotide duplexes and stem-loop structures, *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **27**, 2655–2658 (2017): (MS, NMR)
- 28. T. Tsuzuki, M. Kabumoto, H. Arakawa, M. Ikeda, Effect of carbohydrate structures on the hydrogelation ability and morphology of self-assembled structures of peptide-carbohydrate conjugates in water, *Org. Biomol. Chem.*, **15**, 4595–4600 (2017): (MS, NMR, TEM, DLS)
- 29. Y. Nagaya, Y. Kitamura, A. Shibata, M. Ikeda, Y. Akao, Y. Kitade, Introduction of 2-O-benzyl abasic nucleosides to the 3'-overhang regions of siRNAs greatly improves nuclease resistance, *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **27**, 5454–5456 (2017): (MS, NMR)
- 30. M. Kato, T. Fujiseki, T. Miyadera, T. Sugita, S. Fujimoto, M. Tamakoshi, M. Chikamatsu, H. Fujiwara, Universal rules for visible-light absorption in hybrid perovskite materials, *Journal of Applied Physics* 121, 115501 (2017): (SEM)
- 31. K. Naito, T. Yamada, T. Tsutsumi, K. Yashiro, Wettability of a microgrid-structured polymer film with microfabrication utilizing the stick-slip phenomenon, *J. Appl. Polym.* Sci., **134** (30), 45140 (1–7) (2017): (SPM)
- 32. A. Pardede and M. Koketsu, Antioxidant and antileukemic activity of chemical components from bark of Mangifera casturi, *Comp. Clin. Pathol.*, **26**, 499–504 (2017): (NMR)
- 33. S. Fukuno, M. Ninomiya, M. Koketsu, Preparation of 2 '-alkylselenouridine derivatives via a 2-(trimethylsilyl) ethylselenation approach, *Synlett*, **28**, 831–834 (2017): (NMR)
- 34. M. Adfa, A. J. Kusnanda, F. Livandri, R. Rahmad, W. Darwis, M. Efdi, M. Ninomiya, M. Koketsu, In-

- secticidal activity of Toona sinensis against Coptotermes curvignathus Holmgren, *Rasayan J. Chem.*, **10**, 153–159 (2017): (NMR)
- 35. M. Adfa, A. J. Kusnanda, W. D. Saputra, C. Banon, M. Efdi, M. Koketsu, Termicidal activity of Toona sinensis wood vinegar against Coptotermes curvignathus Holmgren, *Rasayan J. Chem.*, 10, 1088–1093 (2017): (NMR)
- 36. A. Nishina, K. Shimizu, M. Koketsu, M. Ninomiya, D. Sato, T. Suzuki, S. Hayakawa, H. Kimura, 5, 7-Dihydroxyflavone analogues may regulate lipopolysaccharide-induced inflammatory responses by suppressing Iκβα-linked and ERK5 phosphorylation in RAW 264. 7macrophages, *Evidence-Based Complement. Altern. Med.*, Article ID7898973, 12pages. doi: 10.1155/2017/7898973 (2017): (NMR)
- 37. A. Pardede, M. Adfa, A. J. Kusnanda, M. Ninomiya, M. Koketsu, Flavonoid rutinosides from Cinnamomum parthenoxylon leaves and their hepatoprotective and antioxidant activity, *Med. Chem. Res.*, **26**, 2074–2079 (2017): (NMR)
- 38. L. Anwar, M. Efdi, M. Ninomiya, S. Ibrahim, D. P. Putra, K. Tanaka, M. Koketsu, Labdane diterpene lactones of Vitex pubescens and their antileukemic properties, *Med. Chem. Res.*, **26**, 2357–2362 (2017): (NMR)
- 39. A. Nishina, M. Itagaki, Y. Suzuki, M. Koketsu, M. Ninomiya, D. Sato, T. Suzuki, S. Hayakawa, M. Kuroda, H. Kimura, Effects of flavonoids and triterpene analogues from leaves of Eleutherococcus sieboldianus (Makino) Koidz. 'Himeukogi' in 3T3–L 1 preadipocytes, *Molecules*, **22**, 671/1–671/14; doi: 10. 3390/molecules 22040671 (2017): (NMR)
- 40. T. Yonezawa, M. Yamaguchi, M. Ninomiya, M. Koketsu Application of bis-2-(trimethylsilyl) ethyl diselenide to the synthesis of selenium-containing amino acid derivatives, *Tetrahedron*, **73**, 6085–6091 (2017): (NMR)
- 41. S. Afolabi, O. Olorundare, M. Ninomiya, A. Babatunde, H. Mukhta, M. Koketsu, Comparative antileukemic activity of a tetranorditerpene isolated from Polyalthia longifolia leaves and the derivative against human leukemia HL-60 cells *J. Oleo Sci.*, **66**, 1169–1174 (2017): (NMR)
- 42. C. P. Mencioa, D. R. Garud, Y. Doi, Y. Bi, H. Vankayalapati, M. Koketsu, B. Kuberan, Ruthenium (II)-and copper (I)-catalyzed synthesis of click-xylosides and assessment of their glycosaminogly-can priming activity, *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, 27, 5027–5030 (2017): (NMR, IR)
- 43. C. P. Mencio, V. M. Tran, Maritza, V. Quintero, M. Koketsu, F. Goller, B. Kuberan, Regulation of glycosaminoglycan biogenesis is critical for sensitive-period dependent vocal ontogeny, *Dev. Neurobiol.*, 77, 1401–1412 (2017): (NMR)
- 44. M. Efdi, A. Pardede, A. Kakumu, H. Hara, Syafrizayanti, D. Arisanti, M. Ninomiya, M. Koketsu, Chemical constituents of Aglaia odorata Lour. leaves and their anti-inflammatory effects, *Nat. Prod. Commun.*, 12, 1717–1720 (2017): (NMR)
- 45. B. Banerjee and M. Koketsu, Recent developments in the syntheses of biologically relevant selenium-containing scaffolds, *Coord. Chem. Rev.*, **339**, 104–127 (2017): (NMR)
- 46. K. Miyake, Y. Hirota, K. Ono, Y. Uchida, M. Miyamoto, N. Nishiyama, Synthesis of MFI type ferrisilicate zeolite (Fe-MFI) nanocrystals by dry gel conversion (DGC) method and their application to methanol to olefins (MTO) reactions, *New J. Chem.*, 41, 2235–2240 (2017): (XRF)
- 47. M. Miyamoto, K. Hori, T. Goshima, N. Takaya, Y. Oumi, S. Uemiya, An organoselective Zr-based metal-organic-framework UiO-66membrane for pervaporation, *Eur. J. Inorg. Chem.*, 2094–2099 (2017): (SEM)
- 48. W. Hu, Y. Hirota, Y. Zhu, N. Yoshida, M. Miyamoto, T. Zheng, N. Nishiyama, Separator decoration with cobalt/nitrogen codoped carbon for highly efficient polysulfide confinement in lithium-sulfur batteries, *Chem. Sus. Chem.*, **10**, 3557–3564 (2017): (XPS)
- 49. K. Miyake, K. Ono, M. Nakai, Y. Hirota, Y. Uchida, S. Tanaka, M. Miyamoto, N. Nishiyama, Solvent-

- and OSDA-free synthesis of ZSM-5 assisted by mechanochemical and vapor treatments, *ChemistrySelect*, **2**, 7651–7653 (2017). (**XRF**)
- 50. Y. Hirota, Y. Maeda, Y. Yamamoto, M. Miyamoto, N. Nishiyama, Organosilica membrane with ionic liquid properties for separation of toluene/H2 mixture, *Materials*, **10**, 901: 1–7 (2017): (EDX)

○特許:

- 1. 鈴木正昭, 古山浩子, エノン構造を基盤とするグリーン 3 成分連結プロセスによるプロスタグランジン類および有用有機化合物の実用的製造法, 特願 2017-150745
- 2. 成瀬 有二、亀山 弘明、日比野 隼大ポリシランの製造方法平成29年3月7日特願2017-042305

○参考資料:

1. 山家光男、ビジョラ ガルシア、島村清史、透明な電気を通す酸化物、耐火物、69,518-525,2017: (ESR, 蛍光分光光度計, UV-Vis/NIR)

4. 機器分析分野職員の教育・研究活動等

1) 教育活動

<工学研究科・工学部>

「分離材料工学特論」	(選択科目、対象学生:工学研究科、2単位)	(近江)
「機能材料工学演習第3」	(必須科目、対象学生:機能材料工学専攻、2単位)	(近江)
「機能材料工学演習第4」	(必須科目、対象学生:機能材料工学専攻、2単位)	(近江)
「機能材料工学研究」	(必須科目、対象学生:機能材料工学専攻、8単位)	(近江)
「機器分析 a 」	(必須科目、対象学生:化学・生命工学科、1単位)	(近江)
「卒業研究」	(必須科目、対象学生:化学・生命工学科、8単位)	(近江)
<応用生物科学科>		
「生産環境科学基礎実験」	(専門基礎科目,対象学生:生産環境科学課程, 1単位)	(近江)
<自然科学技術研究科>		
「触媒工学特論」	(選択科目、対象学生:物質・ものづくり専攻、1単位)	(近江)
「物質・ものづくり演習第Ⅰ」	(必須科目、対象学生:物質・ものづくり専攻、2単位)	(近江)

「物質・ものづくり演習第Ⅱ」(必須科目,対象学生:物質・ものづくり専攻, 2単位)

<全学共通科目>

「自然科学総合―医学・生物学のための量子サイエンス―」

(全学共通科目、対象学生:全学、2単位、2回担当) (鎌足)

(近江)

2) 研究活動

<原著論文・著書等>

- "Effect of deposition seed crystal amount on the α-Al₂O₃ support and separation performance of silicalite-1 membranes for acetic acid/water mixtures", K. Ueno, H. Negishi, M. Miyamoto, S. Uemiya, Y. Oumi, Sep. Purif. Technol., 174, 57–65 (2017).
- 2. "Effect of Co-products on Pd Membrane Performance in Membrane Reforming of Desulfurized Kerosene", M. Miyamoto, C. Hayakawa, <u>Y. Oumi</u>, S. Uemiya, *J. Chem. Eng. Jpn.*, **50**, 15–20 (2017).
- 3. "Effect of pore size, aminosilane density and aminosilane molecular length on CO2 adsorption performance in aminosilane modified mesoporous silica", K. Hori, T. Higuchi, Y. Aoki, M. Miyamoto, Y. Oumi, K. Yogo, S. Uemiya, *Micropor. Mesopor. Mater.*, **246**, 158–165 (2017).
- "An Organoselective Zr-Based Metal Organic Framework UiO-66Membrane for Pervaporation", M. Miyamoto, K. Hori, T. Goshima, N. Takaya, <u>Y. Oumi</u>, S. Uemiya, *Eur. J. Inorg. Chem.*, 2017, 2094–2099 (2017).
- 5. "High-performance silicalite-1 membranes on porous tubular silica supports for separation of ethanol/water mixtures", K. Ueno, H. Negishi, T. Okuno, T. Saito, H. Tawarayama, S. Ishikawa, M. Miyamoto, S. Uemiya, Y. Sawada, Y. Oumi, *Sep. Purif. Technol.*, **187**, 343–354 (2017).
- 6. "A simple secondary growth method for the preparation of silicalite-1 membrane on a tubular silica support via gel-free steam-assisted conversion", K. Ueno, H. Negishi, T. Okuno, T. Saito, H. Tawarayama, S. Ishikawa, M. Miyamoto, S. Uemiya, <u>Y. Sawada, Y. Oumi, J. Membre. Sci.</u>, 542, 150–158 (2017).
- 7. "Absorption of Cu (II) in layered diaminoalkyl- and monoaminoalkyl-polysilsesquioxane", T. Takagi, I. Kawamura, Y. Oumi, Y. Miwa, H. Yoshitake, *Polymer*, **132**, 227–234 (2017).
- 8. Y. Ohhashi, Y. Yamaguchi, H. Kurahashi, <u>Y. O. Kamatari</u>, S. Sugiyama, B. Uluca, T. Piechatzek, Y. Komi, T. Shida, H. Müller, S. Hanashima, H. Heise, K. Kuwata, M. Tanaka, Molecular basis for diversification of yeast prion strain conformation. *Proc Natl Acad Sci USA*. **115**, 2389–2394 (2018).
- 9. M. N. Mahmud, M. Oda, D. Usui, Y. Inoshima, N. Ishiguro, <u>Y. O. Kamatari</u>, A multispecific monoclonal antibody G2 recognizes at least three completely different epitope sequences with high af-

- finity. Protein Sci. 26, 2162-2169 (2017).
- D. Usui, S. Inaba, <u>Y. O. Kamatari</u>, N. Ishiguro, M. Oda, Light-chain residue 95 is critical for antigen binding and multispecificity of monoclonal antibody G2. *Biochem Biophys Res Commun.* 490, 1205–1209 (2017).
- 11. Y. Haisima, Y. Kubota, K. Manseki, J. Jin, <u>Y. Sawada</u>, T. Inuzuka, K. Funabiki, M. Matsui, Widerange near-infrared sensitizing 1 H-benzo [c,d] indol-2-ylidene-based squaraine dyes for dyesensitized solar cells, *J Org Chem*, **83** (8), 4389–4401 (2018).
- 12. J. Kuwabara, <u>Y. Sawada</u>, M. Yoshimatsu, Copper-mediated reactions of nitriles with nitromethanes: Aza-Henry reactions and nitrile hydrations, *Organic Lett*, **20** (4), 1130–1133 (2018)

<学会発表>

(国際学会)

- 1 "Synthesis and characterization of Zr-containing layered silicate", Y. Kurita, S. Takahashi, K. Tokunaga, M. Miyamoto, S. Uemiya, <u>Y. Oumi</u>, 7th International FEZA conference (FEZA 2017), Sofia (Bulgaria), P29, July 4, 2017.
- 2 "Core-shell structured zeolite for CO₂ adsorption in wet condition", M. Miyamoto, S. Ono, K. Kusu-kami, Y. Oumi, S. Uemiya, 7th International FEZA conference (FEZA 2017), Sofia (Bulgaria), P 170, July 5, 2017.
- 3 "High separation performance silicalite-1 membranes prepared on porous tubular silica support for separation of ethanol/water mixture", K. Ueno, H. Negishi, T. Okuno, T. Saito, H. Tawarayama, S. Ishikawa, M. Miyamoto, S. Uemiya, <u>Y. Oumi</u>, 7th International FEZA conference (FEZA2017), P187, Sofia (Bulgaria), July 5, 2017.
- 4 "Effect of Electroosmotic Flow on the Electrophoretic Deposition of Zeolite Powder on a Porous Alumina Support", H. Negishi, K. Ueno, <u>Y. Oumi</u>, 6th International Conference on Electrophoretic Deposition (Electrophoretic Deposition VI), Gyeongju (South Korea), October 3, 2017.
- 5 <u>Yuji O. Kamatari</u>, Protein dynamics and molecular evolution, 9th International Meeting on Biomolecules under Pressure (IMBP2017), 2017年 8 月20-24日,京都.
- 6 <u>Koichi Murayama, Yuji Kamatari,</u> Satoshi Ohno, Masashi Sonoyama, <u>Yoshiharu Sawada</u>, Sadayuki Matusda, Interaction between Calmodulin and Bisphenol A, 19th IUPAB congress and 11th EBSA congress, 2017年7月16—20日, Edinburgh, UK.
- 7 <u>Koichi Murayama</u> and Sadayuki Matusda, Structural Characteristics of S100B protein bound with divalent ions of Mg²⁺, Ca²⁺, Sr²⁺ and Ba²⁺, 19th IUPAB congress and 11th EBSA congress, Edinburgh International Conference Centre, Edinburgh, UK, July16–20, 2017.

(国内学会)

- 1 カルボキシル基を付与した UiO-66 膜の合成、五島龍賢、宮本学、<u>近江靖則</u>、上宮成之、化学工 学会第82回年会、東京、PD317、2017年3月8日
- 2 蒸気転換法を用いた二次合成ゲルフリー条件下での Silicalite-1 膜の合成、上野恭平、根岸秀之、 奥野拓也、俵山博匡、石川真二、宮本学、上宮成之、<u>近江靖則</u>、化学工学会第82回年会、東京、 PD321、2017 年3月8日
- 3 Core-Shell 構造化 MFI 型ゼオライトの水蒸気共存下における CO₂吸着特性、小野駿平、宮本学、近江靖則、上宮成之、化学工学会第82回年会、東京、PD358、2017 年3月8日
- 4 CO₂メタネーションにおける CeO 2 担体効果、上宮成之、平野智之、中村匡宏、宮本学、<u>近江靖</u> 則、石油学会第 66 回研究発表会、A04、2017 年 5 月 24 日
- 5 Silicalite-1自立膜の合成条件の検討、武山弥央、上野恭平、根岸秀之、宮本学、上宮成之、<u>近江</u> 靖則、日本膜学会第 39 年会、東京、P-11S、2017 年 5 月 26 日
- 6 ゲルフリー条件下での蒸気転換法による Silicalite-1 膜の合成とその分離性能評価、上野恭平、 根岸秀之、奥野拓也、俵山博匡、石川真二、宮本学、上宮成之、<u>近江靖則</u>、日本膜学会第 39 年

- 会、東京、2B-2、2017年5月27日
- 7 Zr 含有新規層状ケイ酸塩の合成及びそ特性評価、栗田友輔、高橋翔太、上野恭平、徳永敬助、 宮本学、上宮成之、近江靖則、第120回触媒討論会、松山、1E22、2017年9月12日
- 8 ゼオライト分散ポリマーフィルムを用いた新規な種結晶塗布方法による高性能 Silicalite-1 膜の合成、上野恭平、堀口結以、根岸秀之、奥野拓也、俵山博匡、石川真二、宮本学、上宮成之、武野明義、近江靖則、化学工学会第49回秋季大会、名古屋、PA122、2017 年9月20日
- 9 Ru/ZrO₂系触媒のアンモニア分解活性に及ぼす担体塩基性の影響、濱島亮、宮本学、<u>近江靖則</u>、 上宮成之、化学工学会第49回秋季大会、名古屋、PB119、2017年 9 月20日
- 10 Vapor phase transfer による金属有機構造体 UiO-66 の合成、金澤大智、高谷直輝、上野恭平、宮本学、上宮成之、近江靖則、化学工学会第 49 回秋季大会、名古屋、PA263、2017 年 9 月 21 日
- 11 二次成長法による UiO-66-NH 2 膜の合成と透過性能評価、古川祥太、宮本学、<u>近江靖則</u>、上宮成之、第 16 回無機膜研究会、浜松、P-7、2017 年 10 月 6 日
- 12 浸透気化性能向上を目的とした UiO-66 への有機シラン修飾法の検討、宮川絢太郎、宮本学、<u>近</u> 江靖則、上宮成之、第16回無機膜研究会、浜松、P-8、2017年10月6日
- 13 SSA-1 膜の合成、井上玲奈、上野恭平、栗田友輔、宮本学、上宮成之、<u>近江靖則</u>、第 16 回無機 膜研究会、浜松、P-9、2017 年 10 月 6 日
- 14 低温アルカリ溶融を利用したバイオマス燃焼灰からのゼオライト合成、渡邊汐里、宮本学、<u>近江</u><u>靖則</u>、上宮成之、第 48 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会、岐阜、1 M03、2017 年 11 月 11 日
- 15 水蒸気転換法による水蒸気転換法による水蒸気転換法による silicalite-1 自立膜合成とその性能 評価、武山弥央、上野恭平、宮本学、上宮成之、<u>近江靖則</u>、第48回中部化学関係学協会支部連合 秋季大会、岐阜、1 M05、2017 年 11 月 11 日
- 16 多孔性配位高分子 UiO-66-(COOH)₂ 膜の合成と CO₂ 分離への応用、五島龍賢、上野恭平、宮本学、上宮成之、<u>近江靖則</u>、第 48 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会、岐阜、1 M09、2017年 11 月 11 日
- 17 層状ケイ酸塩合成における有機テンプレートの影響、柳川真穂、栗田友輔、上野恭平、宮本学、 上宮成之、<u>近江靖則</u>、第48回中部化学関係学協会支部連合秋季大会、岐阜、1 H10、2017 年 11 月 11 日
- 18 二次成長法を用いた UiO-66 膜の合成条件が膜分離性能に及ぼす影響、柱野拓也、上野恭平、宮本学、上宮成之、近江靖則、第48回中部化学関係学協会支部連合秋季大会、岐阜、1 M10、2017 年11 月11 日
- 19 UiO-66-NH 2 膜の合成とガス透過特性評価、古川祥汰、宮本学、<u>近江靖則</u>、上宮成之、膜シンポジウム 2017、富山、P12S、2017 年 11 月 13 日
- 20 Gel-free 二次成長法による Silicalite-1 膜の合成、上野恭平、根岸秀之、奥野拓也、俵山博匡、石川真二、宮本学、上宮成之、近江靖則、膜シンポジウム 2017、富山、P13S、2017 年 11 月 13 日
- 21 有機物/水混合溶液の分離を目的とした疎水性*BEA型ゼオライト膜の合成、山田紗希、上野 恭平、根岸秀之、奥野拓也、俵山博匡、石川真二、宮本学、上宮成之、近江靖則、膜シンポジウム 2017、富山、P14S、2017 年 11 月 13 日
- 22 多孔質担体層をポストコーティングした水素分離用 Pd 複合膜の作製、水谷太智、宮本学、<u>近江</u><u>靖則</u>、上宮成之、山田博史、田川智彦、第 47 回石油・石油化学討論会、鳥取、 2 A17、2017 年 11 月 17 日
- 23 SSZ-13 の合成、近江靖則、第 2 回参照ゼオライト討論会、岐阜、2017 年 11 月 29 日
- 24 Zr-SSA-1の合成及びその特性評価、栗田友輔、高橋翔太、上野恭平、徳永敬助、宮本学、上宮成之、近江靖則、第33回ゼオライト研究発表会、岐阜、B1、2017年11月30日
- 25 Core-shell 構造ゼオライトの水蒸気共存下における CO₂ 吸着特性、小野駿平、宮本学、<u>近江靖則</u>、 上宮成之、第 33 回ゼオライト研究発表会、岐阜、C 4 、2017 年 11 月 30 日

- 26 Gel-free 二次成長法を用いた Silicalite-1 膜の合成条件の検討、上野恭平、根岸秀之、奥野拓也、 俵山博匡、石川真二、宮本 学、上宮成之、近江靖則、第33回ゼオライト研究発表会、岐阜、 C12、2017 年11 月30 日
- 27 <u>鎌足雄司</u>,標的蛋白質と低分子と低分子化合物との相互作用を検証する,第7回岐阜構造生物学・ 医学・論理的創薬研究会シンポジウム,2018年3月22日, 岐阜.
- 28 <u>鎌足雄司</u>,複数の抗原を特異的に認識する抗体 G 2 の抗原認識機構の解明,平成 29 年度生物物理学会中部支部講演会,2017 年 3 月 5 日,名古屋.
- 29 Md. Nuruddin Mahmud, Masayuki Oda, Daiki Usui, Yasuo Inoshima, Naotaka Ishiguro, <u>Yuji O. Kamatari</u>, A three-in-one monoclonal antibody G 2 recognizes completely different epitope sequences with high affinity, 抗体 G 2 は異なる 3 つの配列を強く特異的に認識する, 第 55 回日本生物物理学会年会, 2017 年 9 月 19-21 日、熊本.
- 30 <u>村山幸市,鎌足雄司</u>,大野敏,園山正史,<u>沢田義治</u>,松田禎行,ビスフェノールA結合に伴うアポ型カルモデュリンの構造変化の解析,第44回生体分子科学討論会,2017年6月23日,秋田.
- 31 <u>村山幸市</u>, 松田禎行, 第 2 族元素 2 価イオンとの結合における S100B タンパク質の構造特性, 第 17 回日本蛋白質科学会年会, 2017 年 6 月 20-22 日, 仙台.

3) 補助金関連採択状況

- 1. 平成 29 年度平成 29 年度大学連携研究設備ネットワーク相互利用加速事業 A、「大学連携研究設備ネットワークにより設備相互利用と共同研究の促進」(近江)
- 2. 平成 29 年度平成 29 年度大学連携研究設備ネットワーク相互利用加速事業 B、「単結晶 X 線構造解析装置の制御 PC の更新および真空部の整備」(近江)
- 3. 平成 27-29 年度科学研究費補助金基盤研究 (C) (代表)「複数の抗原を特異的に認識する抗体の 抗原認識機構の解明」(鎌足)
- 4. 平成 29-31 年度科学研究費補助金基盤研究 (C) (分担) 「プリオン前駆オリゴマーを高感度に検出できる蛍光色素の開発とプリオン形成過程の解明」(鎌足)
- 5. 平成 29-31 年度 AMED 感染症研究革新イニシアティブ (分担) 「薬剤耐性 RNA ウイルス出現予測法の確立と迅速制御のためのインシリコ創薬」 (鎌足)

4) その他

(講師等)

- 1. 平成29年度岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学研究教育センター公開講座講師、2017年4月23日、岐阜(近江)
- 2. 平成 29 年度岐阜大学公開講座「プラスチックに使われている化学物質 我々にとって良いこと, 悪いこと—」、2017 年 11 月 19 日、岐阜大学サテライトキャンパス (村山)

(役員等)

- 1. ゼオライト学会編集委員(近江)
- 2. ゼオライト学会企画・広報委員(近江)
- 3. 国立大学法人機器・分析センター協議会事業検討委員会委員(近江)
- 4. 日本生物物理学会分野別専門委員(鎌足)
- 5. 岐阜構造生物学・医学・論理的創薬研究会事務局 (鎌足)